

平成 27 年 度  
海老名市政アンケート調査結果



海老名市イメージキャラクター えび~にゃ

海老名市

## はじめに

近年、社会情勢がめまぐるしく変化し、市民の皆様の価値観も変わり、行政に対するニーズも多様化している中で、地方自治体にはこうした変化に的確に対応するための行財政体制の整備・確立が課題となっております。

また、少子高齢化に伴い、将来的な人口の減少が明らかになっている中、住みよいまち、住み続けていただけるまちをめざし、戦略的にまちづくりをするとともに、人口減少に向けた対策を継続的に取り組む必要があります。

こうした中で、市政に対する市民意識の傾向を把握するとともに、市民の意見・要望の変化を的確にとらえて、市の実施計画や施策事業に皆様の声を反映させるため、隔年で「市政アンケート調査」を実施しております。

この報告書は、本年2月に18歳以上の市民の方々の中から等間隔単純無作為方式で抽出した5千人の方に調査協力をお願いし、回答いただいた結果です。

なお、今回の調査は、平成27年10月に海老名駅西口のまち開きに伴い、定例項目としている「定住性・生活環境」、「防火・消防」、「環境対策」などに加えて、「自由通路」や「中央図書館」についてなど新たに「まちづくり」についての設問を追加させていただき実施いたしました。

また、例年5月に2千人の方にアンケート調査の協力をお願いしておりましたが、時期をまち開き後の2月に、調査人数も5千人と大幅に増加し、より多くの皆さんの声を聞き取ることになりました。

調査結果につきましては、真摯に受けとめ、今後、市政を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査に当たりまして、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後も市政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年7月

海老名市長 内野 優

# 目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査票・単純集計結果	
1. 調査票と単純集計結果	4
III. 調査結果の分析	
1. 調査回答者の特性	19
2. 定住性・生活環境	
(1) 居住年数	22
(2) 住まいに対する考え方	23
(3) 定住意向・転出意向	24
(4) 市内に住みたい理由	25
(5) 市外に移りたい理由	26
(6) 生活環境と施策の満足度	27
3. 健康・スポーツ	
(1) 健康の維持について	31
4. まちづくり	
(1) 海老名駅西口地区のまちづくりについて	32
(2) 海老名駅周辺のまちづくりについて	33
(3) 自由通路について	34
5. 中央図書館	
(1) 中央図書館の利用状況	35
(2) 中央図書館を利用した感想について	36
6. 道路愛称名	
(1) 道路に命名した感想	37
(2) 他の幹線道路に命名することについて	38
7. 公共交通	
(1) バスや鉄道の利用頻度	39
(2) 移動手段	40
8. 農業施策	
(1) 市内産の農産物について	41
(2) 市内の農地について	42
(3) これからの農業について	43
9. 防災	
(1) ガイドブックの置き場所について	44
(2) 災害の備えについて	45
(3) 防災アプリについて	46
(4) 避難所運営訓練等について	48

10. 消防	
(1) 指令センターについて	49
(2) 三市で連携する業務について	50
(3) 消防団について	51
(4) 消防団のイメージについて	52
11. 環境対策	
(1) 電気自動車等について	53
(2) 電気自動車等を購入したくない理由	54
12. 広報・情報	
(1) 情報媒体について	55
(2) 情報媒体のわかりやすさ	56
13. 広報掲示板	
(1) 必要性	62
(2) 配置について	63
14. 男女共同参画	
(1) 男女共同参画について	65
(2) ワーク・ライフ・バランスについて	66

# I. 調査の概要



## 1 調査の目的

この調査は、市政に対する市民意識の傾向を把握し、多様化している市民の意見・要望などを調査分析することにより、今後の政策形成の基礎資料とするために、2年に1回、隔年で実施しております。併せて、市政への直接的な市民参加を促進するものです。

## 2 調査の内容

- (1) 定住性
- (2) 生活環境
- (3) 健康・スポーツ
- (4) まちづくり
- (5) 自由通路
- (6) 中央図書館
- (7) 道路愛称名
- (8) 公共交通
- (9) 農業施策
- (10) 防災・防火
- (11) 環境・資源対策
- (12) 広報・情報
- (13) 男女共同参画

## 3 調査の設計

- (1) 調査地域 : 海老名市全域
- (2) 調査対象 : 海老名市在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 : 5,000人
- (4) 抽出方法 : 等間隔単純無作為抽出法(市の電算機より抽出)
- (5) 母集団 : 海老名市住民基本台帳及び外国人登録原票
- (6) 調査方法 : 郵送
- (7) 調査期間 : 平成28年2月3日~2月16日

#### 4 地域区分

調査結果の集計にあたっては、下記図及び表1のとおり10地域に区分した。

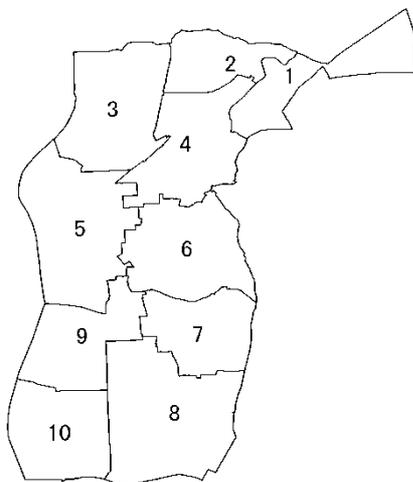


表1 地域区分一覧表

1	柏ヶ谷地域	柏ヶ谷、東柏ヶ谷1～6丁目
2	上今泉地域	上今泉、上今泉1～6丁目
3	上郷・下今泉地域	上郷、上郷1～4丁目、下今泉、下今泉1～5丁目、扇町
4	国分地域	中央1～3丁目、国分南1～4丁目 国分北1～4丁目、望地1～2丁目、勝瀬
5	海西地域	河原口、さつき町、中新田、中新田1～5丁目
6	大谷地域	大谷、大谷北1～4丁目、大谷南1～5丁目、国分寺台1～5丁目、浜田町
7	杉久保地域	杉久保北1～5丁目、杉久保南1～5丁目
8	本郷地域	上河内、中河内、本郷
9	社家地域	社家、今里
10	門沢橋地域	中野、門沢橋1～6丁目

## 5 回収結果

地域等	調査対象 人口	(構成比)	対象者数	回答数	回収率
総数	129,906 人	(100.0%)	5,000 人	2,475 人	49.5%
柏ヶ谷地域	22,211 人	(17.1%)	846 人	417 人	49.3%
上今泉地域	12,957 人	(10.0%)	510 人	273 人	53.5%
上郷・下今泉地域	6,704 人	( 5.2%)	257 人	125 人	48.6%
国分地域	25,563 人	(19.7%)	993 人	487 人	49.0%
海西地域	18,889 人	(14.5%)	686 人	339 人	49.4%
大谷地域	15,993 人	(12.3%)	648 人	330 人	50.9%
杉久保地域	9,474 人	( 7.3%)	367 人	183 人	49.9%
本郷地域	3,265 人	( 2.5%)	128 人	54 人	42.2%
社家地域	6,641 人	( 5.1%)	249 人	124 人	49.8%
門沢橋地域	8,209 人	( 6.3%)	316 人	136 人	43.0%

\*調査対象人口は平成28年1月1日現在

\*居住地域の設問に対して、無回答が7票あったため、各地域の回答数の合計は、総数に一致していない。

## 6 この報告書の見方

- (1) 図表中のNは回答者数です。
- (2) 回答比率(%)は、すべてNを基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しています。このため、回収比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 1つの設問に2つ以上選択回答できる「複数回答」の場合には、回答比率の合計が100%を超えます。
- (4) 調査結果の分析の文章には、図表に掲載されている以外の比率も使用されています。比率の詳細は、巻末集計結果表を参照してください。



## Ⅱ. 調査票・単純集計結果



# 調査票と単純集計結果

平成 27 年度

## 海老名市政アンケート調査



海老名市イメージキャラクター えび〜にゃ

日ごろ、市政運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、海老名市では「住みたい 住み続けたいまち 海老名」の実現をめざし、まちづくりを進めております。

今回お願いいたします調査は、市民のみなさんのご意見を伺い、今後の市政運営に役立てていくことを目的に実施するものです。

調査の実施にあたり、18歳以上の市民の皆様の中から、地区や性別、年齢等のバランスを勘案の上、調査対象者として5,000人を無作為に選んだところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。

この調査は無記名の上、調査の結果は統計的に処理し、具体的な内容を記入いただいた場合も個人が特定できないよう処理いたします。どうぞ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、ご事情により回答困難な方に届きました場合は、どうぞご容赦いただき、破棄してくださいますようお願い申し上げます。

平成28年2月

( 調査についての問い合わせと調査票回収について )

☆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします☆

海老名市 市民協働部 地域自治推進課 市民相談係

TEL046-235-4567 (直通)

受付時間 月～金(祝日除く) 8:30から17:15まで

☆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、  
2月16日(火) までに、ご投函くださいますよう  
お願いします(切手は不要)。

海老名市長 内野 優

(記入にあたってのお願い)

- \* あて名の方 ご本人がお答えください。
- \* 質問の答えは、あてはまる回答の数字を右の記入欄(口欄)にご記入ください。  
一つの欄につき一つの答えをご記入ください。  
なお、あてはまる数字に○印をする指示がある場合は、数字に○印をしてください。
- \* 一部の方にお答えいただく質問もあります。その場合はく・・・と答えた方に、  
お伺いします。という指示に沿ってお答えください。
- \* 「その他」の数字を記入した場合は( )内に内容を具体的にご記入ください。
- \* 記入は、鉛筆か、黒または青のボールペンでお願いします。

調査票 5,000 件送付 2,475 件回収 回収率 49.5%

H25 2,000 件送付 1,013 件回収 回収率 50.7%

★選択肢項目後の数値は回答者数 N に対する選択率%で、( )内は回答者数です。回答者数 N は記載がない限り全回収件数(2,475)です。

【フェイスシート】 <あなた自身のことについて、お伺いします>

【問1】あなたの性別はどちらですか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

			※前回
1. 男性	46.1	(1,140)	49.5 (501)
2. 女性	53.6	(1,328)	50.0 (507)
無回答	0.3	(7)	0.5 (5)

【問2】あなたの年齢はおいくつですか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

			※前回
1. 18～24歳	3.9	(97)	4.1 (42)
2. 25～29歳	4.4	(108)	4.8 (49)
3. 30～39歳	13.3	(329)	6.2 (164)
4. 40～49歳	17.6	(435)	20.0 (203)
5. 50～59歳	13.2	(328)	13.1 (133)
6. 60～64歳	8.7	(215)	10.9 (110)
7. 65～74歳	23.8	(590)	20.3 (205)
8. 75歳以上	14.3	(354)	10.2 (103)
無回答	0.8	(19)	0.4 (4)

【問3】あなたのお住まいの地域は、どちらですか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

			※前回
1. 柏ヶ谷地域（東柏ヶ谷、柏ヶ谷）	16.8	(417)	17.7 (177)
2. 上今泉地域	11.0	(273)	9.3 (94)
3. 上郷・下今泉地域（上郷、扇町、下今泉）	5.1	(125)	4.7 (48)
4. 国分地域（中央、国分南、国分北、望地、勝瀬）	19.7	(487)	20.5 (207)
5. 海西地域（河原口、さつき町、中新田）	13.7	(339)	13.3 (135)
6. 大谷地域（大谷、大谷北、大谷南、国分寺台、浜田町）	13.3	(330)	13.9 (141)
7. 杉久保地域（杉久保北、杉久保南）	7.4	(183)	7.5 (76)
8. 本郷地域（上河内、中河内、本郷）	2.2	(54)	2.9 (29)
9. 社家地域（社家、今里）	5.0	(124)	4.9 (50)
10. 門沢橋地域（中野、門沢橋）	5.5	(136)	5.2 (53)
無回答	0.3	(7)	0.3 (3)

【問4】あなたが暮らしている家族構成はどれにあてはまりますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

			※前回
1. 単身世帯	9.2	(227)	9.3 (94)
2. 夫婦のみ	30.9	(765)	27.0 (274)
3. 二世帯世帯（親と子）	48.9	(1,210)	51.4 (520)
4. 三世帯世帯（親と子と孫）	7.1	(176)	7.4 (75)
5. その他	2.9	(71)	4.3 (44)
無回答	1.1	(26)	0.6 (6)

【問5】あなたの職業は、次のどれですか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

			※前回
1. 自営業	6.1	(150)	6.9 (70)
2. 会社員等	42.6	(1,055)	43.2 (438)
3. 学生	3.1	(76)	3.1 (31)
4. 専業主婦・主夫	23.3	(577)	25.5 (258)
5. 無職	23.2	(575)	20.7 (210)
無回答	1.7	(42)	0.6 (6)

<問5で1～3と回答した方(1,281人)にお伺いします>

【問5-1】あなたの通勤・通学先はどちらですか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

	N=1,281	※前回
1. 海老名市内	26.5 (339)	24.5 (132)
2. 近隣市町(厚木、大和、座間、綾瀬、藤沢、寒川)	27.1 (347)	28.8 (155)
3. 横浜市・川崎市	16.7 (214)	15.8 (85)
4. その他神奈川県内	11.9 (152)	11.1 (60)
5. 東京23区	11.9 (153)	13.9 (75)
6. 東京23区以外の都内市町村	3.5 (45)	4.3 (23)
7. その他	1.8 (23)	1.3 (7)
無回答	0.6 (8)	0.3 (2)

【問5-2】あなたが、通勤、通学手段で利用する市内での移動手段は何ですか。該当する数字すべてを右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

	N=1,281	新規
1. 自家用車	40.0 (512)	
2. 電車(JR)	14.4 (184)	
3. 電車(小田急)	32.5 (416)	
4. 電車(相鉄)	28.7 (368)	
5. バス(神奈中)	7.7 (99)	
6. バス(相鉄)	9.2 (118)	
7. コミュニティバス	1.8 (23)	
8. 自転車	21.0 (269)	
9. 徒歩	46.1 (590)	
無回答	5.8 (74)	

[定性・生活環境]

【問6】あなたは、海老名市に住んで何年になりますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。 **選択項目追加**

			※前回
1. 1年未満	2.2	(54)	1.7 (19)
2. 1年以上5年未満	9.1	(224)	9.9 (100)
3. 5年以上10年未満	9.3	(231)	8.9 (99)
4. 10年以上20年未満	18.7	(463)	18.7 (189)
5. 20年以上30年未満	18.6	(460)	41.1 (416)
6. 30年以上40年未満	20.3	(503)	9.4 (95)
7. 40年以上(新規項目)	21.0	(521)	—
無回答	0.8	(18)	10.3 (104)

【問7】あなたのお住まいに対する考え方について、次の中からあてはまる番号を右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 自己所有の住宅に住んでいて、これからも自己所有の住宅に住み続けたい	68.5	(1,694)
2. 自己所有の住宅に住んでいるが、将来は賃貸住宅に住みたい	1.9	(47)
3. 賃貸住宅に住んでいるが、将来は自己所有の住宅に住みたい	10.0	(248)
4. 賃貸住宅に住んでいて、これからも賃貸住宅に住み続けたい	5.3	(131)
5. 親族等と同居しているので、特に考えていない	11.3	(280)
無回答	3.0	(75)

【問8】あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。該当する数字をひとつ選んで右側の記入欄に記入してください。 **※前回**

1. ずっと住みたい	47.3	(1,172)	41.6	(421)
2. できれば住み続けたい	42.3	(1,046)	50.1	(508)
3. できれば市外に移りたい	7.4	(183)	6.9	(70)
4. すぐにでも市外に移りたい	0.7	(18)	0.7	(7)
無回答	2.3	(56)	0.7	(7)

<問8で「1. ずっと住みたい」「2. できれば住み続けたい」と回答した方(2,218人)にお伺いします>

【問8-1】市内に住みたい理由はなぜですか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) N= 2,218

1. 自分、または家族の家や土地があるから	72.5	(1,608)	74.2	(689)
2. 住み慣れて愛着があるから	69.4	(1,539)	71.6	(665)
3. つき合い等の人間関係が良いから	36.5	(809)	39.3	(365)
4. 仕事や学校の関係があるから	18.6	(412)	22.5	(209)
5. 通勤・通学に便利だから	24.7	(548)	26.8	(249)
6. 買い物等生活に便利だから	55.6	(1,233)	51.6	(479)
7. 自然環境が良いから	42.5	(943)	47.4	(440)
8. 公共施設が整っているから	25.7	(569)	23.5	(218)
9. 保健福祉等の施策が良いから	12.2	(271)	16.5	(153)
10. 子育てがしやすいから	9.3	(207)	11.2	(104)
11. その他 ( )	3.4	(76)	3.4	(32)
無回答	0.3	(6)	1.5	(7)

<問8で「3. できれば市外に移りたい」「4. すぐにでも市外に移りたい」と回答した方(201人)にお伺いします>

【問8-2】市外に移りたい理由はなぜですか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) N=201 **※前回**

1. 自分、または家族の家や土地がないから	14.4	(29)	15.6	(12)
2. 周囲の環境が良くないから	17.9	(36)	27.3	(21)
3. つき合い等の人間関係が良くないから	7.0	(14)	13.0	(10)
4. 仕事や学校の関係があるから	14.4	(29)	13.0	(10)
5. 通勤・通学に不便だから	24.9	(50)	31.2	(24)

6. 買い物等生活に不便だから	18.4	(37)	35.1 (27)
7. 自然環境が悪いから	11.9	(24)	13.0 (10)
8. 公共施設が整っていないから	17.4	(35)	20.8 (16)
9. 保健福祉等の施策が良くないから	12.4	(25)	18.2 (14)
10. 子育てがしにくいから	7.5	(15)	7.8 (6)
11. ほかに住みたい市があるから	44.8	(90)	新規
12. その他	20.9	(42)	40.3 (31)
無回答	1.0	(2)	—

【問 9】あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～ノの各項目について、それぞれ該当する数字ひとつに○印をお願いします。



「ニ」～「ノ」は今回新規項目

上段 今回数値  
下段 前回数値

	1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無 回答
ア. 病院や診療所等の医療施設	18.7 17.0	37.7 38.4	19.5 20.7	12.8 12.1	7.6 8.3	2.3 2.1	1.4 1.4
イ. デイサービス施設等の高齢者（障がい者）福祉の施設	4.2 2.8	10.1 9.9	24.8 22.3	5.3 6.1	3.3 4.1	48.1 41.3	4.2 13.5
ウ. 中学生までの子どもの医療費全額助成施策	32.8 27.8	13.3 17.0	12.5 17.3	2.0 2.4	2.1 2.4	30.3 27.6	7.0 5.5
エ. 待機児童解消策等の保育所整備							新規
オ. 体育館や庭球場等のスポーツ施設の整備	12.4 11.2	28.0 27.8	22.0 22.1	8.5 7.8	5.2 4.2	19.4 13.2	4.5 13.7
カ. 文化会館や図書館等の文化施設の整備	17.1 11.4	33.7 28.7	21.5 30.5	8.2 7.8	6.1 2.9	10.1 16.0	3.3 2.7
キ. 講演会やイベントの開催等の生涯学習施策	3.8 3.7	14.8 14.9	32.4 36.3	7.0 6.7	3.4 2.8	33.3 31.5	5.3 4.1
ク. 市役所窓口の対応	18.9 19.8	35.8 39.3	25.7 22.8	5.4 5.8	3.6 3.4	8.1 6.9	2.5 2.0
ケ. 災害に対する体制・対策の整備	5.5 6.0	21.4 20.3	35.6 34.9	5.7 6.9	2.9 3.6	24.1 25.2	4.8 3.1
コ. 防犯に対する体制・対策	4.3 4.9	19.2 19.8	37.3 34.3	8.8 11.1	4.3 7.4	22.7 19.2	3.4 3.3
サ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策	6.7 5.9	24.4 25.2	27.5 25.8	20.4 20.7	13.8 16.0	3.9 3.8	3.3 2.6
シ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	11.9 12.4	33.9 36.9	22.7 23.1	14.0 12.5	9.6 6.9	4.2 4.5	3.7 3.7
ス. 買い物等の生活の便利さ	25.1 23.2	42.3 43.5	14.8 14.9	8.5 8.5	6.1 6.6	0.9 0.6	2.3 2.7
セ. 最寄駅へのアクセス（路線バス、コミバス含む）	23.4 28.8	33.9 35.0	16.8 15.3	12.0 11.9	7.8 6.0	3.3 0.7	2.8 2.2

新規

ソ. 幹線道路の整備 (南伸道路など市内の主要な道路)	8.1 9.7	24.2 26.4	27.1 26.6	14.4 8.3	10.7 6.8	11.6 9.6	3.9 12.6
タ. 生活道路の整備 (自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	10.2 9.8	27.6 29.3	25.5 25.1	18.5 18.0	11.4 11.0	3.8 3.2	3.2 3.6
チ. 下水道・排水処理施設の整備	18.5 17.6	31.7 34.2	26.0 25.0	4.4 5.6	3.4 3.4	13.0 11.5	3.0 2.4
ツ. ごみ処理と資源回収	25.6 24.1	42.7 42.5	19.7 20.9	4.4 6.7	2.6 2.0	2.9 1.8	2.1 2.0
テ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	10.0 7.9	25.3 20.8	30.1 31.8	11.3 16.0	10.7 14.0	9.5 7.3	3.1 2.2
ト. 公園・遊び場の整備	9.8 10.0	27.3 29.1	29.4 28.7	12.1 13.3	6.7 6.6	11.7 9.6	3.0 2.7
ナ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	13.1 15.5	33.5 35.5	29.9 28.2	7.9 8.9	4.2 3.4	8.0 6.2	3.4 2.3
ニ. 市民活動センターやコミセン等地域コミュニティ施設	11.1	33.4	27.5	6.3	2.7	16.2	2.8
ヌ. 企業立地、農業保全等の産業振興施策	3.0	9.9	34.2	4.9	2.3	41.6	4.1
ネ. 空き地空き家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策	2.4	9.0	31.3	8.2	4.8	40.8	3.5
ノ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	2.9	8.6	26.0	4.8	3.2	50.4	4.1

### 【健康・スポーツ】

【問10】あなたは、自分の健康を維持するために行っていることがありますか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

#### 選択項目追加

1. 市の検(健)診(がん検診・健康診査)を受診している	32.7	(809)	※前回	31.4	(318)
2. 市の健康マイレージ事業に参加している	5.1	(125)	新規		
3. 人間ドックや会社などの検診を受診している	37.4	(926)		43.5	(441)
4. 運動、スポーツを行っている	36.3	(898)		35.1	(356)
5. 規則正しい生活を心がけている	54.9	(1,359)		49.1	(497)
6. 食生活に注意している	58.4	(1,446)		57.3	(580)
7. ストレス解消に努めている	34.5	(853)		31.9	(323)
8. 特に何もしていない	14.6	(361)		16.4	(65)
無回答	0.3	(8)		1.5	(15)

### 【海老名駅西口地区のまちづくり】

【問11】昨年10月に海老名駅西口地区(JR海老名駅北側)に新たなまちが誕生しました。この新しいまちについて、あなたはどのように感じていますか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) **新規**

1. まちが活気づいた	56.2	(1,391)
2. 治安が良くなった	5.3	(131)
3. 買い物が便利になった	46.2	(1,144)
4. 海老名駅周辺の道路が混雑している	55.6	(1,376)

5. まだ、海老名駅西口を利用したことがない	16.8	(416)
6. 特に感じることはない	11.5	(284)
無回答	0.9	(23)

**【海老名駅周辺のまちづくり】 新規**

**【問 12】** 今後、海老名駅西口地区をはじめ、海老名駅周辺の中心市街地をより良くしていくために何が必要だと思いますか。該当する数字を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. 海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備	64.3	(1,592)
2. 自由通路の延伸整備	25.3	(626)
3. 公園・緑地の整備	39.9	(988)
4. 案内・標識の整備	25.1	(620)
5. バス等の公共交通機関の利便性向上	44.9	(1,112)
6. 防犯・防災対策の充実	43.4	(1,074)
7. 店舗・飲食店の充実	27.9	(690)
8. 教育施設・子育て関連施設の充実	26.4	(653)
9. 病院施設・福祉施設の充実	45.6	(1,128)
10. イベント等の催事の開催	18.6	(460)
11. 特に必要なことはない	6.3	(157)
無回答	2.2	(54)

**【自由通路】 新規**

**【問 13】** 昨年 10 月のまち開きにより、海老名駅東西一体化による中心市街地の形成が図られ、海老名駅東西を連絡する動く歩道やミストシャワー、デジタルサイネージ（電子看板）等を備えた自由通路の供用も開始となりましたが、**新しい自由通路について**、あなたがよかったと思う項目はありますか。該当する番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. デジタルサイネージ（電子看板）	22.1	(548)
2. 屋根がある	73.0	(1,806)
3. ウッドデッキ（床材）	28.2	(698)
4. 照明の明るさ	25.9	(642)
5. 案内標識	15.7	(388)
6. ミストシャワー	10.5	(259)
7. 動く歩道	37.4	(925)
8. 自由通路が新しくなったことを知らない	8.5	(211)
9. 特に感じることはない	12.1	(299)
無回答	4.0	(99)

**【中央図書館】 新規**

**【問 14】** 昨年 10 月に中央図書館がリニューアルオープンしましたが、あなたはリニューアル後の中央図書館を利用しましたか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 利用した	34.3	(849)
2. 利用していない	63.6	(1,575)
無回答	2.1	(51)

<問 14 で「1. 利用した」と回答した方（849 人）にお伺いします>

【問 14-1】リニューアル後の中央図書館を利用した感想について、以下のア～サの各項目についてそれぞれ該当する数字ひとつに○印をお願いします。

N=849	1 良い	2 ふつう	3 良くない	4 わから ない	無回答
ア. 雰囲気	61.5 (522)	24.6 (209)	11.9 (101)	0.7 (6)	1.3 (11)
イ. 開館日（年中無休）、開館時間	66.2 (562)	24.7 (210)	2.6 (22)	4.9 (42)	1.5 (13)
ウ. 職員対応	31.6 (268)	47.5 (403)	10.2 (87)	8.7 (74)	2.0 (17)
エ. 本の並べ方	18.2 (155)	33.6 (285)	38.9 (330)	6.8 (58)	2.5 (21)
オ. キッズフロア	28.6 (242)	25.1 (213)	9.2 (78)	33.2 (282)	3.9 (33)
カ. カフェ	40.2 (341)	29.4 (250)	19.0 (161)	9.8 (83)	1.6 (14)
キ. 書店	25.9 (220)	36.3 (308)	23.1 (196)	9.1 (77)	5.6 (25)
ク. タブレット型検索機	28.5 (242)	28.9 (245)	11.8 (100)	26.6 (226)	4.2 (36)
ケ. 自動貸出し機	37.5 (318)	24.9 (211)	5.1 (43)	29.3 (249)	3.2 (28)
コ. 学習室	23.3 (198)	28.3 (240)	10.8 (92)	34.2 (290)	3.4 (29)
サ. 図書館のイベント	9.8 (83)	22.7 (193)	5.0 (42)	58.7 (498)	3.8 (33)

【道路愛称名】 **新規**

【問 15】昨年 9 月に海老名駅西口の扇町の主要 2 路線に対して愛称名を公募し、「エビーロード」「そらかぜ通り」と命名しました。そのことについて、あなたは、どう感じていますか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。（複数回答可）

1. 親しみやすい	23.6	(585)
2. まちのイメージに合っている	15.8	(390)
3. イメージアップにつながる	12.8	(318)
4. おぼえやすく、来訪者にもわかりやすい	12.2	(302)
5. 文化を感じる	3.3	(82)
6. 道路に命名していることを知らなかった	36.1	(893)
7. 特に感じることはない	35.4	(875)
無回答	3.7	(91)

【問 15-1】今後も、市内の幹線道路に愛称名を付けたほうがよいと思いますか。あてはまる番号を右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 道路を結ぶ地点名をつける（例：県道町田厚木）	23.6	(585)
2. 地名に限定せずイメージにより命名する（例：エビーロード）	17.1	(422)
3. 今の路線番号のままよい	23.5	(581)
4. わからない	30.9	(767)
無回答	1.9	(46)

## 【公共交通】

【問16】あなたは、バスや鉄道をどの程度利用していますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規

1. 週5日以上	15.7	(389)
2. 週3～4日程度	6.3	(157)
3. 週1～2日程度	10.4	(257)
4. 月2～3日程度	17.6	(436)
5. 月1日程度	10.9	(269)
6. ほとんど利用しない	38.4	(949)
無回答	0.7	(18)

【問16-1】あなたが、レジャー、買い物で普段利用する移動手段は何ですか。該当する数字すべてを右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) 新規

1. 自家用車	77.6	(1,921)
2. 電車(JR)	22.2	(550)
3. 電車(小田急)	51.0	(1,263)
4. 電車(相鉄)	53.2	(1,316)
5. バス(神奈中)	11.6	(288)
6. バス(相鉄)	16.2	(400)
7. コミュニティバス	10.7	(264)
8. ぬくもり号	0.6	(16)
9. 自転車	30.3	(750)
10. 徒歩	60.0	(1,486)
無回答	0.8	(21)

## 【農業施策】

【問17】市内産の農産物についてお伺いします。あなたが市内産の農産物を購入する場合に魅力を感じる点について。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) 新規

1. 鮮度	68.8	(1,704)
2. 価格	42.4	(1,050)
3. 作っている農家分かる	30.7	(759)
4. 栽培方法(無農薬等)	19.6	(486)
5. 特に市内産にこだわらない	31.4	(776)
無回答	1.0	(24)

【問17-1】あなたは、海老名市内の農地についてどう思いますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) 新規

1. 農地はのどかで癒し効果がある	54.5	(1,350)
2. 農地を残すための農業振興が必要	46.7	(1,157)
3. 自ら農業をやりたい(体験農業を含む)	8.8	(219)
4. 現状のままで良い	17.9	(444)
5. わからない	20.2	(501)
無回答	1.1	(28)

【問 17-2】あなたは、海老名市のこれからの農業についてどう思いますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規

1. もっと発展して、新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい	67.2	(1,663)
2.今のままでよい	16.0	(396)
3.特に期待することはない	6.0	(149)
4.なくなってもよい	1.3	(32)
5.わからない	8.4	(209)
無回答	1.1	(26)

【防災】

【問 18】あなたは、平成 26 年 10 月に全戸配布した「防災ガイドブック」「安否確認フラッグ」をすぐに取り出せる所に置いてありますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

新規

1. すぐに取り出せる所に置いている	50.4	(1,249)
2. 置いた所は覚えているがすぐに出ない	15.4	(381)
3. どこにあるかわからない	17.1	(422)
4. 配布されたことを知らない、持っていない	16.0	(395)
無回答	1.1	(28)

【問 18-1】あなたは災害に備えて日頃どのようなことを行っていますか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) 新規

1. 飲料水、食料の備蓄や非常持ち出し品の準備	60.8	(1,505)
2. 避難所等の確認	51.2	(1,268)
3. 家具の転倒防止等、家の中の安全対策	40.5	(1,002)
4. ブロック塀の安全確認等、家の外の安全対策	6.0	(148)
5. 家族間の連絡方法の確認(災害伝言ダイヤル等)	25.7	(635)
6. 特に何もしていない	20.7	(513)
無回答	0.7	(18)

【問 18-2】あなたは、災害時の心得や海老名市の防災に関する施設などの情報を掲載しているスマートフォン用の防災アプリ「海老名市防災マップ」を知っていて、ダウンロードされていますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規

1. 知っていて、ダウンロードしている	8.8	(219)
2. 知っていて、スマートフォンを持っているが、ダウンロードはしていない	17.0	(420)
3. 知っているが、スマートフォンを持っていない	24.6	(609)
4. 知らない	48.1	(1,190)
無回答	1.5	(37)

【問 18-3】あなたは、市で主催している「避難所運営訓練」や自治会が主催の「自主防災訓練」に参加したことがありますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

**選択項目修正**

1. 必ず参加している	3.1	(77)
2. できるだけ参加している	18.7	(462)
3. 日程が合わず、なかなか参加できない	16.0	(396)
4. 知っているが、参加したことはない	31.8	(786)
5. 知らないなので、参加したことはない	27.2	(674)
6. 興味もなく、必要性を感じない	2.1	(53)
無回答	1.1	(27)

**【消防】**

【問 19】あなたは、平成 27 年 4 月 1 日から海老名市・座間市・綾瀬市で消防指令センターを建設し、119 番を受信する業務を共同で行っていることを知っていますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 知っている	27.7	(686)
2. 知らない	71.7	(1,773)
無回答	0.6	(16)

【問 19-1】今後、119 番を受信する業務だけでなく、他の消防業務も三市で連携することを望みますか。連携したほうが良いと思うものに該当する数字を、すべて右側の記入欄に記入してください。  
(複数回答可) **新規**

1. 消防・救助業務	84.0	(2,078)
2. 救急業務	77.0	(1,905)
3. 事務関係	19.7	(488)
4. 望まない	6.3	(155)
無回答	2.8	(70)

【問 20】市内には消防署のほかに、災害出動や火災予防運動を行っている、地域住民で組織された「消防団」があります。あなたは、自分の地域に消防団があることを知っていますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 知っている	79.7	(1,973)
2. 知らない	19.2	(475)
無回答	1.1	(27)



<問 20 で「1. 知っている」と回答した方(1,973 人)にお伺いします>

【問 20-1】あなたが感じる『消防団のイメージ』について、次の中から該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) **新規 N=1973**

1. 地域の安全・安心を守っている	69.3	(1,367)
2. 地域の防災リーダー	50.2	(991)
3. 必要性を感じない	4.1	(80)
4. 仕事との両立が難しい	43.7	(863)
5. 報酬・手当が少ない(団員平均年額7万円程度)	20.3	(400)
6. 活動が危険	13.5	(266)
7. 人間関係が難しい	8.4	(165)
8. 自由時間が拘束される	23.0	(453)
9. わからない	11.3	(223)
10. その他( )	1.6	(32)
無回答	0.5	(9)

【環境対策】

【問 21】市では、電気自動車や、水素燃料電池の購入に補助を行っています。また、国では、水素社会への取り組みを進めています。あなたが自動車を新規に購入または買い替えることになった場合、電気自動車や水素燃料電池自動車を購入したいと思いますか。該当する数字をひとつ選んで右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 電気自動車を購入したい	14.9	(369)
2. 水素燃料電池自動車を購入したい	4.8	(119)
3. 電気自動車や水素燃料電池自動車に興味はあるが購入したくない	40.5	(1,002)
4. 電気自動車や水素燃料電池自動車には全く興味がない	32.5	(805)
無回答	7.3	(180)

<問 21 「3. 電気自動車や燃料電池自動車に興味はあるが購入したくない」と答えた方 1,002 人にお伺いします>

【問 21-1】「電気自動車や水素燃料電池自動車に興味はあるが、購入したくない」と答えた理由は何ですか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) **新規**

**N=1,002**

1. 充電設備等インフラ整備が不十分だから	74.5	(746)
2. 価格が高いから	79.7	(799)
3. 技術的に不安があるから(走行距離が短い等)	48.4	(485)
4. 車種が少ないから	38.4	(385)
無回答	1.4	(14)

**【広報・情報】**

**【問 22】** 市が発信している情報媒体の中で、あなたが利用しているものはどれですか。該当する数字をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) **新規**

1. 広報えびな	86.3	(2,136)
2. 市のホームページ	24.0	(594)
3. フェイスブック	2.9	(71)
4. インターネット放送局	1.3	(33)
5. 自治会回覧(紙文書)	56.8	(1,406)
6. 広報掲示板	16.6	(410)
7. 議会中継(インターネット放送)	0.6	(16)
8. 議会だより	30.8	(762)
9. タウン情報誌	38.6	(956)
10. 新聞、テレビ	34.4	(852)
11. スマートフォン用防災アプリ	6.1	(152)
12. 自由通路の電子看板	4.4	(108)
13. コミセン等のチラシ、ポスター	13.0	(322)
14. 特にない	7.3	(180)
無回答	2.9	(71)

**【問 22-1】** 情報を発信している、以下のア～カの各項目についてそれぞれ該当する数字ひとつに○印をお願いします。



	1 わかりやすい	2 ふつう	3 わかりにくい	4 みていない	無 回 答
ア. 広報えびな	39.3 (973)	50.6 (1,253)	1.6 (39)	5.6 (139)	2.9 (71)
イ. 市ホームページ	5.1 (125)	27.2 (673)	6.1 (151)	46.2 (1,145)	15.4 (381)
ウ. フェイスブック	0.9 (23)	6.2 (153)	0.8 (21)	73.5 (1,818)	18.6 (460)
エ. インターネット放送局	0.5 (12)	5.0 (124)	0.7 (18)	75.2 (1,861)	18.6 (460)
オ. 議会だより	5.5 (137)	44.1 (1,091)	7.7 (190)	31.9 (790)	10.8 (267)
カ. 広報掲示板	4.5 (111)	27.1 (671)	2.2 (55)	51.9 (1,284)	14.3 (354)

**【広報掲示板】**

**【問 23】** 広報掲示板の今後の方向性について検討していますが、あなたは、情報を取得するために広報掲示板を必要だと思いますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。 **新規**

1. 必要	50.6	(1,252)
2. 必要ではない	43.6	(1,079)
無回答	5.8	(144)

<問 23 「1. 必要」と答えた方 (1, 252 人) にお伺いします>

【問 23-1】あなたのお住いの地域における広報掲示板は適正な配置（箇所数、見やすい所にあるか、目立つところにあるか等）がされていると思いますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規 N=1, 252

1. 適正	51.5	(645)
2. 多い	0.9	(11)
3. 少ない	46.7	(584)
無回答	0.9	(12)

【男女共同参画】

【問 24】あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規

1. 知っている	59.0	(1, 460)
2. 知っているが意味は知らない	14.2	(351)
3. 知らない	26.2	(649)
無回答	0.6	(15)

【問 24-1】あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。新規

1. 知っている	44.0	(1, 090)
2. 知っているが意味は知らない	9.8	(243)
3. 知らない	45.4	(1, 121)
無回答	0.8	(21)



## Ⅲ. 調査結果の分析



## 1 調査回答者の特性（地域別）

調査回答者の特性を地域別に分析し、その結果を地域間で比較した。表中の「市全体の回答数」の列と「全体」の行で人数表示になっており、それ以外の単位は割合（％）表示となっている。

◎ 性別の割合は、男性 46.1%、女性 53.6%（全体の回答数）

◎ 年代別では、65～74 歳 23.8%で最も高く、続いて 40 歳代 17.6%、75 歳以上 14.3%となっている。

地域別では、18～24 歳は本郷地域、25～29 歳は門沢橋地域、30 歳代は国分地域、40 歳代は上郷・下今泉地域、50 歳代は上郷・下今泉地域、60～64 歳は杉久保地域、65～74 歳は上今泉地域、75 歳以上は大谷地域が最も高い。

◎ 居住年数別では、40 年以上 21.0%が最も高く、30 年以上 40 年未満が 20.3%と、30 年以上居住されている方が 41.3%となり、長い年数海老名に住んでいただいている方が多いことがわかる。

地域別では、1 年未満が上郷・下今泉地域、1 年以上 5 年未満が社家地域、5 年以上 10 年未満では柏ヶ谷地域、10 年以上 20 年未満では海西地域、20 年以上 30 年未満では杉久保地域、30 年以上 40 年未満では門沢橋地域、40 年以上では本郷地域がそれぞれ最も高くなっている。

◎ 職業別では、回答者全体の割合を見ると、会社員等 42.6%が最も高く、専業主婦・主夫 23.3%、無職 23.2%、自営業 6.1%と続く。

地域別では、会社員等は社家地域 50.8%、専業主婦・主夫は上今泉地域 30.0%、無職は大谷地域 31.5%、自営業は杉久保地域 9.3%とそれぞれ最も高くなっている。

◎ 通勤・通学場所では、回答者全体の割合では海老名市内と近隣市町を合わせると 53.6%となっている。また、神奈川県内の合計は 82.2%、東京都内は 15.4%で、80%以上が神奈川県内に通勤・通学している。

地域別では、海老名市内と近隣市町への通勤・通学率は杉久保地域 66.0%が最も高く、門沢橋地域 62.5%、大谷地域 58.2%と続いている。

◎ 家族構成では、回答者全体の割合では二世帯世帯 48.9%、夫婦のみ 30.9%、単身 9.2%、三世帯世帯 7.1%、その他 2.9%となっている。

地域別では、単身世帯は国分地域 11.3%、夫婦のみは上今泉地域 38.1%、二世帯世帯は門沢橋地域 54.4%、三世帯世帯は本郷地域 11.1%でそれぞれ最も高くなっている。

調査回答者の特性（地域別）

－性別、年代、性別・年代別－

		市 全体 の 回 答 数	市 全体 の 回 答 率	柏 ヶ 谷 地 域	上 今 泉 地 域	上 郷 ・ 下 今 泉 地 域	国 分 地 域	海 西 地 域	大 谷 地 域	杉 久 保 地 域	本 郷 地 域	社 家 地 域	門 沢 橋 地 域	無 回 答
全 体		2475	100	417	273	125	487	339	330	183	54	124	136	7
性別	男性	1140	46.1	45.1	43.2	49.6	46.2	44.2	47.9	48.1	38.9	52.4	47.1	
	女性	1328	53.6	54.7	56.8	50.4	53.8	55.8	51.8	51.4	61.1	47.6	52.9	
	無回答	7												
年代	18～24歳	97	3.9	3.1	4.4	3.2	4.1	5.6	2.1	3.3	9.3	5.6	2.9	
	25～29歳	108	4.4	4.6	3.3	6.4	4.7	3.8	3.0	4.4	0.0	6.5	6.6	
	30～39歳	329	13.3	14.6	12.8	15.2	18.3	12.4	9.1	7.6	7.4	17.0	10.3	
	40～49歳	435	17.6	18.2	14.7	23.2	19.3	15.3	14.6	19.1	22.2	17.7	19.1	
	50～59歳	328	13.2	14.2	15.0	16.8	12.9	13.3	12.7	12.0	16.6	12.1	7.4	
	60～64歳	215	8.7	8.6	9.5	7.2	6.6	10.6	8.2	12.0	9.3	10.5	6.6	
	65～74歳	590	23.8	20.1	28.9	15.2	19.7	25.7	28.8	27.9	24.1	18.5	31.6	
	75歳以上	354	14.3	14.4	11.0	12.8	14.2	12.7	21.2	13.7	11.1	11.3	15.5	
無回答	19													
男性	18～24歳	38	3.3	3.2	2.5	3.2	3.1	5.3	2.5	1.1	9.5	4.6	3.1	
	25～29歳	51	4.5	3.7	3.4	4.9	4.9	2.7	5.1	5.7	0.0	6.2	7.8	
	30～39歳	131	11.5	13.3	8.5	12.9	16.5	11.3	7.0	8.0	0.0	13.8	10.9	
	40～49歳	207	18.2	19.2	15.3	27.4	20.4	16.7	12.0	17.1	28.5	18.5	18.8	
	50～59歳	148	13.0	11.7	14.4	14.5	16.0	13.3	13.3	9.1	9.5	12.3	7.8	
	60～64歳	94	8.3	7.4	8.5	8.1	6.2	10.0	8.9	10.2	19.1	12.3	1.6	
	65～74歳	291	25.5	25.5	33.0	16.1	19.1	25.3	25.9	31.8	19.1	24.6	37.5	
	75歳以上	176	15.4	14.9	14.4	12.9	13.8	14.7	25.3	17.0	14.3	6.2	12.5	
無回答	4													
女性	18～24歳	59	4.4	3.1	5.8	3.2	5.0	5.9	1.8	5.3	9.1	6.8	2.8	
	25～29歳	57	4.3	5.3	3.2	7.9	4.6	4.8	1.2	3.2	0.0	6.8	5.6	
	30～39歳	198	14.9	15.8	16.1	17.5	19.8	13.2	11.1	7.4	12.1	20.3	9.7	
	40～49歳	228	17.2	17.5	14.1	19.0	18.3	14.3	16.9	21.3	18.2	16.9	19.4	
	50～59歳	180	13.6	16.2	15.5	19.0	10.3	13.2	12.3	14.9	21.2	11.9	6.9	
	60～64歳	121	9.1	9.6	10.3	6.4	6.9	11.1	7.6	13.8	3.0	8.5	11.1	
	65～74歳	299	22.5	15.8	25.8	14.3	20.2	25.9	31.6	24.5	27.3	11.9	26.4	
	75歳以上	175	13.2	13.6	8.4	12.7	14.5	11.1	16.9	9.6	9.1	16.9	18.1	
無回答	11													

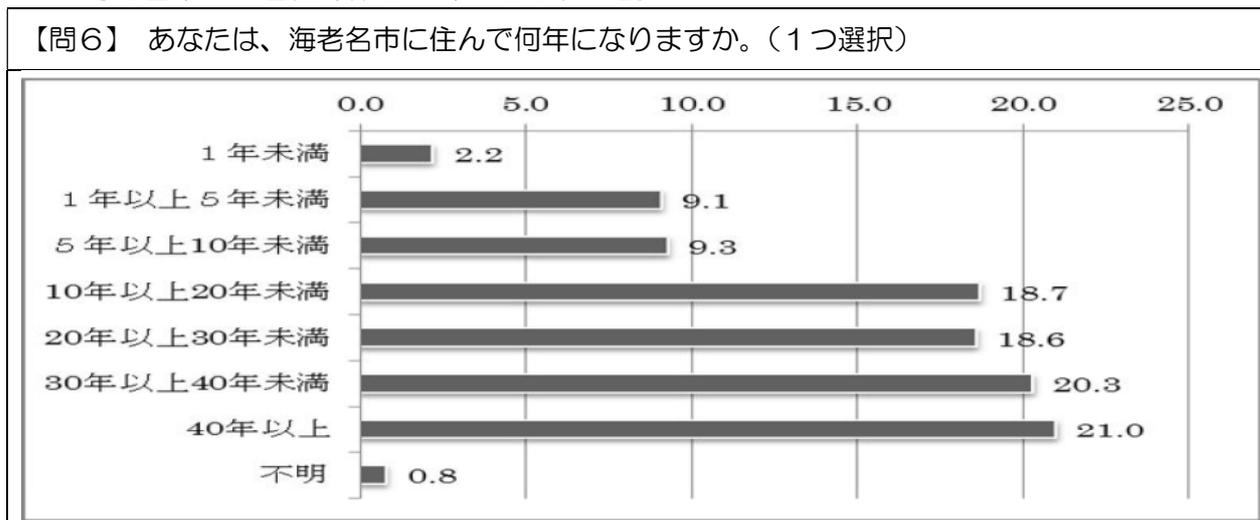
調査回答者の特性（地域別）－居住年数、職業、通勤・通学場所、家族構成

		市 全 体 の 回 答 数	市 全 体 の 回 答 率	柏 ヶ 谷 地 域	上 今 泉 地 域	上 郷 ・ 下 今 泉 地 域	国 分 地 域	海 西 地 域	大 谷 地 域	杉 久 保 地 域	本 郷 地 域	社 家 地 域	門 沢 橋 地 域	無 回 答
全 体		2475	100	417	273	125	487	339	330	183	54	124	136	7
居 住 年 数	1年未満	54	2.2	1.2	1.5	4.8	4.3	2.1	1.5	0.5	1.9	1.6	1.5	
	1年以上5年未満	224	9.1	11.8	4.8	11.2	11.7	8.0	6.4	3.8	7.4	16.1	7.3	
	5年以上10年未満	231	9.3	13.4	10.6	12.8	9.3	8.6	4.8	9.3	1.9	11.3	5.9	
	10年以上20年未満	463	18.7	21.6	19.0	14.4	23.0	24.8	11.2	15.9	13.0	10.5	14.7	
	20年以上30年未満	460	18.6	17.3	25.6	22.4	14.4	13.6	17.3	31.2	14.8	20.2	19.1	
	30年以上40年未満	502	20.3	18.0	25.3	15.2	19.5	18.3	24.6	20.2	16.7	15.3	26.5	
	40年以上	521	21.0	16.5	12.1	19.2	16.8	23.6	33.0	19.1	42.6	24.2	25.0	
	無回答	20												
職 業	自営業	150	6.1	6.0	5.9	8.0	4.7	5.9	5.2	9.3	7.4	8.1	5.9	
	会社員等	1055	42.6	42.2	39.6	49.6	48.9	43.7	32.7	40.4	42.6	50.8	39.7	
	学生	76	3.1	2.4	3.3	1.6	2.5	5.0	2.7	3.3	5.6	4.8	1.5	
	専業主婦・主夫	577	23.3	24.2	30.0	20.8	24.4	20.7	27.0	19.7	11.1	15.3	19.9	
	無職	575	23.2	23.8	19.4	18.4	18.3	23.3	31.5	24.0	29.6	21.0	30.9	
	無回答	42	1.7	1.4	1.8	1.6	1.2	1.4	0.9	3.4	3.7	0.0	2.1	
通 勤 ・ 通 学 場 所	海老名市内	339	26.5	19.0	26.3	27.0	20.1	28.7	35.8	35.1	33.4	32.9	28.1	
	近隣市町	347	27.1	28.5	31.6	20.3	27.5	24.9	22.4	30.9	23.3	24.1	34.4	
	横浜市・川崎市	214	16.7	23.2	17.3	24.3	16.9	14.1	12.7	11.3	20.0	17.7	6.3	
	その他の神奈川県内	152	11.9	10.9	8.3	12.2	10.6	15.7	10.5	11.3	10.0	12.7	20.3	
	東京23区	153	11.9	12.8	10.5	9.5	16.1	11.9	14.2	7.2	6.7	6.3	9.4	
	都内市町村	45	3.5	3.3	5.3	1.3	4.8	3.7	3.7	2.1	3.3	2.5	0.0	
	その他	23	1.8	1.4	0.7	4.1	2.6	0.5	0.7	2.1	3.3	3.8	1.5	
	無回答													
家 族 構 成	単身世帯	227	9.2	10.1	5.5	9.6	11.3	9.8	8.8	8.2	7.4	10.5	5.9	
	夫婦のみ	765	30.9	29.7	38.1	21.6	31.6	31.6	30.9	33.9	25.9	27.4	26.5	
	二世帯世帯	1210	48.9	50.9	46.5	53.6	46.8	47.5	51.8	44.3	50.0	50.0	54.4	
	三世帯世帯	176	7.1	7.2	6.2	8.0	6.8	6.2	5.8	9.3	11.1	8.1	9.6	
	その他	71	2.9	1.4	2.6	5.6	2.7	4.4	1.8	2.7	5.6	3.2	3.6	
	無回答	26												

## 2「定住性・生活環境」

### (1) 居住年数

海老名市での居住年数20年以上は、6割



海老名市での居住年数は、「40年以上」21.0%が最も高く、続いて「30年以上40年未満」20.3%、「10年以上20年未満」18.7%となっている。

20年以上の合計は59.9%となり、前回の52.8%から数値を上げている。

**「10年未満の居住者」は、30歳代で5割超**

**「20年以上」は60～64歳以上で7割超、65歳以上は8割超**

年代別で、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」と回答したのは、18～24歳15.4%、25～29歳47.2%、30歳代58.1%、40歳代27.5%、50歳代14.0%であり、60歳代以上は全て10%以下となっている。前回と比較すると、75歳以上は今回7.1%であり、前回4.0%から3.1%増加となっている。

また、「20年以上」は、18歳～24歳41.3%、25～29歳38.9%、30歳代27.9%、40歳代32.6%、50歳代60.4%であり、60歳以上では60歳～64歳74.9%、65歳～74歳84.6%、75歳以上84.5%で、長い間、海老名市に住み続けている方が多くなっていることが伺える。

**「10年未満の居住者」は社家地域、上郷・下今泉地域、柏ヶ谷地域が多い**

**「20年以上」は大谷地域、本郷地域、杉久保地域が多い**

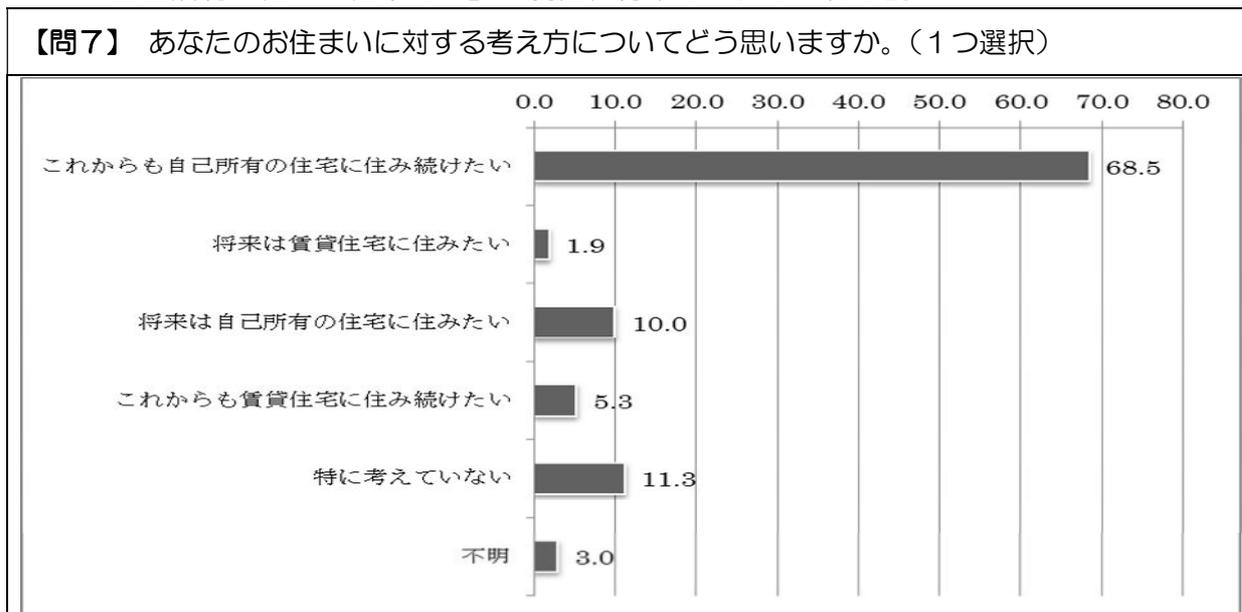
地域別でみると、10年未満の居住者は社家地域29.0%が最も高く、次に上郷・下今泉地域28.8%、柏ヶ谷地域26.4%と続く。前回の調査では、門沢橋地域が30.2%、柏ヶ谷地域24.8%、海西地域22.9%であり、今回高かった社家地域は12.0%、上郷・下今泉地域18.8%であったため、その割合が高くなっている。

20年以上の居住者は大谷地域74.9%が最も高く、本郷地域73.9%、杉久保地域70.6%となっている。

## 2「定住性・生活環境」

### (2) 住まいに対する考え方

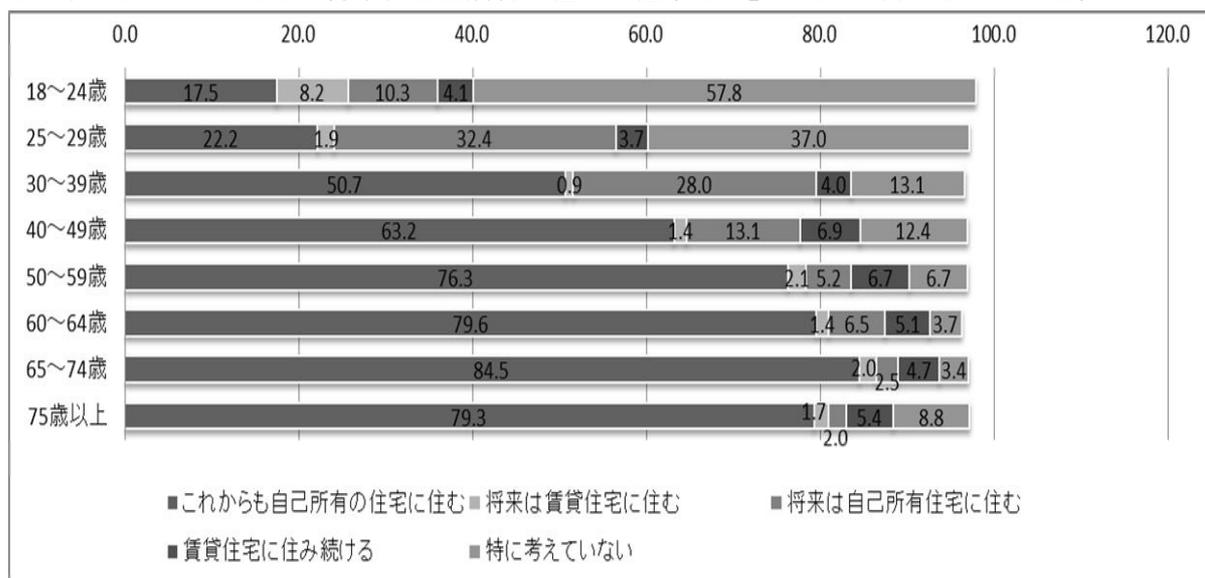
「自己所有の住宅に住みたい」が現在、将来と合わせて約8割



住まいに対する考え方についての質問に対し、「自己所有の住宅に住んでいて、これからも自己所有の住宅に住み続けたい」と「賃貸住宅に住んでいるが、将来は自己所有の住宅に住みたい」を合わせると78.5%となり、8割近くの方が将来または将来にわたり自己所有の住宅に住みたい意向を持っている。

年代別にみると、「これからも自己所有の住宅に住み続けたい」は50歳以上の年代で7割を超えている(50歳代76.3%、60~64歳79.6%、65~74歳84.5%、75歳以上79.3%)。また、40歳代で63.2%、30歳代で50.7%と5割以上の方が「自己所有の住宅に住み続けたい」となっている。

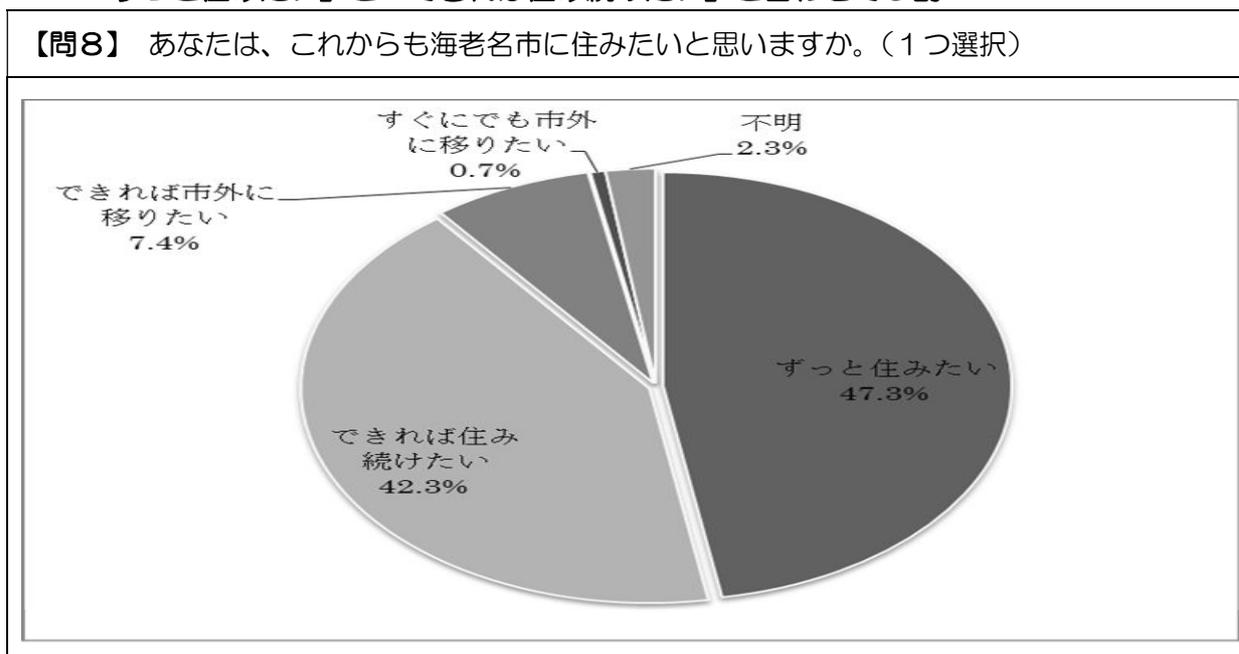
また、25~29歳では「将来、自己所有の住宅に住みたい」が32.4%となっている。



## 2「定住性・生活環境」

### (3) 定住意向・転出意向

「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」と合わせて9割



「あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。」との質問に対し、「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」を合わせると、ほぼ9割の方がこれからも海老名市に住みたい意向も持っている。一方、市外に移りたい意向を持っているのは8.1%となっている。

平成19年から25年度までの定住意向は83.9%→87.1%→87.5%→91.7%→89.6%と高い水準を維持している。

反対に転出意向は14.5%→11.6%→11.1%→7.6%→8.1%で、今回、少し増加したものの減少傾向となっている。

#### 20歳代後半からの高い定住意向は、前回調査と変わらず

定住意向について、年代別ではどの年代でも高い数値を示しており、30歳以降から8割超えと高い数値となっている（前回は25歳以降で8割超え）。この中で「ずっと住みたい」は年齢が高くなるに従い割合が高くなっている。また、「できれば住み続けたい」は、年齢が低くなるに従い割合が高くなる傾向にあり、25～29歳で65.7%と最も高くなっている（18～24歳については、58.7%）。

転出意向については、年齢が低くなるほど数値が高くなっており、25～29歳で21.3%、18歳～24歳では26.8%を超えている。「できれば市外に移りたい」は18～24歳で21.6%、25～29歳で19.4%、30歳代で9.1%、40歳代で8.0%、50歳代で7.0%、60～64歳で4.7%、65～74歳で4.7%、75歳以上は3.1%となっている。

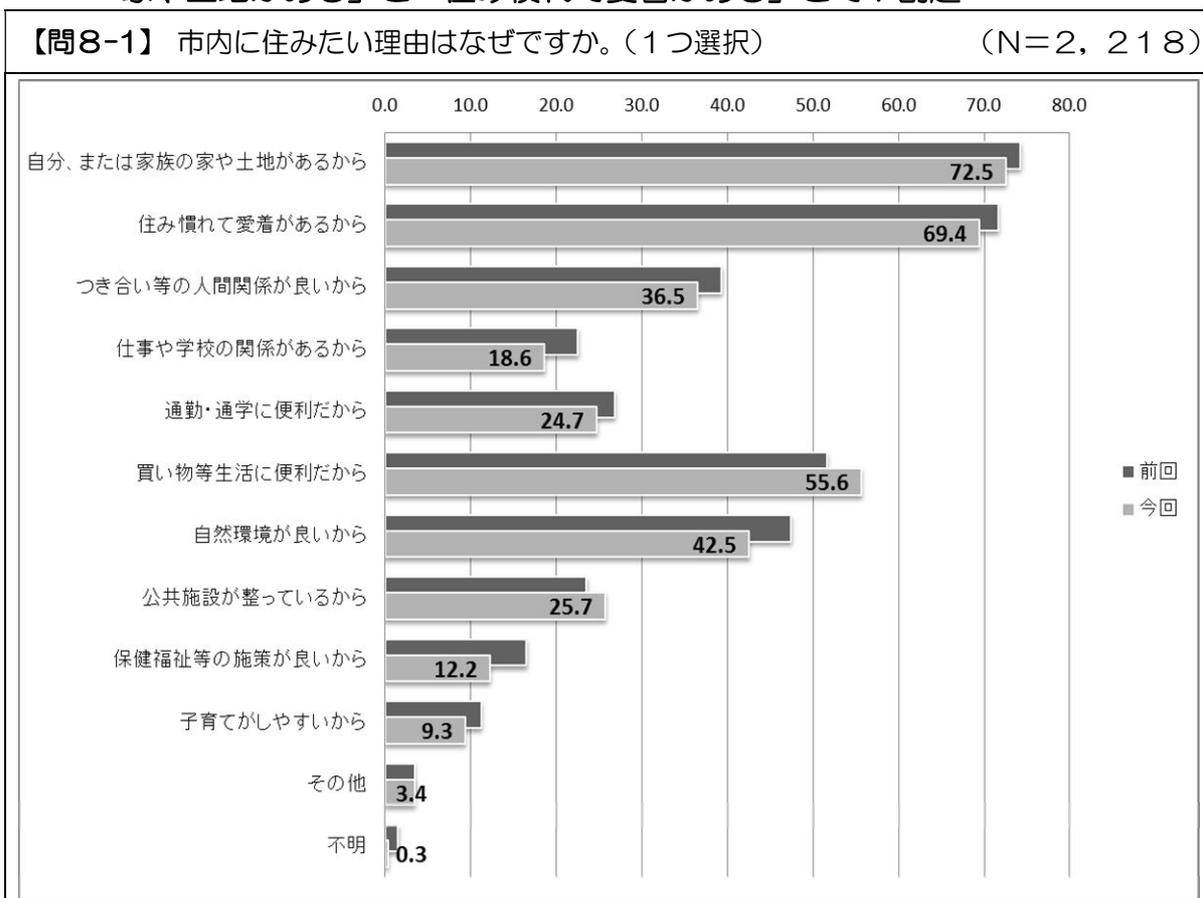
「すぐにでも市外に移りたい」は、40歳代以上で1%未満であるが、30歳代は1.5%、25～29歳は1.9%、18～24歳は5.2%となっている。

地域別では、定住意向で最も高い地域は門沢橋地域の93.4%で、上郷・下今泉地域92.0%と続き、他の地域も90%前後と高くなっている。また、転出意向は上今泉地域10.3%が最も高くなっている。

## 2「定住性・生活環境」

### (4) 市内に住みたい理由

「家や土地がある」と「住み慣れて愛着がある」とで7割超



市内に住みたい理由は、「自分、または家族の家や土地があるから」72.5%と最も高く、続いて「住み慣れて愛着があるから」69.4%、「買い物等生活に便利だから」55.6%となっており、上位2つは前回より低くなったが、「買い物等生活に便利だから」は前回の51.6%よりも高くなっている。

性別毎では、男女共にグラフと同じ順番になっている。平成23年の調査までは「通勤・通学に便利だから」が男性の3位だったが、前回から6位になっている。

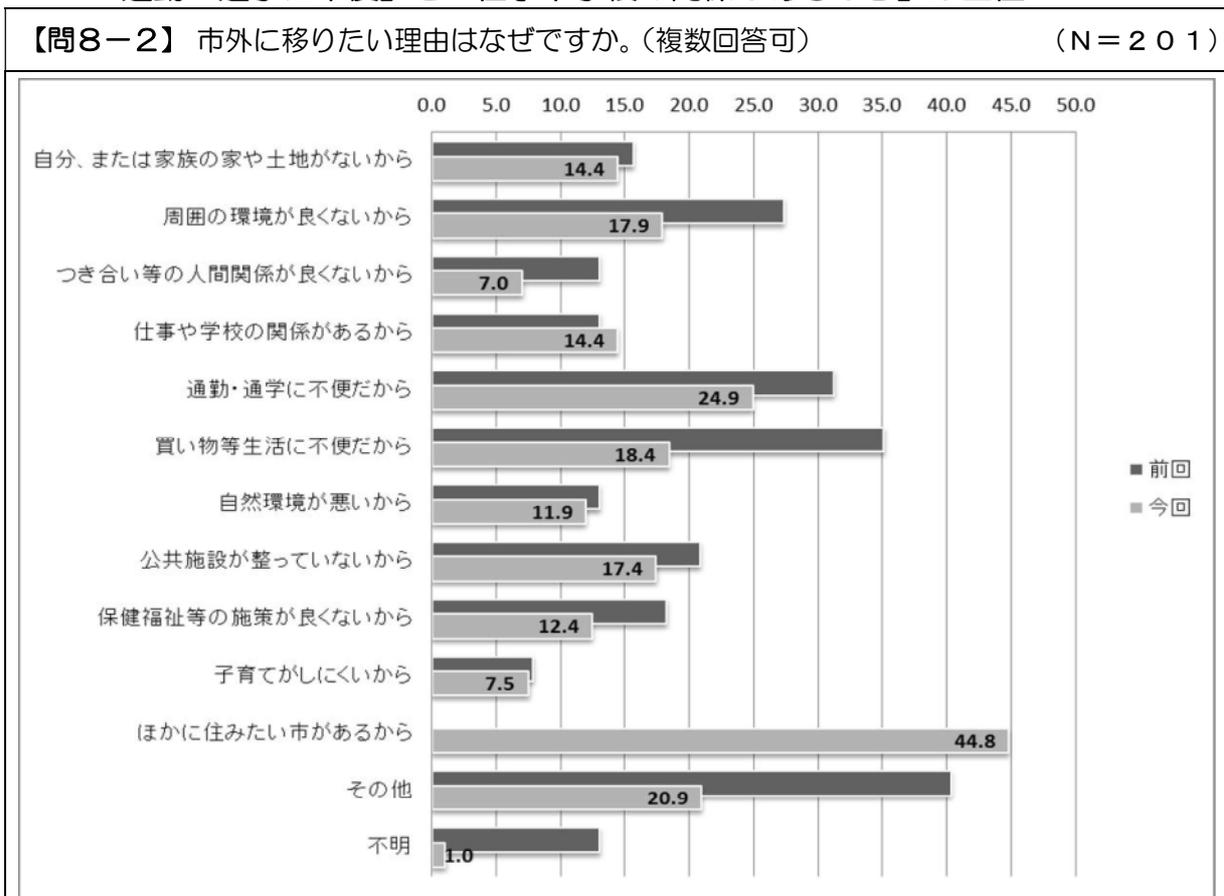
年代別では、「自分、または家族の家や土地があるから」「愛着があるから」「人間関係が良いから」は年代が高くなるに従ってその割合が高くなるが、「通勤・通学に便利だから」は、40歳代、30歳代、18～24歳が30%を超えており、他の年代よりも高くなっている。

地域別に見ると、「生活に便利」が高い順に上郷・下今泉地域60.0%、海西地域59.3%、国分地域57.9%の順になっているが、反対に本郷地域25.9%、門沢橋地域26.5%、杉久保地域30.1%と地域差がある結果となっている。

## 2「定住性・生活環境」

### (5) 市外に移りたい理由

「通勤・通学に不便」と「仕事や学校の関係があるから」が上位



市外へ移りたい理由としては、「ほかに住みたい市があるから」44.8%が最も高く、「通勤・通学に不便だから」24.9%、「買い物等生活に不便だから」18.4%「周囲の環境が良くないから」が17.9%と続いている。

前回と比べると、「買い物等生活に不便だから」が35.1%から大幅に減少し、「通勤・通学に不便だから」も前回31.2%から24.9%と減少している。

年代別にみると、「自分、または家族の家や土地がないから」と「周囲の環境が良くないから」の二つ以外は全て18～24歳が最も高くなっている。また、「ほかに住みたい市があるから」については、18～24歳が9.3%、25～29歳が7.4%、30歳代4.9%、40歳代4.6%と、年齢が高くなるに従って低くなっている。

地域別で「通勤・通学に不便だから」をみると、一番高いのは本郷地域で7.4%、続いて上今泉地域3.3%、杉久保地域2.7%となっている。

## 2「定住性・生活環境」

### (6) 生活環境と施策の満足度

【問9】 あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～ノの各項目について、  
あてはまると思うものをお選びください。(項目ごとに1つ選択)

#### ◎満足度の高い項目（満足とやや満足を合わせた順位）

##### 「ごみ処理と資源回収」、「買い物等の生活の便利さ」など2項目が6割超

満足度の高い項目の1位は「ごみ処理と資源回収」68.3%、2位「買い物等の生活の便利さ」67.4%、3位「最寄駅へのアクセス」57.3%、4位「病院や診療所等の医療施設」56.4%、5位「市役所窓口の対応」54.6%となっている。

1位の「ごみ処理と資源回収」は年代別では、65～74歳と75歳以上で74.1%、40歳代で70.2%となっている。地域別では、海西地域、上今泉地域、本郷地域、柏ヶ谷地域が70%台と高い割合である一方、社家地域57.4%、上郷・下今泉地域56.8%となっている。

2位の「買い物等の生活の便利さ」は性別では男女ともに67.4%で、性別・年代別でみると、25～64歳までの間は男性よりも女性の割合が高いが、18～24歳、65歳以上の年代は男性の方が高くなっている。地域別では、国分地域、柏ヶ谷地域、上郷・下今泉地域、海西地域で70%台と高くなっているが、社家地域は42.5%、門沢橋地域は44.5%となっている。

3位の「最寄駅へのアクセス」は性別では男性59.2%、女性56.0%、性別・年代別でみると、18～29歳までの間と40歳代は60%台、そのほかの年代も50%台になっている。地域別では、大谷地域、柏ヶ谷地域、国分地域、海西地域は60%台と高いが、門沢橋地域は39.7%、本郷地域22.2%と低くなっている。

#### ◎不満足度の高い項目（不満とやや不満を合わせた順位）

##### 「歩道・信号の設置等の交通安全対策」が3割台

不満足度の高い項目は1位「歩道・信号の設置等の交通安全対策」34.2%、2位「生活道路の整備」29.9%、3位「幹線道路の整備」25.1%となっている。

上位3位までが歩道、生活道路、幹線道路と道路関係となっている。もっとも不満の割合が少ないのが「中学生までの子どもの医療費全額助成施策」の4.1%となっている。

1位の「歩道・信号の設置等の交通安全対策」では、男性33.8%、女性34.7%と女性の割合が高く、年代別で高いのは、30歳代、40歳代が40%台、50歳代も39.4%となっている。また、地域別では上郷・下今泉地域が40.0%で最も高く、続いて国分地域39.6%、社家地域35.4%、柏ヶ谷地域34.5%となっている。

2位の「生活道路の整備」では、男性33.4%、女性26.8%となっており、年代では25～64歳の間で30%台と高くなっている。性別・年代別では、18～29歳の間は女性の割合が高くなっているが、それ以外は男性が高くなっている。地域別では、上郷・下今泉地域が50.4%と他の地域と比べると高く、続いて国分地域40.7%、本郷35.2%の順で、最も低いのは大谷地域で17.5%となっている。

3位「幹線道路の整備」は、男性32.0%、女性19.2%となっており、年代別では50歳代32.0%が最も高く、続いて30歳代、40歳代、60～74歳の間で20%台となっている。性別・年代別では、全ての年代で男性の割合が高くなっている。地域別では、上郷・下今泉地域で40.8%、国分地域32.0%、本郷地域27.8%と続いており、最も低いのが大谷地域の16.7%となっている。

## 2「定住性・生活環境」

### ◎生活環境と施策の平均評価点

「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」評価の各回答者数に、所定の評価点を乗じた値の和を調査回答者数で除したものを「平均評価点」とする。平均評価点は-2.00 から 2.00 の間に分布する。

この平均評価点の算出方法では「どちらとも言えない」の評価は考慮されず、「満足」と「やや満足」、「やや不満」と「不満」では点数に倍の差がつくため、順位は%評価や%評価を基準としている満足度、不満足度とは異なる結果になる場合もある。

#### ★算出式

$$\frac{\text{「満足」} \times 2\text{点} + \text{「やや満足」} \times 1\text{点} + \text{「やや不満」} \times -1\text{点} + \text{「不満」} \times -2\text{点}}{\text{調査回答者数}}$$

※「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」「無回答」の数値は%表示。平均評価点は上記算式により算出し、小数点第3位を四捨五入した数値

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない	無回答	平均 評価点	前回との 比較
ア. 病院や診療所等の医療施設	18.7	37.7	19.5	12.8	7.6	2.3	1.4	0.46	↗
イ. デイサービス施設等の高齢者(障がい者)福祉の施設	4.2	10.1	24.8	5.3	3.3	48.1	4.2	0.06	↘
ウ. 中学生までの子どもの医療費全額助成施策	32.8	13.3	12.5	2.0	2.1	30.3	7.0	0.72	↗
エ. 待機児童解消等の保育所整備	2.6	6.6	22.2	6.5	3.8	51.1	7.2	-0.02	—
オ. 体育館や庭球所等の文化・スポーツ施設の整備	12.4	28.0	22.0	8.5	5.2	19.4	4.5	0.33	↘
カ. 文化会館や図書館等の文化施設の整備	17.1	33.7	21.5	8.2	6.1	10.1	3.3	0.47	↗
キ. 講演会やイベントの開催等の生涯学習施策	3.8	14.8	32.4	7.0	3.4	33.3	5.3	0.08	↘
ク. 市役所窓口の対応	18.9	35.8	25.7	5.4	3.6	8.1	2.5	0.61	↗
ケ. 災害に対する体制・対策の整備	5.5	21.4	35.6	5.7	2.9	24.1	4.8	0.20	↗
コ. 防犯に対する体制・対策	4.3	19.2	37.3	8.8	4.3	22.7	3.4	0.10	↗
サ. 歩道・信号の設備等の交通安全対策	6.7	24.4	27.5	20.4	13.8	3.9	3.3	-0.10	↘
シ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	11.9	33.9	22.7	14.0	9.6	4.2	3.7	0.24	↘
ス. 買い物等の生活の便利さ	25.1	42.3	14.8	8.5	6.1	0.9	2.3	0.71	↗
セ. 最寄駅へのアクセス(路線バス、コミバス含む)	23.4	33.9	16.8	12.0	7.8	3.3	2.8	0.53	↘
ソ. 幹線道路の整備(南伸道路など市内の主要な道路)	8.1	24.2	27.1	14.4	10.7	11.6	3.9	0.04	↘
タ. 生活道路の整備(自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	10.2	27.4	25.5	18.5	11.4	3.8	3.2	0.06	↘
チ. 下水道・排水処理施設の整備	18.5	31.7	26.0	4.4	3.4	13.0	3.0	0.57	→
ツ. ごみ処理と資源回収	25.6	42.7	19.7	4.4	2.6	2.9	2.1	0.84	↗
テ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	10.0	25.3	30.1	11.3	10.7	9.5	3.1	0.12	↗
ト. 公園・遊び場の整備	9.8	27.3	29.4	12.1	6.7	11.7	3.0	0.21	↘
ナ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	13.1	33.5	29.9	7.9	4.2	8.0	3.4	0.43	↘
ニ. 市民活動センターやコミセン等地域コミュニティ施設	11.1	33.4	27.5	6.3	2.7	16.2	2.8	0.43	—
ヌ. 企業立地、農業保全等の産業振興施策	3.0	9.9	34.2	4.9	2.3	41.6	4.1	0.06	—
ネ. 空き地空き家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策	2.4	9.0	31.3	8.2	4.8	40.8	3.5	-0.04	—
ノ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	2.9	8.6	26.0	4.8	3.2	50.4	4.1	0.03	—

今回の調査では、全部で 25 項目中、22 項目で平均評価点がプラスとなり、マイナスとなった項目は 3 項目だけとなっている。

プラス評価が高い項目では、「ごみ処理と資源回収」が 0.84 で最も高く、続いて「中学生までの子どもの医療費全額助成施策」が 0.72、「買い物等の生活の便利さ」0.71、「市役所窓口の対応」0.61 となっている。

マイナス評価の 3 項目は、「歩道・信号の設備等の交通安全対策」が -0.10 で最も評価が低く、続いて「空き地空き家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策」が -0.04、「待機児童解消等の保育所整備」が -0.02 となっている。

## ◎地域別評価

	柏ヶ谷	上今泉	上郷・下今泉	国分	海西	大谷	杉久保	本郷	社家	門沢橋
ア. 病院や診療所等の医療施設	0.54	0.30	0.35	0.56	0.72	0.48	0.27	0.38	0.35	0.02
イ. デイサービス施設等の高齢者(障がい者)福祉の施設	0.01	0.03	-0.04	0.04	0.18	0.11	0.07	0.20	0.09	-0.05
ウ. 中学生までの子どもの医療費全額助成施策	0.72	0.74	0.52	0.78	0.66	0.70	0.72	0.92	0.72	0.77
エ. 待機児童解消等の保育所整備	-0.06	-0.02	-0.04	-0.09	0.02	0.06	-0.07	0.05	0.08	0.01
オ. 体育館や庭球所等の文化・スポーツ施設の整備	0.08	0.27	0.30	0.32	0.66	0.31	0.32	0.14	0.47	0.36
カ. 文化会館や図書館等の文化施設の整備	0.14	0.47	0.56	0.53	0.69	0.44	0.49	0.50	0.51	0.56
キ. 講演会やイベントの開催等の生涯学習施策	-0.03	0.04	0.01	0.09	0.21	0.10	0.17	0.11	0.07	0.09
ク. 市役所窓口の対応	0.58	0.52	0.51	0.63	0.64	0.71	0.64	0.53	0.54	0.57
ケ. 災害に対する体制・対策の整備	0.21	0.31	0.03	0.19	0.28	0.17	0.14	0.11	0.16	0.21
コ. 防犯に対する体制・対策	0.03	0.12	-0.09	0.16	0.19	0.08	0.14	0.00	0.03	0.11
サ. 歩道・信号の設備等の交通安全対策	-0.14	-0.11	-0.32	-0.17	0.01	0.02	-0.06	-0.22	-0.16	-0.03
シ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	0.31	0.20	0.26	0.25	0.28	0.23	0.22	0.01	0.08	0.25
ス. 買い物等の生活の便利さ	0.90	0.58	0.88	0.96	0.82	0.73	0.53	0.03	0.12	0.09
セ. 最寄駅へのアクセス(路線バス、コミバス含む)	0.90	0.04	0.21	0.79	0.68	0.70	0.31	-0.57	0.02	0.14
ソ. 幹線道路の整備(南伸道路など市内の主要な道路)	0.06	0.02	-0.41	-0.11	0.06	0.27	0.18	-0.01	0.18	0.10
タ. 生活道路の整備(自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	0.12	0.03	-0.58	-0.16	0.01	0.44	0.21	-0.14	0.19	-0.01
チ. 下水道・排水処理施設の整備	0.57	0.56	0.48	0.63	0.67	0.76	0.38	-0.24	0.42	0.41
ツ. ごみ処理と資源回収	0.88	0.80	0.66	0.84	0.94	0.85	0.83	0.94	0.67	0.81
テ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	-0.15	0.15	0.08	0.22	0.29	0.18	0.07	0.05	0.05	0.16
ト. 公園・遊び場の整備	0.36	0.20	0.40	0.04	0.38	0.23	0.08	-0.11	0.02	0.11
ナ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	0.27	0.51	0.52	0.37	0.55	0.43	0.51	0.48	0.50	0.40
ニ. 市民活動センターやコミセン等地域コミュニティ施設	0.19	0.53	0.30	0.37	0.63	0.53	0.50	0.53	0.49	0.45
ヌ. 企業立地、農業保全等の産業振興施策	0.02	0.10	0.00	0.05	0.13	0.03	0.01	0.09	0.09	0.09
ネ. 空き地空き家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策	-0.05	-0.04	-0.06	-0.03	-0.01	-0.07	-0.02	-0.01	-0.06	0.02
ノ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	0.02	0.04	-0.05	0.02	0.04	0.04	0.06	-0.01	-0.01	0.07

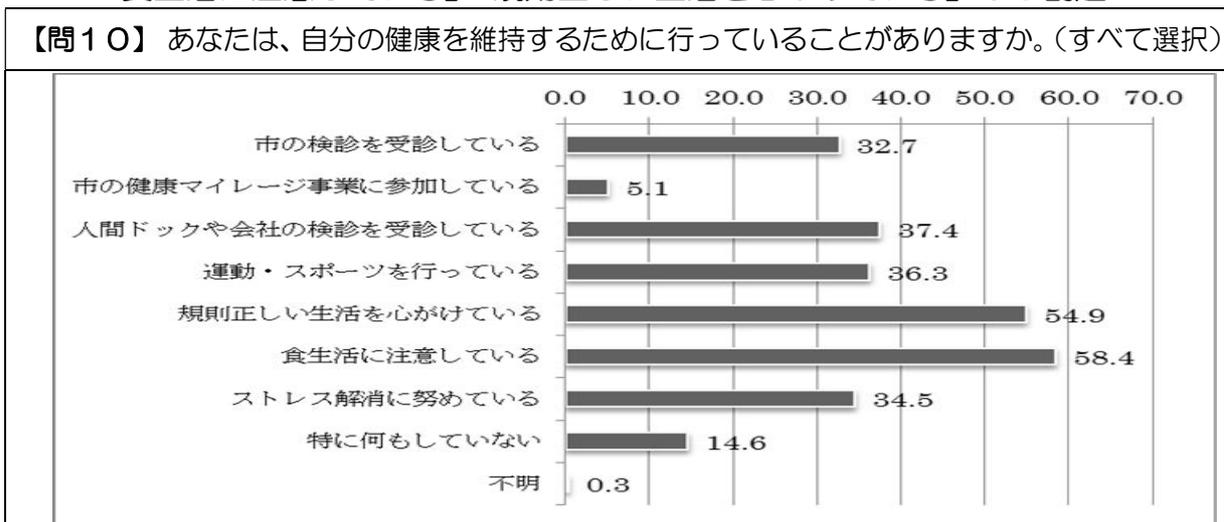
地域別に評価点をみると、全体でも評価の高かった「ごみ処理と資源回収」、「中学生までの子どもの医療費全額助成施策」「買い物等の生活の便利さ」は、全ての地域でプラス評価を得ている。

地域によって最高評価点と最低評価点の差が大きかった項目は、「最寄駅へのアクセス」が柏ヶ谷地域の0.90に対し本郷地域の-0.57で差は1.47となっている。続いて「生活道路の整備」が大谷地域0.44に対し、上郷・下今泉地域は-0.58で1.02、「下水道・排水処理施設の整備」が大谷地域0.76に対し、本郷地域-0.24で1.00の差となっている。

### 3「健康・スポーツ」

#### (1) 健康の維持について

「食生活に注意している」「規則正しい生活を心がけている」が5割超



自分の健康維持のために行っていることについての質問に対し、「食生活に注意している」58.4%が最も高く、「規則正しい生活」54.9%、「人間ドックや会社などの検診を受診している」37.4%が続いている。

性別では、男性の1位が「食生活に注意している」54.6%、2位「規則正しい生活を心がけている」51.1%、3位「人間ドックや会社の検診を受診している」42.8%で、女性の1位が「食生活に注意している」61.6%、2位「規則正しい生活を心がけている」58.0%、3位「市の検（健）診を受診（がん検診・健康診査）している」37.3%となっている。

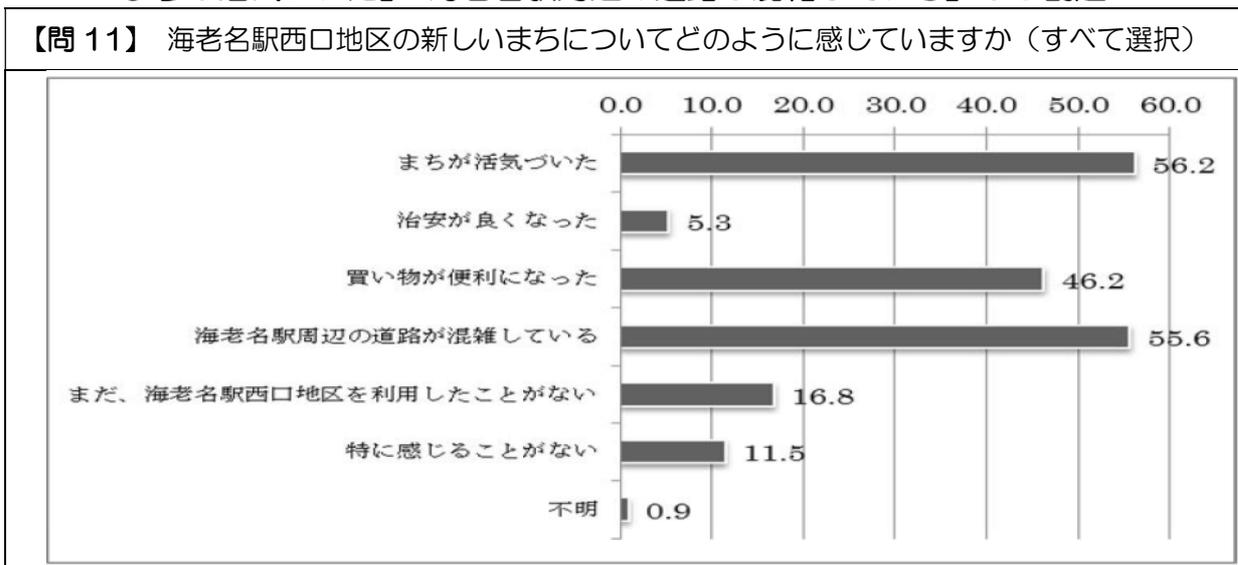
年代別にみると、「人間ドックや会社の検診を受診している」が30から50歳代で高くなっているが、他の項目では全て65歳以上の年代が高い割合になっている。「特に何もしていない」は29歳以下で20%台と高くなっている。

地域別では、大谷地域で「市の検診を受診している」「規則正しい生活を心がけている」「食生活に注意している」の3項目が他の地域よりも高くなっており、杉久保地域で「人間ドックや会社の検診を受診している」「ストレス解消に努めている」の2項目が高くなっている。その他では、海西地域で「運動・スポーツを行っている」が他の地域よりも高く、上今泉地域は「市の健康マイレージ事業に参加している」が他の地域よりも高くなっている。

#### 4「まちづくり」

##### (1) 海老名駅西口地区のまちづくりについて

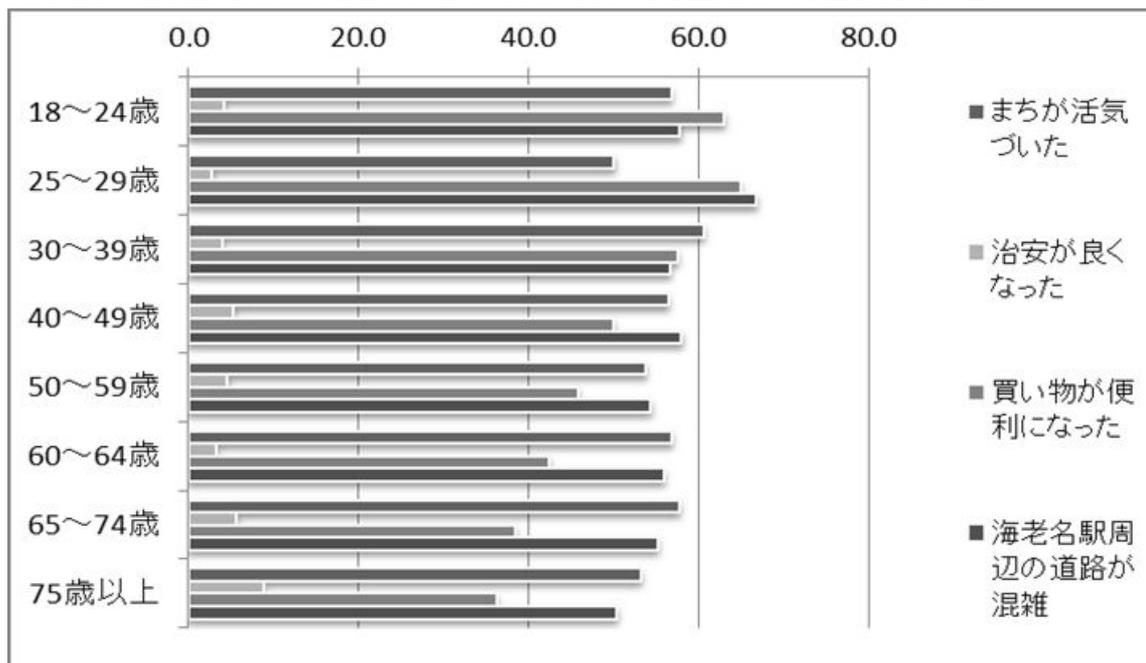
「まちが活気づいた」「海老名駅周辺の道路が混雑している」が5割超



新しいまちに対して感じていることについての質問に対し、「まちが活気づいた」56.2%が最も高く、次に「海老名駅周辺の道路が混雑している」55.6%、「買い物が便利になった。」46.2%が続いている。

性別では、男性の1位が「海老名駅周辺の道路が混雑している」59.5%、2位「まちが活気づいた」56.9%、3位「買い物が便利になった」43.1%で、女性では1位「まちが活気づいた」55.6%、2位「海老名駅周辺の道路が混雑している」52.2%、3位「買い物が便利になった」48.8%となっている。

年代別にみると、「まちが活気づいた」は、30歳代が60.5%と一番高いが、どの年代でも50%を超えている。「買い物が便利になった」は、18～29歳の間で60%を超えており、30歳代で50%台と高い割合になっている。「海老名駅周辺の道路が混雑している」は、一番高い年代が25～29歳で66.7%だが、どの年代においても全て50%を超えている。

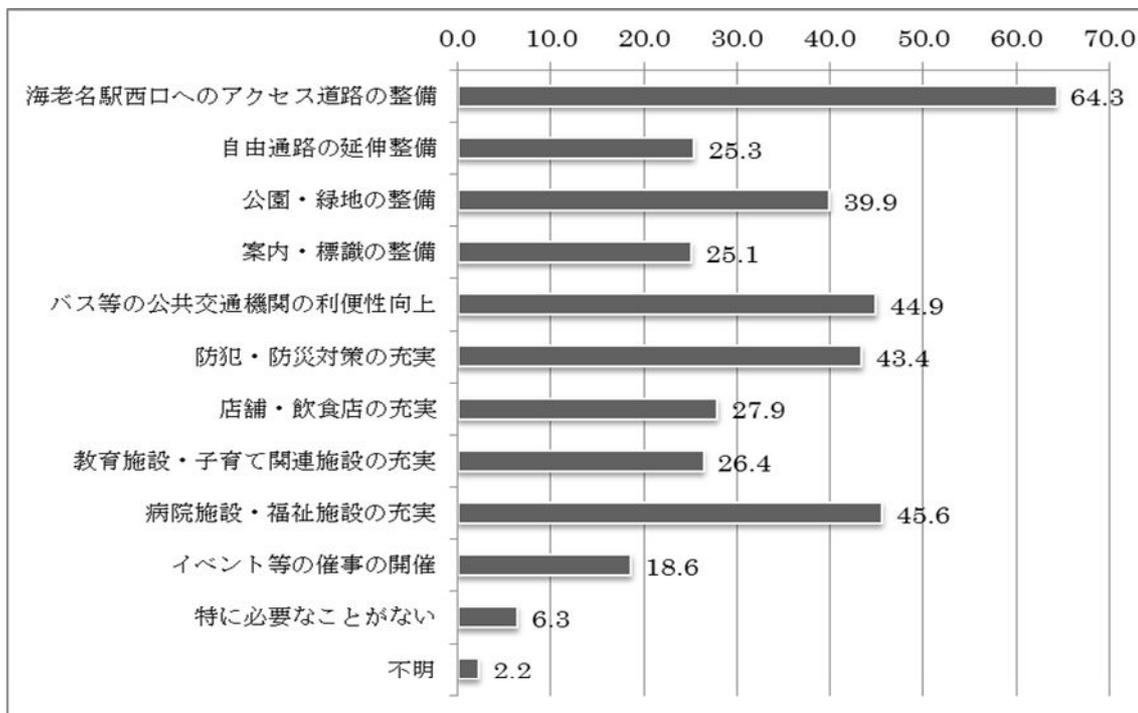


#### 4「まちづくり」

##### (2) 海老名駅周辺のまちづくりについて

##### 「海老名駅西口へのアクセス道路の整備」を望む 64.3%

【問12】 海老名駅周辺の中心市街地をより良くしていくために何が必要だと思いますか  
(複数回答可)



「今後の海老名駅周辺の中心市街地をより良くしていくために何が必要か」という質問に対し、「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」が64.3%と最も高く、次に「病院施設・福祉施設の充実」45.6%、「バス等の公共交通機関の利便性向上」44.9%が続いている。

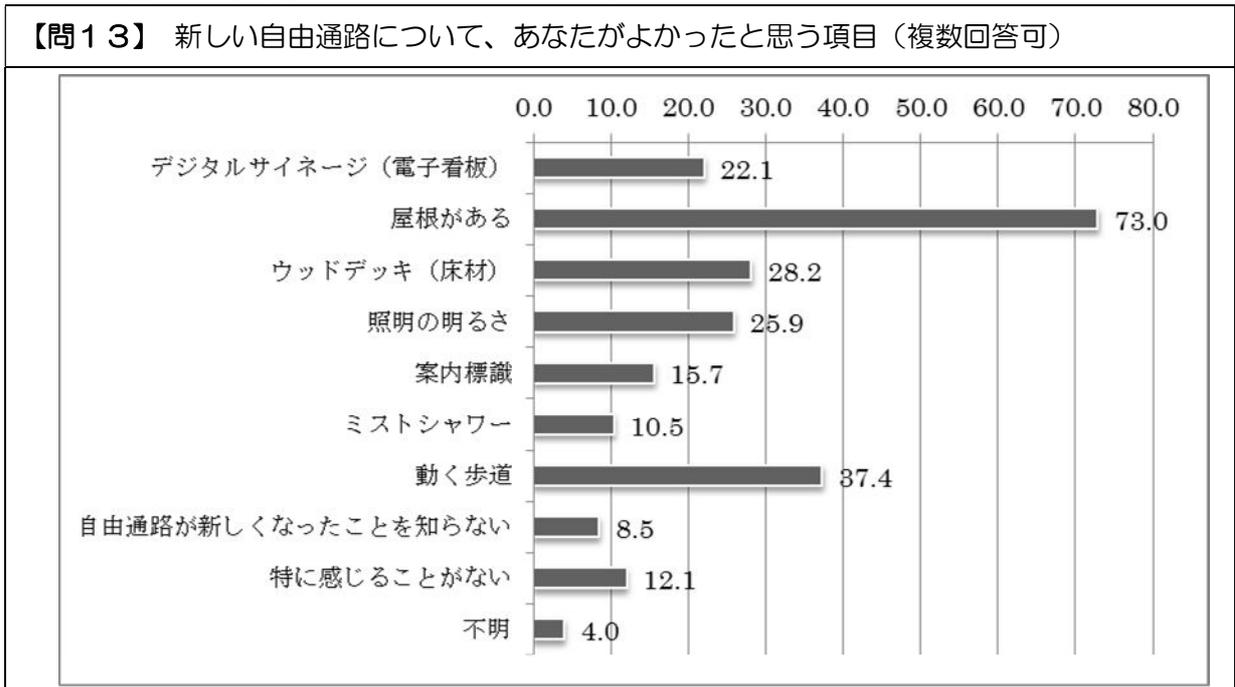
性別では、男性の1位が「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」で68.0%、2位「バス等の公共交通機関の利便性向上」41.8%、3位「病院施設・福祉施設の充実」41.3%、女性の1位が「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」で61.4%、2位「病院施設・福祉施設の充実」49.2%、3位「バス等の公共交通機関の利便性向上」47.7%となっている。

年代別では、「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」は40歳代で70.1%と一番高く、他の項目については、「自由通路の延伸整備」が60～64歳で32.6%、「公園・緑地の整備」が65～74歳で45.8%、「案内・標識の整備」が75歳以上で32.2%、「バス等の公共交通機関の利便性向上」が65～74歳で50.7%、「防犯・防災対策の充実」が50歳代で46.3%、「店舗・飲食店の充実」が18～24歳で42.3%、「教育施設・子育て関連施設の充実」が30歳代で47.4%、「病院施設・福祉施設の充実」が65～74歳で52.0%、「イベント等の催事の開催」が25～29歳で22.2%とそれぞれ最も高くなっている。

#### 4「まちづくり」

##### (3) 自由通路について

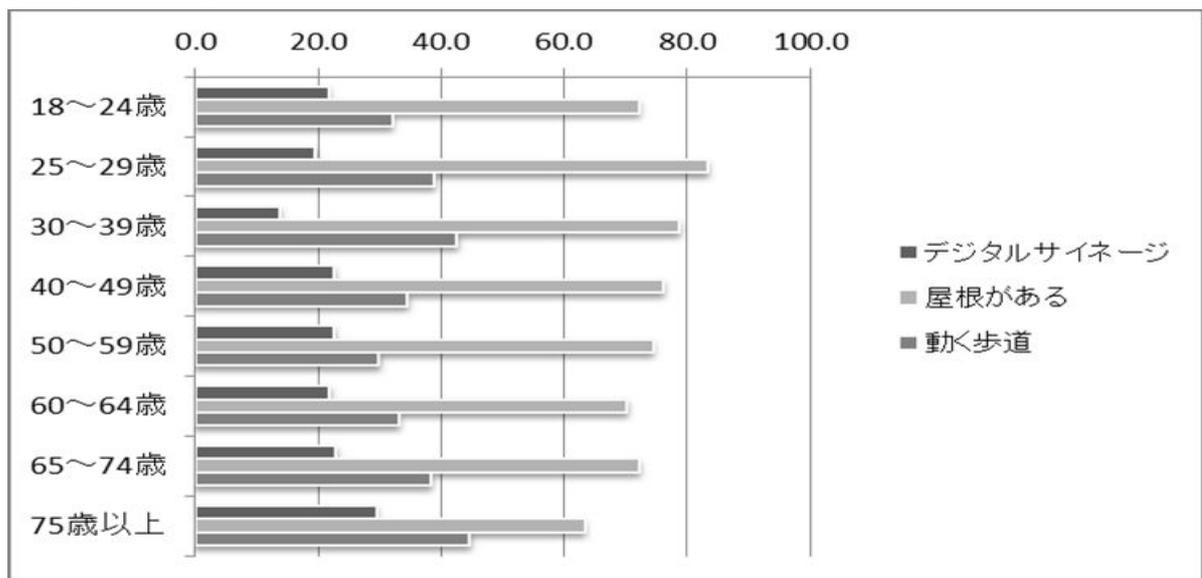
「屋根がある」がよかった！73.0%



「新しい自由通路についてよかった点について」の質問に対し、「屋根がある」の73.0%が圧倒的に高く、次に「動く歩道」37.4%、「ウッドデッキ」28.2%が続いている。

性別では、男性では1位「屋根がある」で70.9%、2位「動く歩道」で37.6%、3位「ウッドデッキ」で28.4%、女性では1位「屋根がある」75.0%、2位「動く歩道」37.1%、3位「ウッドデッキ」28.1%となっている。

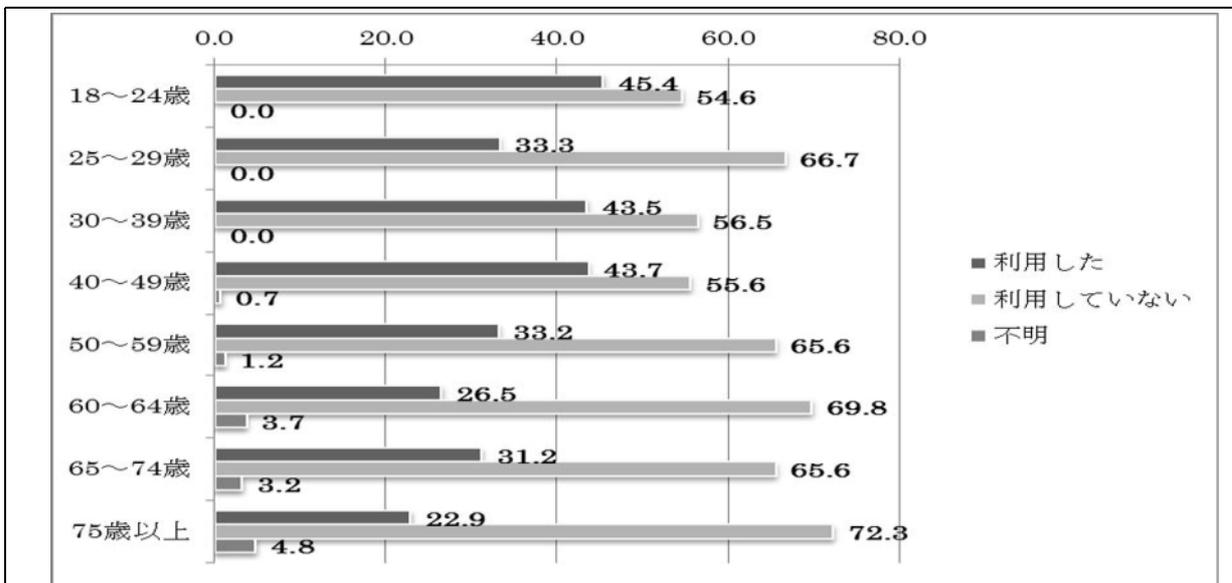
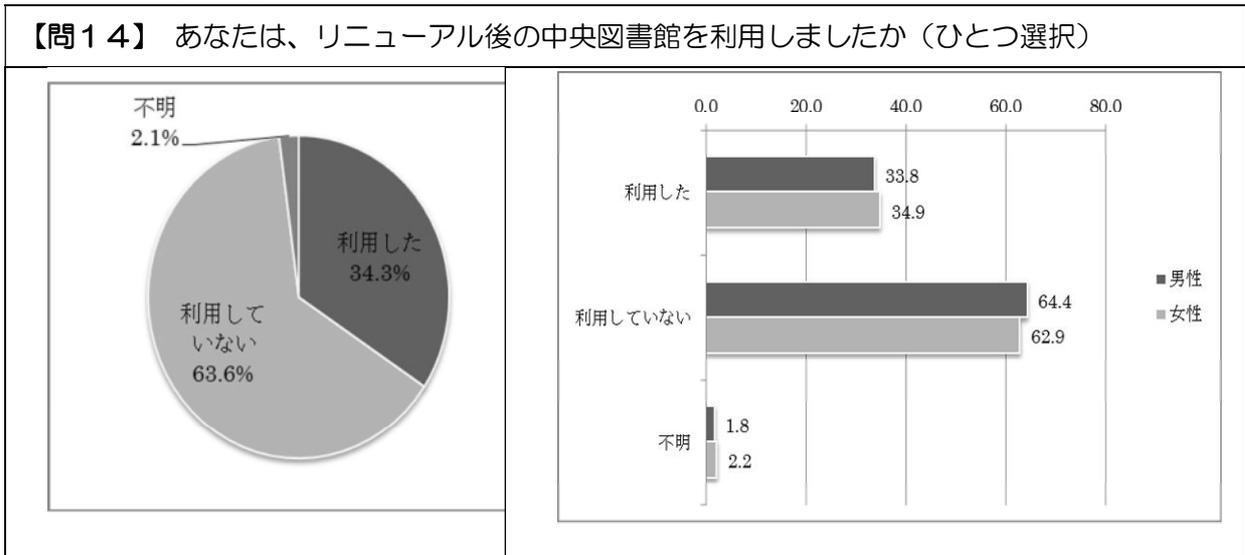
年代別に見ても、全ての年代の1位が「屋根がある」で、75歳以上が一番低く63.3%であったが、他の年代は70%を超えている。2位についても、全ての年代で「動く歩道」で、3位になると、18～24歳と75歳以上が「照明の明るさ」であるが、他の年代は「ウッドデッキ」となっている。



## 5「中央図書館」

### (1) 中央図書館の利用状況

「利用した」は34.3%



昨年10月にリニューアルオープンした中央図書館の利用状況についての質問に対し、「利用した」は34.3%、「利用していない」は63.6%となっている。

年代別では、「利用した」の割合が最も高いのは、18～24歳45.4%で、続いて40歳代43.7%、30歳代43.5%となっている。

「利用した」を性別、年代別にみると、全体で高い割合の18～24歳は、男性44.7%、女性45.8%、40歳代は、男性37.2%、女性49.6%、30歳代は、男性36.6%、女性48.0%の順になっている。

「利用した」を地域別にみると、高い順に国分地域43.1%、上郷・下今泉地域41.6%、海西地域40.7%、上今泉地域39.6%となっており、低いのは、門沢橋地域16.2%、本郷地域14.8%となっている。

## 5「中央図書館」

【問14-1】 中央図書館を利用した感想について（該当する項目を1つ選択）

	良い	ふつう	良くない	わからない	不明
ア. 雰囲気	61.5	24.6	11.9	0.7	1.3
イ. 開館日（年中無休）、開館時間	66.2	24.8	2.6	4.9	1.5
ウ. 職員対応	31.6	47.5	10.2	8.7	2.0
エ. 本の並べ方	18.2	33.6	38.9	6.8	2.5
オ. キッズフロア	28.6	25.1	9.2	33.2	3.9
カ. カフェ	40.2	29.4	19.0	9.8	1.6
キ. 書店	25.9	36.3	23.1	9.1	5.6
ク. タブレット型検索機	28.5	28.9	11.8	26.6	4.2
ケ. 自動貸出し機	37.5	24.9	5.1	29.3	3.2
コ. 学習室	23.3	28.3	10.8	34.2	3.4
サ. 図書館のイベント	9.8	22.7	5.0	58.7	3.8

問14で「利用した」と答えた849名に、利用した際の感想について質問した結果は、次のとおりで、雰囲気と開館日について高い評価を得ている。

「ア. 雰囲気」は、「良い」61.5%と高く、これを年代別にみると30歳代で78.3%、25～29歳で69.4%、40歳代で58.9%となっている。

「イ. 開館日（年中無休）、開館時間」は、「良い」66.2%と最も高く、年代別に見ると、30歳代が76.9%、50歳代が68.8%、40歳代が68.4%となっている。

「ウ. 職員の対応」は、「良い」と答えた年代が、25～29歳が44.4%、75歳以上が35.8%、40歳代が33.2%となった。

「エ. 本の並べ方」は、「良くない」が38.9%で高く、年代別に見ると、25～29歳が44.4%で一番高く、続いて60～64歳43.9%、30歳代42.0%となっている。

「オ. キッズフロア」について「良い」と答えた年代を見ると、30歳代が45.5%で高く、次に25～29歳が41.7%、40歳代が34.7%となっている。

「カ. カフェ」について「良い」と答えた年代をみると、25～29歳が55.6%、40歳代が51.6%、30歳代が50.7%の順になっている。

「キ. 書店」について「良い」と答えた年代を見ると、40歳代が36.3%で高く、続いて18～24歳の34.1%、30歳代の32.9%の順で、65歳以上になると10%台になっている。

「ク. タブレット型検索機」について「良い」と答えた年代をみると、40歳代以下は30%を超えているが、75歳以上になると11.1%と低くなっている。

「ケ. 自動貸出し機」について「良い」と答えた年代をみると、30歳代40歳代で40%を超える高い割合になっている。

「コ. 学習室」については、「わからない」34.2%、「ふつう」28.3%、「良い」23.3%となっていて、「わからない」が高くなっている。

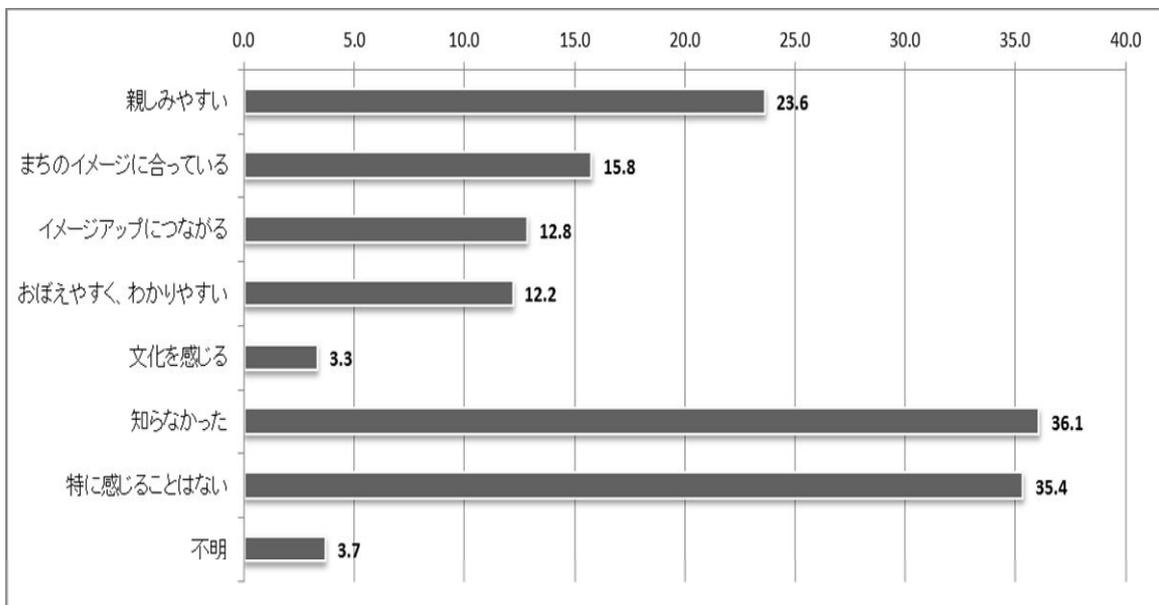
「サ. 図書館のイベント」については、半数以上の58.7%の方が「わからない」と答えている。

## 6 「道路愛称名」

### (1) 道路に命名した感想

「知らなかった」は 36.1%

【問15】 海老名駅西口の主要2路線に愛称名を命名したことについてどう感じますか  
(複数回答可)

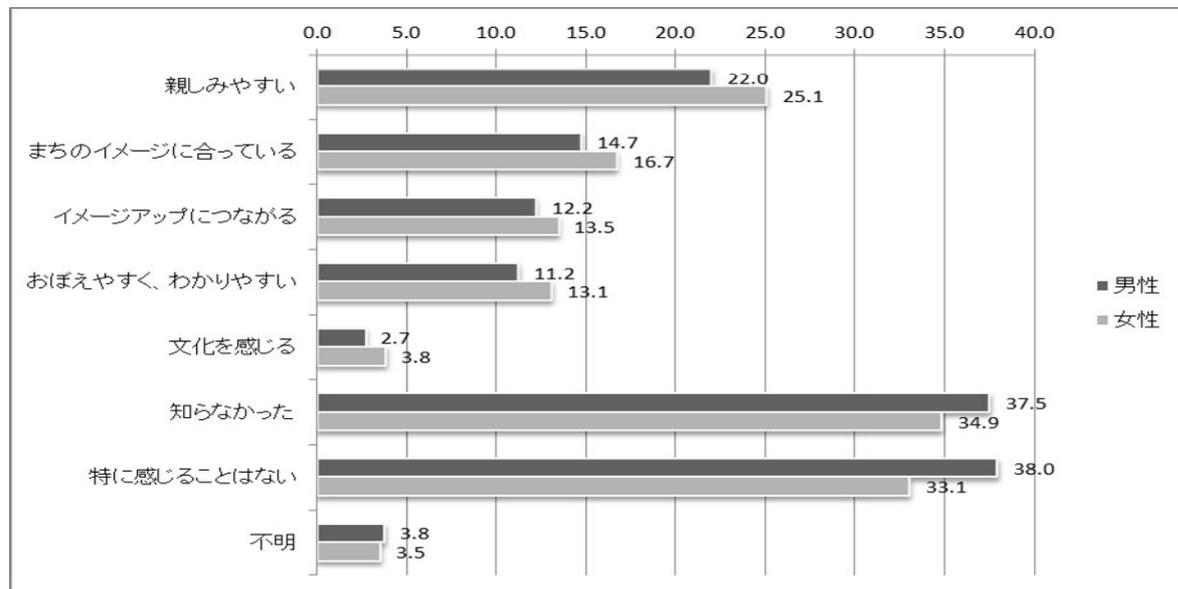


海老名駅西口の扇町の主要2路線に対して愛称名を公募し、命名したことについて、どう感じているかという質問に対し、「知らなかった」が36.1%で最も高く、次に「特に感じることはない」35.4%、「親しみやすい」23.6%の順になっている。

性別毎にみると、「知らなかった」「特に感じることはない」が女性よりも男性の方が高い割合になっている。

年代別にみると、「知らなかった」は18～24歳、25～29歳で50%を超える高い割合になっており、最も低い65～74歳は26.1%であった。

地域別にみると、「知らなかった」は杉久保地域で45.9%、本郷地域で42.6%と高くなっており、最も低い上郷・下今泉地域で20.0%となっている。

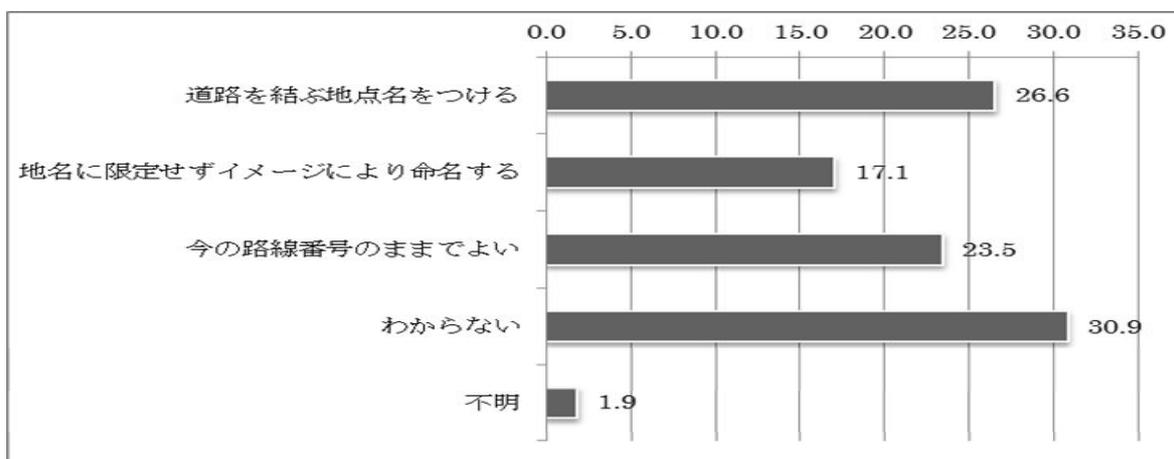


## 6 「道路愛称名」

### (2) 他の幹線道路に命名することについて

「道路を結ぶ地点名をつける」が26.6%

【問15-1】 今後も、市内の幹線道路に愛称名を付けたほうが良いと思いますか（一つ選択）



「今後も、市内の幹線道路に愛称名を付けたほうがよいと思いますか」という質問に対し、「わからない」が最も高く30.9%、続いて「道路を結ぶ地点名をつける」が26.6%、「今の路線番号のままでよい」が23.5%となっている。

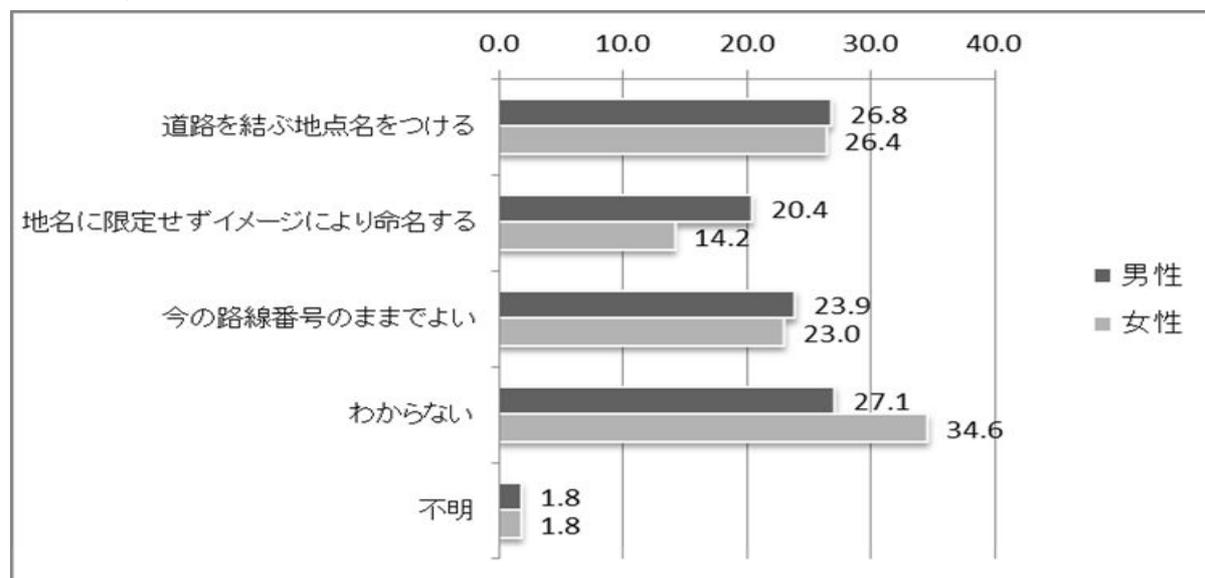
性別毎にみると、「地点に限定せずイメージにより命名する」は男性が高くなっているが、「わからない」は女性の方が高くなっている。他の項目は、男女ともに差はほとんどない。

年代別にみると、「道路を結ぶ地点名をつける」は高い順に、65～74歳で32.1%、60～64歳が30.7%、75歳以上で29.1%となっている。

「地点に限定せずイメージにより命名する」は30歳代で20.4%、40歳代で19.3%、65～74歳で18.3%となっている。

「今の路線番号のままでよい」は、30歳代で32.2%、40歳代で29.2%、65～74歳で18.3%が高い割合になっている。

「わからない」は、25～29歳が38.0%、75歳以上で35.3%、18～24歳は35.0%となっている。

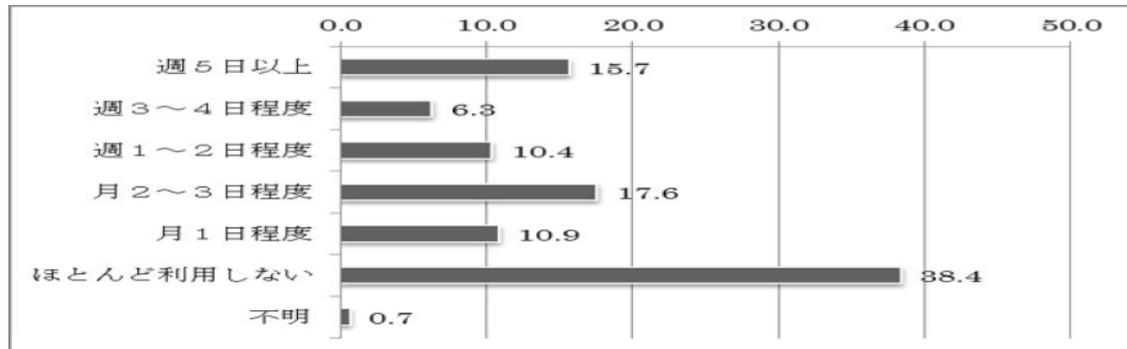


## 7「公共交通」

### (1) バスや鉄道の利用頻度

「ほとんど利用しない」は約4割

【問16】 あなたは、バスや鉄道をどの程度利用していますか（一つ選択）

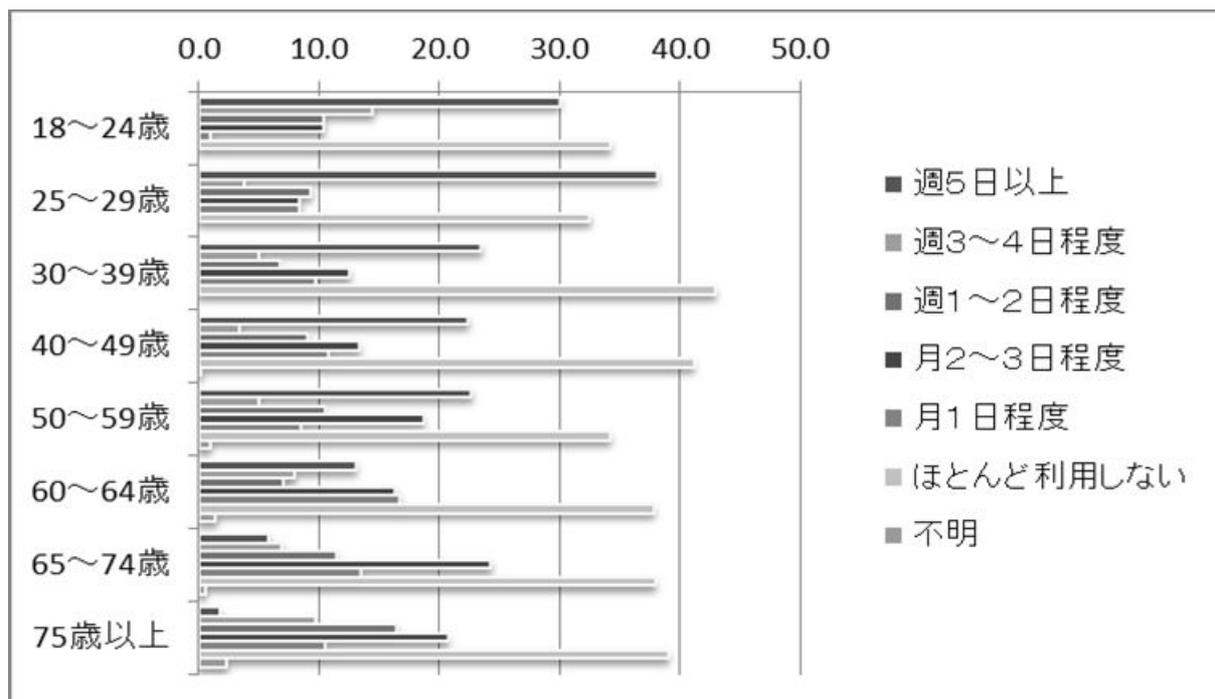


「あなたは、バスや鉄道をどの程度利用していますか」という質問に対し、最も高かったのは「ほとんど利用しない」で38.4%、次に「月2~3日程度」が17.6%、続いて「週5日以上」が15.7%となっている。

性別毎にみると、「週5日以上」は男性21.6%、女性10.7%で、「ほとんど利用しない」も男性39.1%、女性37.7%といずれも男性が高くなっている。しかし、他の選択項目では女性の方が高くなっている。

年代別で「ほとんど利用しない」は、どの年代も30%を超えていて、最も高いのは30歳代の42.8%となっている。「週5日以上」は、25~29歳が38.0%、18~24歳が29.9%、30歳代が23.4%と高い割合となっている。

地域別には、「週5日以上」は柏ヶ谷地域で22.5%と最も高く、他の地域は10%台で、門沢橋地域が8.1%と最も低くなっている。「ほとんど利用しない」は、門沢橋地域55.9%、上郷・下今泉地域52.8%、社家地域50.9%と高くなっており、低いのは、大谷地域28.9%、上今泉地域30.0%、国分地域34.4%となっている。

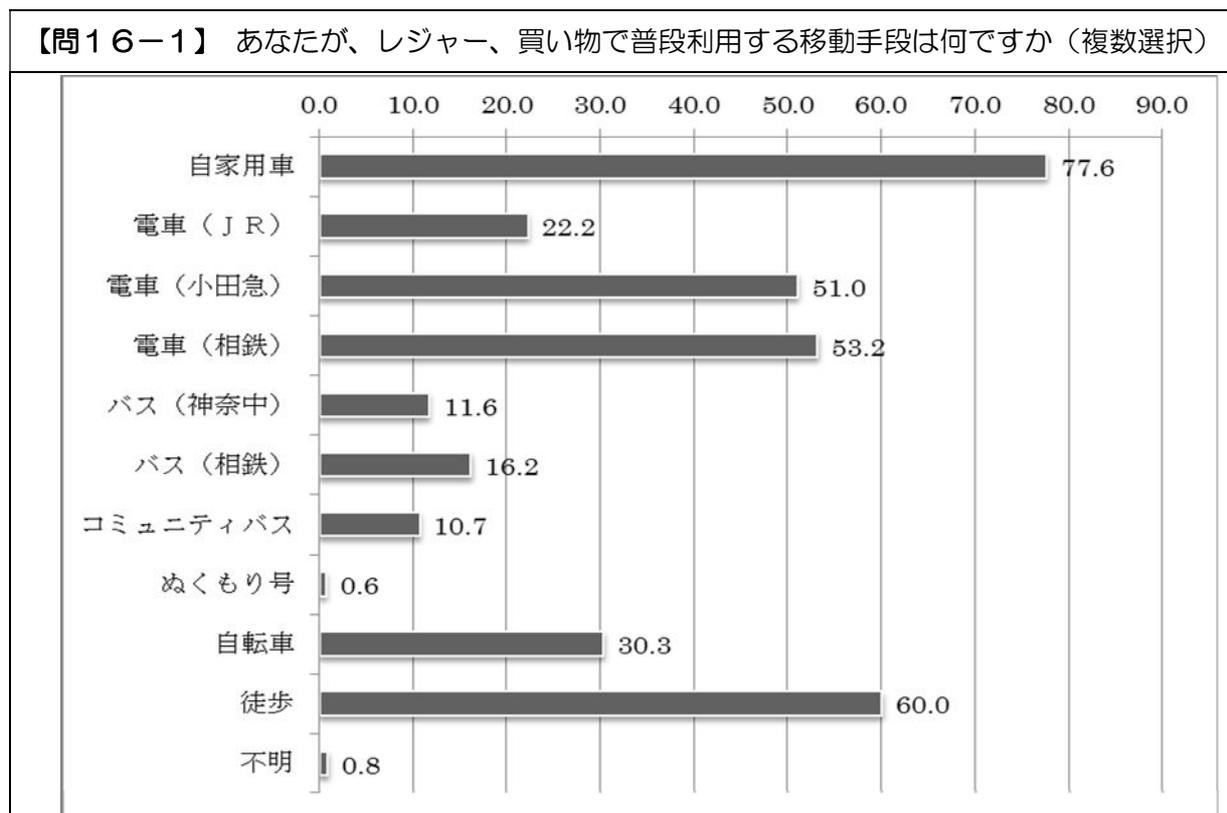


## 7「公共交通」

### (2) 移動手段

「自家用車」が約8割、「徒歩」も6割

【問16-1】 あなたが、レジャー、買い物で普段利用する移動手段は何ですか（複数選択）



「あなたが、レジャー、買い物等で普段利用する移動手段は何ですか」という質問に対し、最も高いのは「自家用車」で77.6%、続いて「徒歩」60.0%、電車（相鉄）53.2%、電車（小田急）51.0%となっている。

性別毎では、自家用車、自転車は男性の割合が高く、他の選択項目では女性の割合が高くなっている。

年代別にみると、自家用車は30歳代が85.7%で最も高く、電車は、JR、小田急、相鉄共に18~24歳が最も高くなっている。反対に電車の利用で低いのは40歳代となっている。バスは、神奈中、相鉄共に75歳以上が最も高く、コミュニティバス、めくもり号も75歳以上が高くなっている。自転車と徒歩は、18~24歳が最も高くなっている。

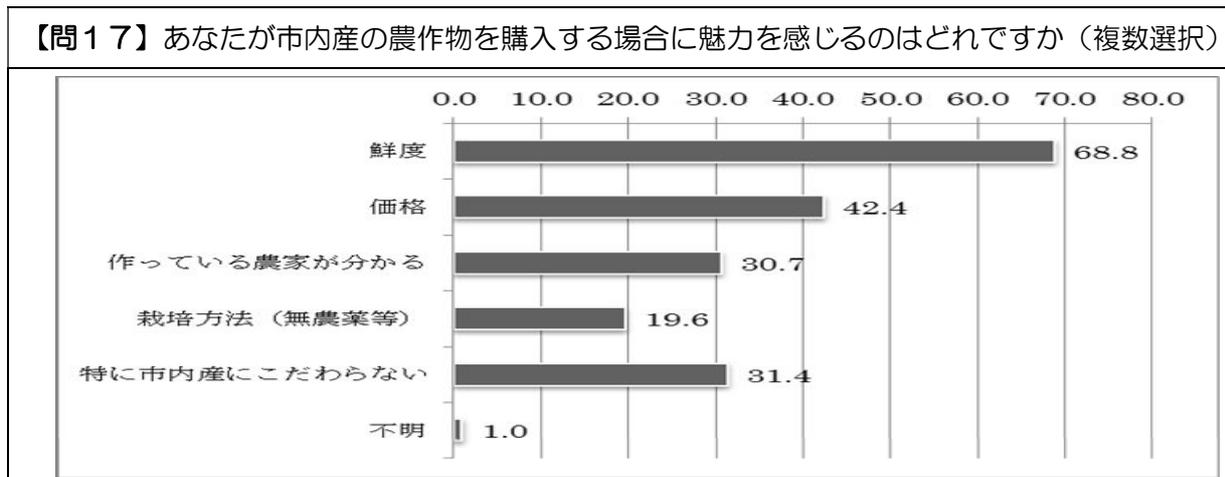
地域別で、それぞれ最も高いのは、自家用車は本郷地域の90.7%、電車（JR）は門沢橋地域の58.1%、電車（小田急）は海西地域の65.2%、電車（相鉄）は柏ヶ谷地域の75.8%、バス（神奈中）は社家地域の28.2%、バス（相鉄）は大谷地域の49.7%、コミュニティバスは上今泉地域の33.3%、めくもり号は門沢橋地域の5.9%、自転車は海西地域の52.8%、徒歩は国分地域の77.8%となっている。

## 8 「農業施策」

### (1) 農作物を購入する際の魅力

「鮮度」が約7割、「価格」が4割超

【問17】あなたが市内産の農作物を購入する場合に魅力を感じるのはどれですか（複数選択）

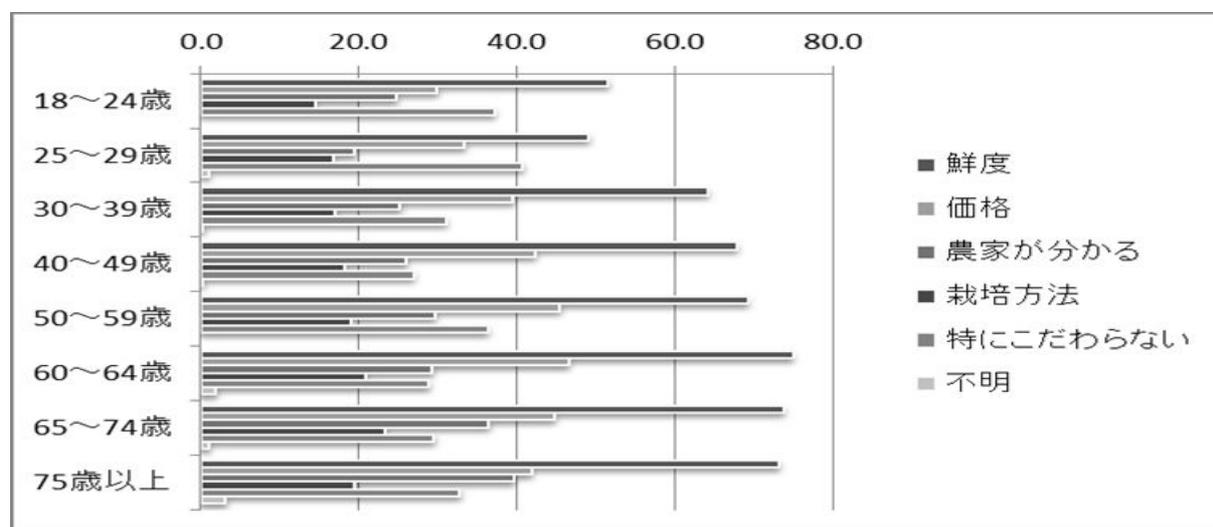


「あなたが市内産の農作物を購入する場合に魅力を感じるのはどれですか」という質問に対し、最も高いのは「鮮度」で68.8%、続いて「価格」42.4%「特に市内産にこだわらない」31.4%となっている。

性別毎にみると、「特に市内産にこだわらない」は女性 27.5%に対し、男性 35.7%と男性が高いが、他の選択項目では全て女性が高くなっている。

年代別では、「鮮度」は60歳以上の年代が70%を超えており、「価格」は40歳以上の年代が40%を超えている。「作っている農家が分かる」は75歳以上で39.5%と最も高いが、反対に最も低いのは25～29歳で19.4%となっている。「栽培方法（無農薬等）」は、60～74歳代で20%を超えているが、他の年代は10%台となっている。「特に市内産にこだわらない」は、25～29歳で40.7%と高くなっているが、他の年代は20%台後半から30%台となっている。

地域別にみると、「鮮度」は本郷地域81.5%が最も高く、最も低いのは柏ヶ谷地域の60.7%で、「価格」は大谷地域が48.8%で最も高く、最も低いのは門沢橋地域の36.8%となっている。「作っている農家が分かる」は社家地域の37.9%が最も高く、最も低いのは柏ヶ谷地域の20.6%、「栽培方法」は上郷・下今泉地域が24.0%で最も高く、最も低いのは本郷地域の11.1%となっている。「特に市内産にこだわらない」は、最も高いのは柏ヶ谷地域の39.8%で、最も低いのは杉久保地域の21.9%となっている。

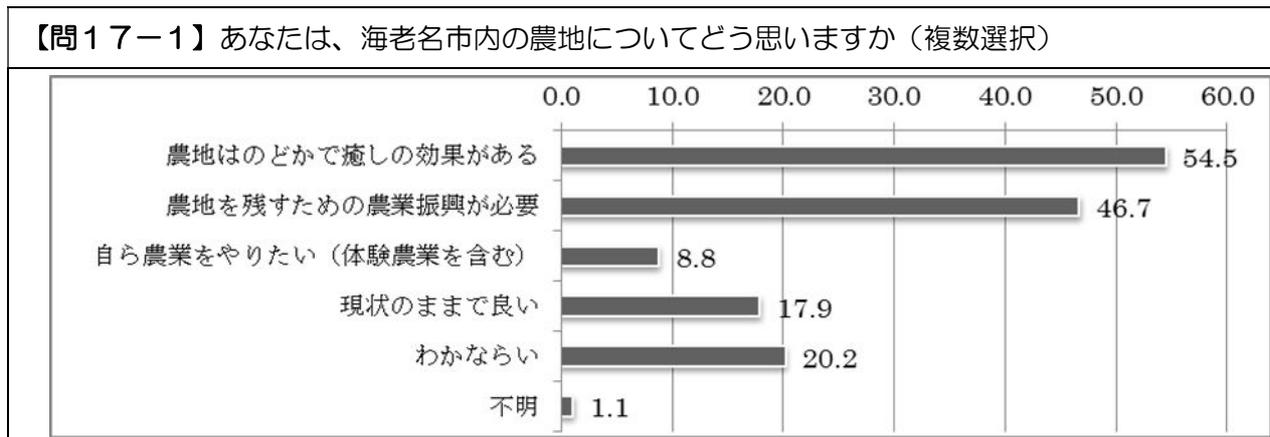


## 8 「農業施策」

### (2) 市内の農地について

「農地はのどかで癒しの効果がある」が5割超

【問17-1】あなたは、海老名市内の農地についてどう思いますか（複数選択）

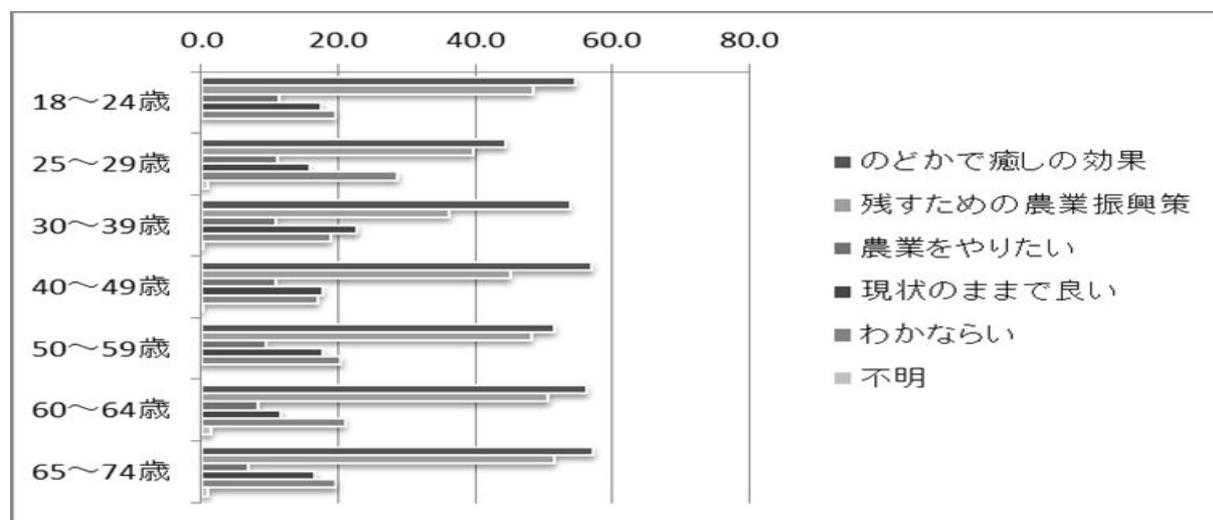


「あなたは、海老名市内の農地についてどう思いますか」という質問に対し、最も高いのは「農地はのどかで癒しの効果がある」で54.5%、続いて「農地を残すための農業振興が必要」は46.7%、「わからない」20.2%となっている。

性別毎では、「農地はのどかで癒しの効果がある」は男性 52.7%に対し、女性 56.2%と女性の割合の方が高くなっている。「農地を残すための農業振興が必要」は、男性 48.2%、女性 45.6%とこちらは男性の割合が高くなっている。

年代別にみると、「農地はのどかで癒しの効果がある」は65～74歳で57.3%と最も高く、反対に最も低いのは25～29歳の44.4%となっている。「農地を残すための農業振興が必要」については、65～74歳が51.5%と最も高く、最も低いのは30歳代の36.2%となっている。「自ら農業をやりたい」は18～49歳までの間で10%台、他は一桁台となっている。「現状のままで良い」は、30歳代で22.8%が最も高く、60～64歳の11.6%が最も低くなっている。

地域別にみると、「農地はのどかで癒しの効果がある」は大谷地域で60.9%が最も高く、反対に柏ヶ谷地域の44.6%が最も低くなっている。「農地を残すための農業振興が必要」は、大谷地域が54.5%で最も高く、柏ヶ谷地域の41.0%が最も低くなっている。「現状のままで良い」は、本郷地域で24.1%が最も高くなっている。

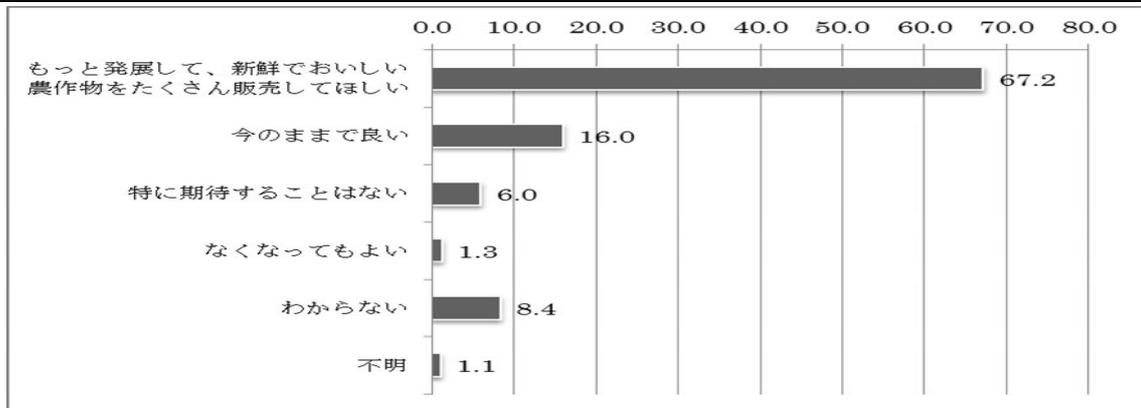


## 8「農業施策」

### (3) これからの農業について

「新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい」が約7割

【問17-2】あなたは、海老名市のこれからの農業についてどう思いますか（一つ選択）

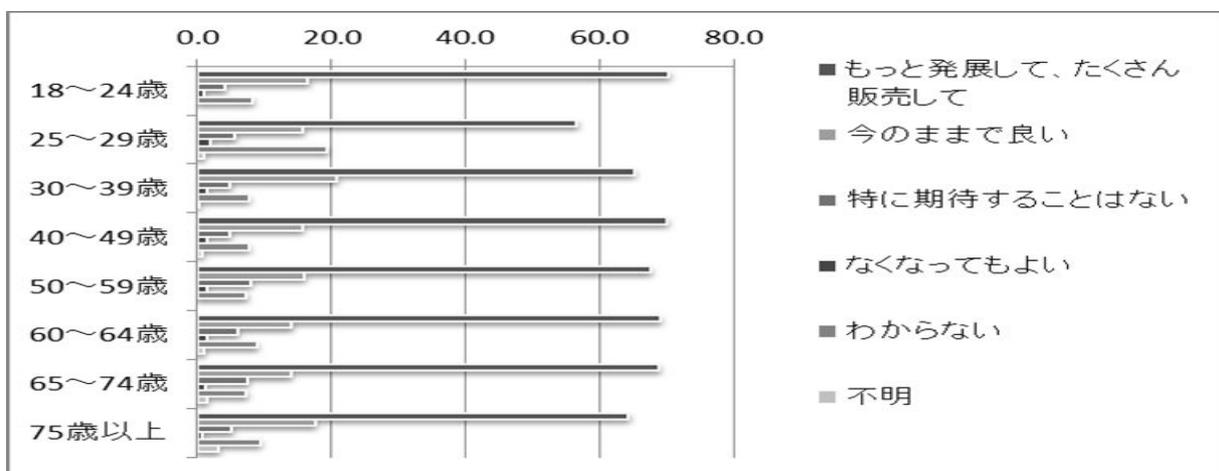


「あなたは、海老名市のこれからの農業についてどう思いますか」という質問に対し、最も高いのは「もっと発展して、新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい」が67.2%、「今のままで良い」が16.0%、「わからない」が8.4%と続いている。

性別毎にみると、「もっと発展して、新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい」は男性65.6%、女性68.6%と女性の割合の方が高くなっている。「今のままで良い」は、男性16.1%、女性16.0%とほぼ同じとなっている。「特に期待することはない」は、男性7.3%、女性4.9%。「なくなってもよい」は、男性1.5%、女性1.1%となっている。

年代別では、「もっと発展して、新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい」は、18～24歳で70.2%と最も高く、最も低いのは25～29歳の56.5%となっている。「今のままで良い」は、30歳代が20.7%と最も高く、最も低いのは65～74歳の13.9%となっている。「特に期待することはない」は50歳代が7.9%で最も高く、40歳代の4.8%が最も低くなっている。「なくなってもよい」は、25～29歳が1.9%で最も高く、75歳以上が0.8%で最も低くなっている。

地域別にみると、「もっと発展して、新鮮でおいしい農作物をたくさん販売してほしい」は杉久保地域が71.1%で最も高く、上郷・下今泉地域60.0%が最も低くなっている。「今のままで良い」は杉久保地域が18.6%で最も高く、柏ヶ谷地域の12.0%が最も低くなっている。

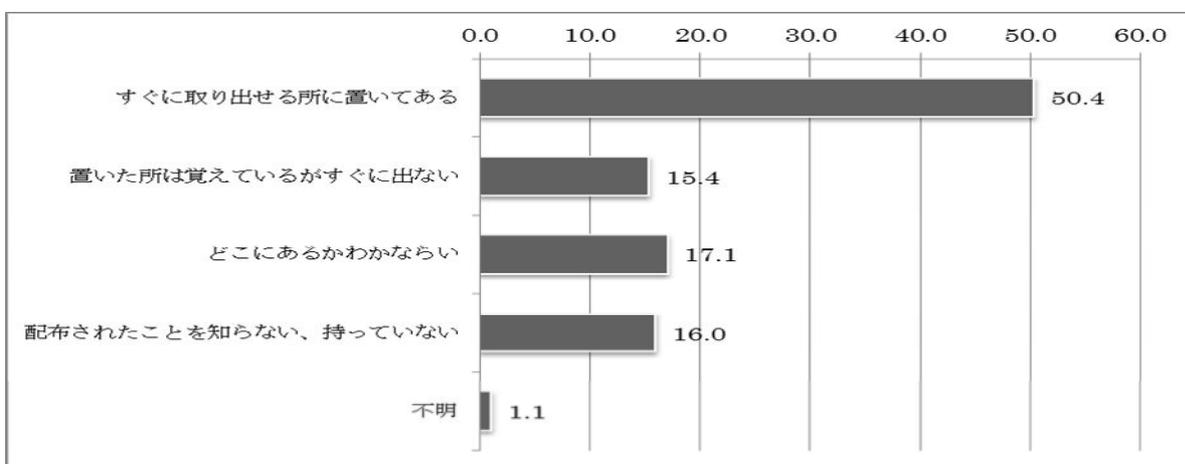


## 9 「防災」

### (1) 防災ガイドブック等の置き場所

「すぐに取り出せる所に置いてある」が5割超

【問 18】 あなたは、「防災ガイドブック」「安否確認フラッグ」をすぐに取り出せますか。  
(1つ選択)

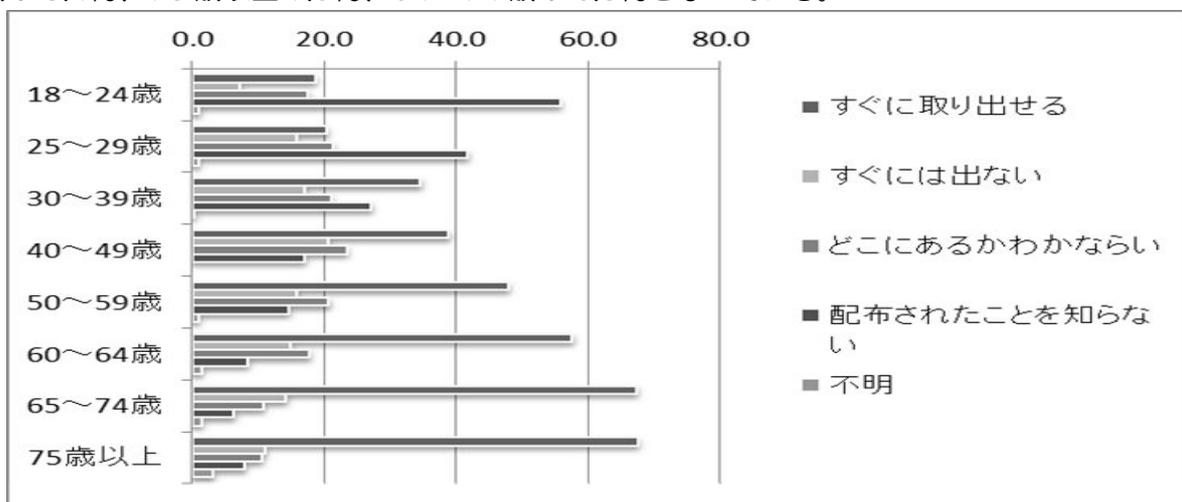


「平成 26 年 10 月に全戸配布された「防災ガイドブック」「安否確認フラッグ」をすぐに取り出せる所に置いてありますか」という質問に対し、「すぐに取り出せる所に置いてある」が 50.4%と最も高く、続いて「どこにあるかわからない」が 17.1%、「配布されたことを知らない、持っていない」が 16.0%となっている。

性別毎で見ると、「すぐに取り出せる所に置いてある」は男性 47.0%、女性 53.4%で、「置いた所は覚えているがすぐに出ない」は男性 14.3%、女性 16.2%、「どこにあるかわからない」は男性 18.4%、女性 16.0%、「配布されたことを知らない、持っていない」は男性 19.2%、女性 13.3%となっている。

年代別では、「すぐに取り出せる所に置いてある」は 75 歳以上が 67.5%、65～74 歳が 67.3%、60～64 歳は 57.6%と年齢が低くなるにつれてその割合も低くなっていき、25～29 歳は 20.4%、18～24 歳は 18.6%となっている。

対照的に、「配布されたことを知らない、持っていない」では、18～24 歳が 55.7%、25～29 歳が 41.7%、30 歳代が 27.1%と、年齢が高くなるにつれてその割合は低くなり、60～64 歳が 8.4%、75 歳以上 7.9%、64～74 歳が 6.3%となっている。

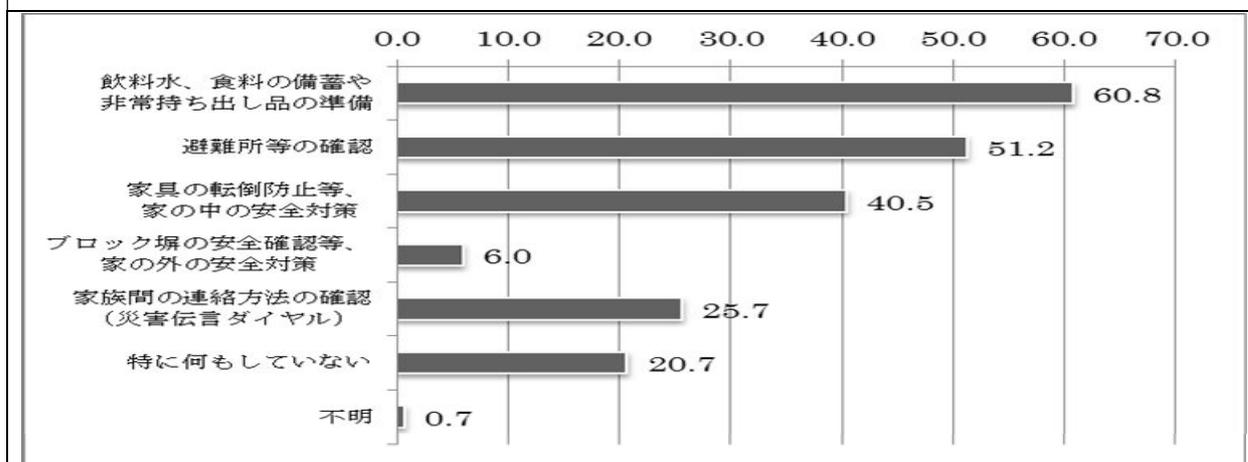


## 9 「防災」

### (2) 日頃の災害の備え

「非常持ち出し品の準備」は6割超、「避難所等の確認」も5割超

【問18-1】 あなたは災害に備えて日頃どのようなことを行っていますか（複数選択）



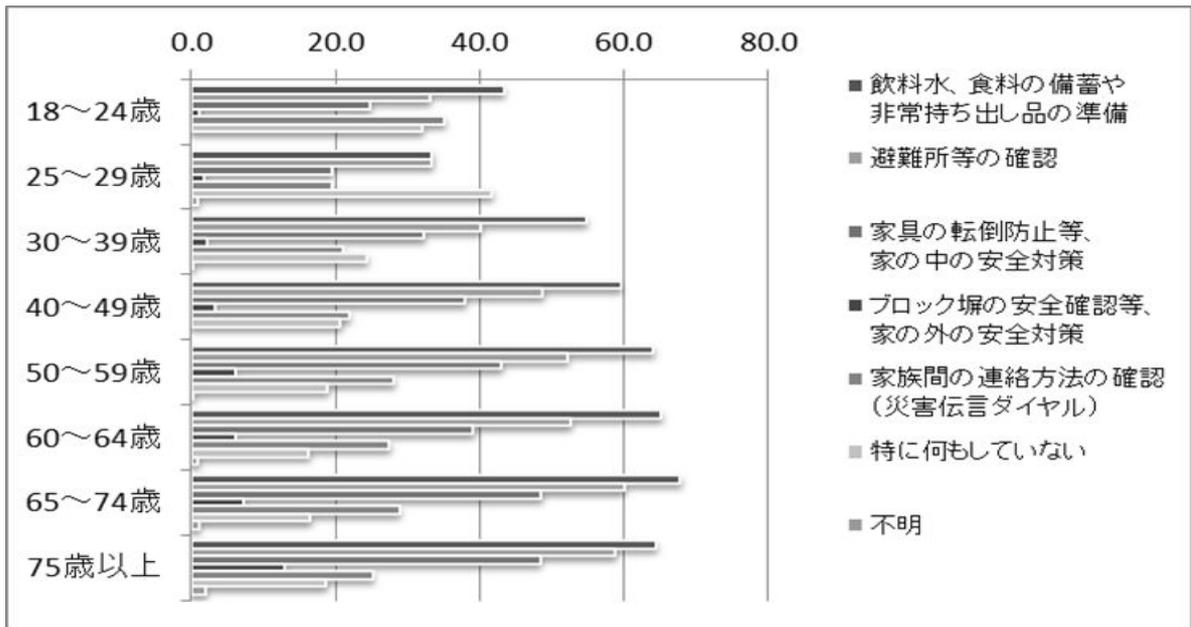
「あなたは災害に備えて日頃どのようなことを行っていますか」という質問に対し、「飲料水、食料の備蓄や非常用持ち出し品の準備」が60.8%と最も高く、続いて、「避難所の確認」51.2%、「家具の転倒防止等、家の中の安全対策」40.5%となっている。

性別毎にみると、「飲料水、食料の備蓄や非常用持ち出し品の準備」と「避難所等の確認」は男性よりも女性の割合が高いが、「家具の転倒防止等、家の中の安全対策」や「特に何もしていない」は男性の割合が高くなっている。

年代別にみると、どの選択項目も年齢が高くなるにつれてその割合も高くなるが、「家族間の連絡方法の確認」は18～24歳が35.1%と最も高くなっており、「特に何もしていない」は、25～29歳が41.7%、18～24歳が32.0%となっている。

地域別にみると、「飲料水、食料の備蓄や非常用持ち出し品の準備」は、高い順に、上今泉地域が69.2%、大谷地域64.2%、国分地域61.8%で、「避難所等の確認」も高い順に、上今泉地域54.9%、柏ヶ谷地域54.7%、海西地域54.6%となっている。

居住年数別にみると、「特に何もしない」が1年未満で46.3%と、高くなっている。

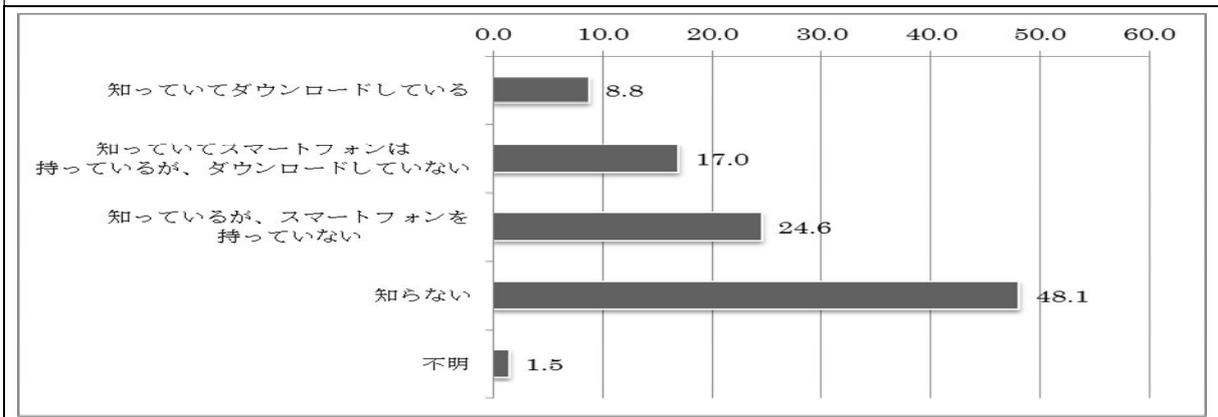


## 9 「防災」

### (3) 防災アプリについて

「知らない」は約5割

【問18-2】 スマートフォン用の防災アプリ「海老名市防災マップ」を知っていて、ダウンロードされていますか（一つ選択）

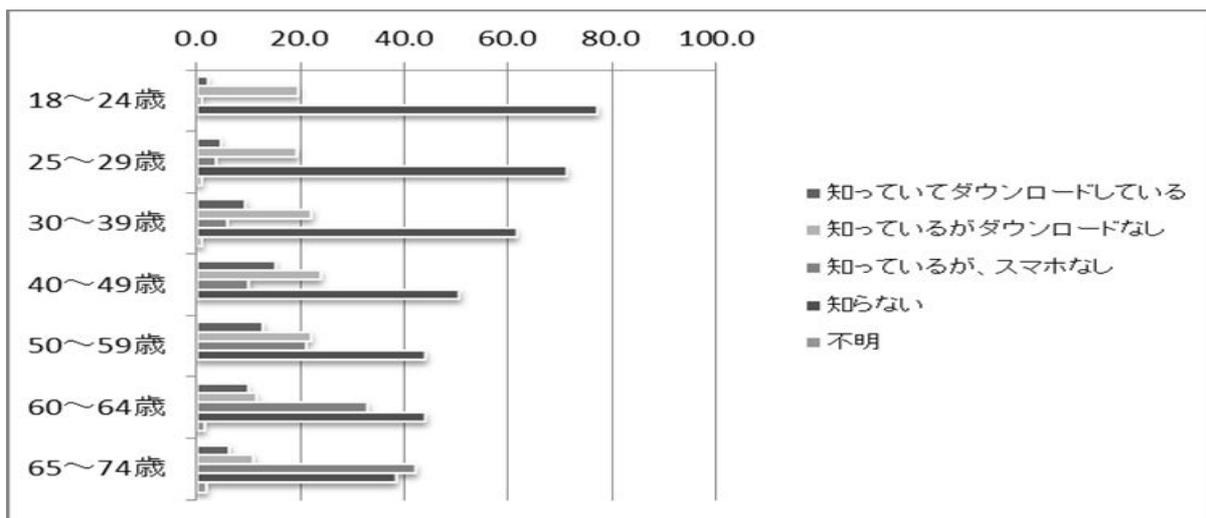


「あなたは、災害時の心得や海老名市の防災に関する施設などの情報を掲載しているスマートフォン用の防災アプリ「海老名市防災マップ」を知っていて、ダウンロードされていますか」という質問に対し、「知っていて、ダウンロードしている」8.8%、「知っていて、スマートフォンを持っているが、ダウンロードしていない」17.0%、「知っているが、スマートフォンを持っていない」24.6%、「知らない」48.1%となっている。

「知らない」が5割近い割合になっており、性別毎にみると、男性 50.2%、女性 46.2%で、年代別では、18～24歳が77.3%、25～29歳が71.4%、30歳代が61.7%、40歳代が50.8%となっている。

地域別では、18-1の質問であった災害に備えた準備で、その割合が比較的高い上今泉、大谷、海西のそれぞれの地域でも5割近い方が「知らない」となっている。

また、「知っていて、ダウンロードしている」は、年代別にみると、40歳代が15.2%で最も高く、続いて50歳代の12.8%となっている。

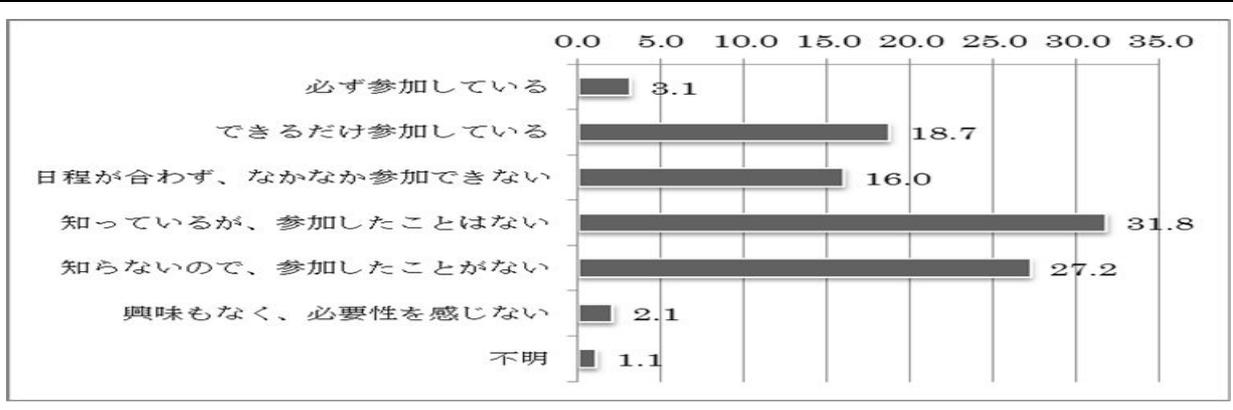


## 9 「防災」

### (4) 避難所運営訓練等について

「必ず参加」「できるだけ参加」を合わせて2割超

【問18-3】 あなたは、市で主催している「避難所運営訓練」や自治会が主催の「自主防災訓練」に参加したことがあります（一つ選択）

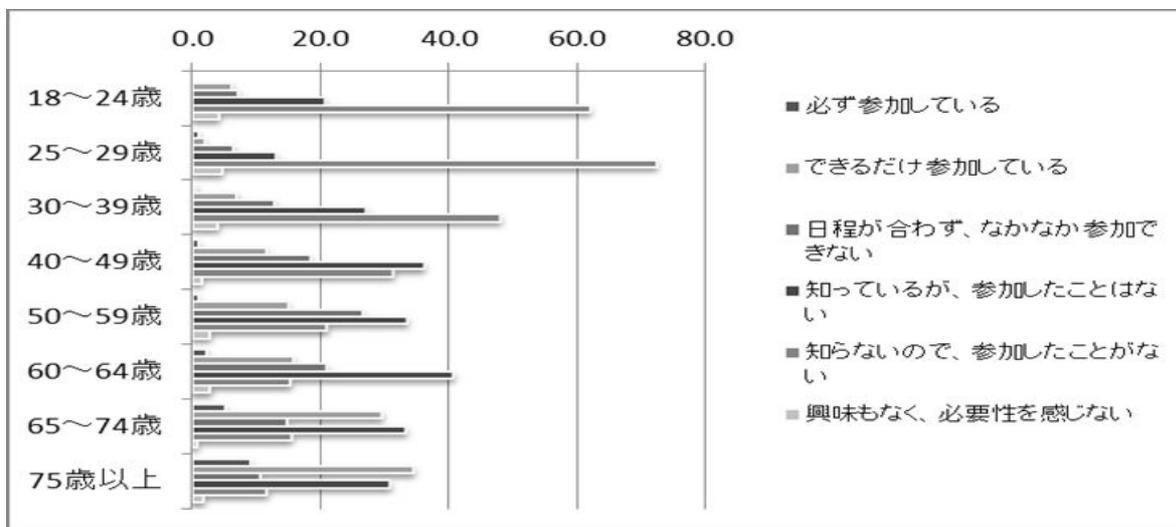


「あなたは、市が主催している「避難所運営訓練」や自治会が主催の「自主防災訓練」に参加したことがありますか」という質問に対し、「必ず参加している」は 3.1%、「できるだけ参加している」は 18.7%、「日程が合わず、なかなか参加できない」は 16.0%、「知っているが、参加したことがない」は 31.8%、「知らないで、参加したことがない」は 27.2%、「興味もなく、必要性を感じない」は 2.1%となっている。

性別毎にみると、「知っているが、参加したことがない」は男性 25.1%、女性 37.5%、「できるだけ参加している」は男性 20.9%、女性 16.7%、「知らないで、参加したことがない」は男性 30.0%、女性 24.8%となっている。

年代別にみると、「必ず参加している」は 75 歳以上が一番高く 9.0%、「できるだけ参加している」は 75 歳以上が 34.4%、「日程が合わず、なかなか参加できない」は、50 歳代が 26.5%、「知っているが、参加したことがない」は 60～64 歳が 40.6%、「知らないで、参加したことがない」は 25～29 歳が 72.2%と、それぞれ一番高くなっている。

地域別では、高い順に、「必ず参加している」は上今泉地域 4.8%、国分、本郷地域 3.7%、柏ヶ谷地域 3.6%で、「できるだけ参加している」は大谷地域 27.6%、上今泉地域 21.2%、門沢橋地域 19.1%となっている。

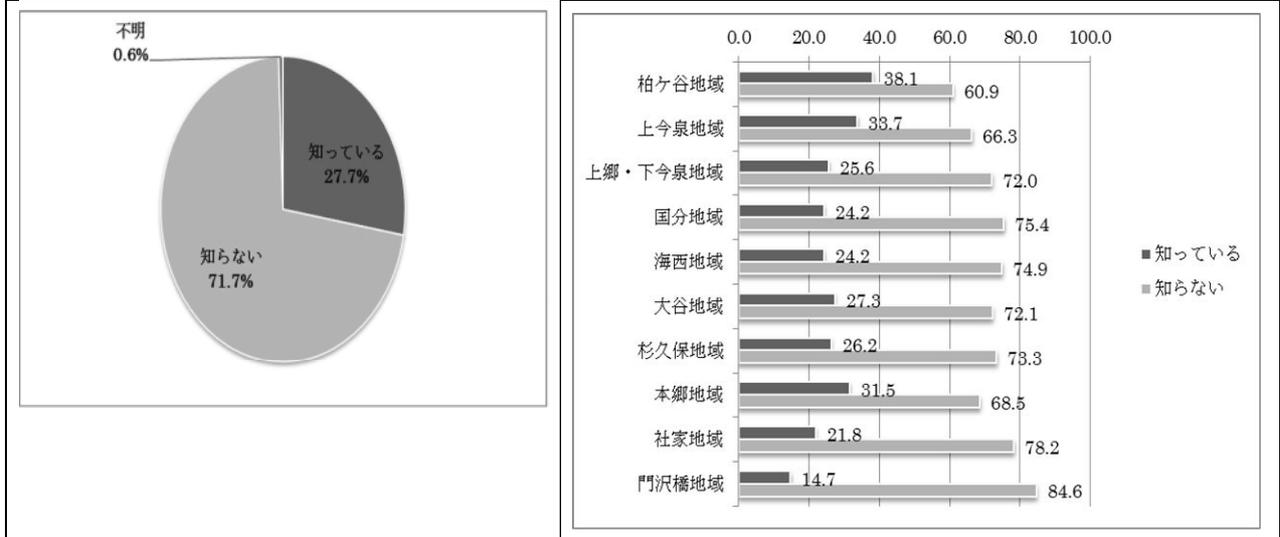


## 10「消防」

### (1) 消防指令センターについて

「知らない」は7割超え

【問19】 あなたは、平成27年4月1日から海老名市・座間市・綾瀬市で消防指令センターを建設し、119番を受信する業務を共同で行っていることを知っていますか（一つ選択）

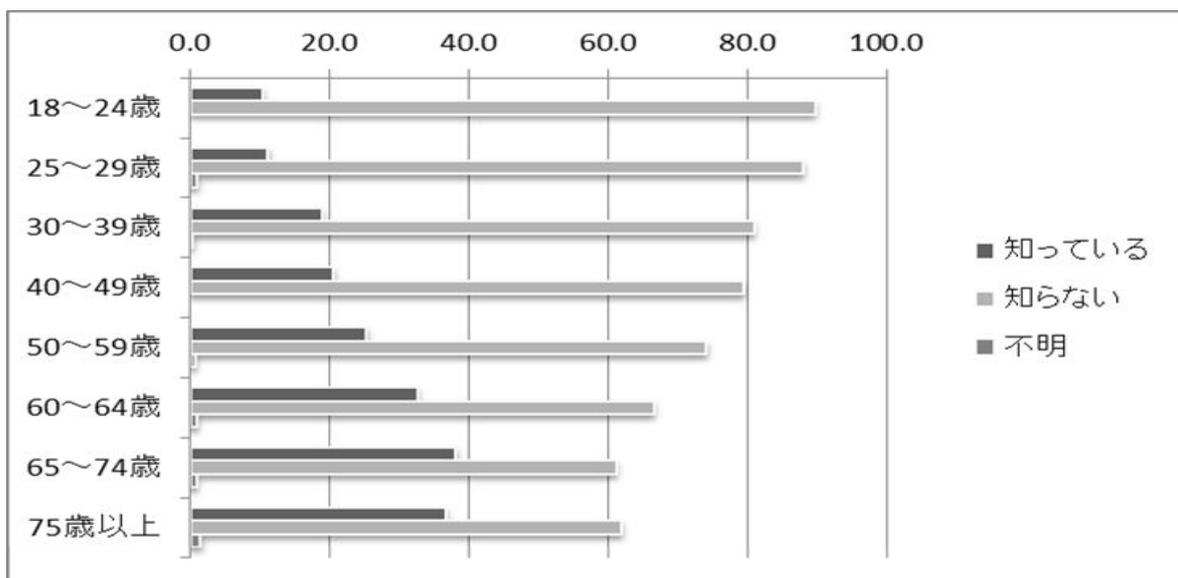


「あなたは、平成27年4月1日から海老名市・座間市・綾瀬市で消防指令センターを建設し、119番を受信する業務を共同で行っていることを知っていますか」という質問に対し、「知っている」は27.7%、「知らない」は71.7%となっている。

性別毎にみると、「知っている」が男性30.8%、女性25.1%、「知らない」は男性68.4%、女性74.4%となっている。

年代別にみると、「知っている」は65～74歳が38.1%で最も高く、続いて75歳以上36.7%、60～64歳が32.6%となっていて、「知らない」は18～24歳が89.7%、25～29歳が88.0%、30歳代が80.9%となっている。

地域別にみると、「知っている」は柏ヶ谷地域38.1%、上今泉地域33.7%、本郷地域31.5%、「知らない」は門沢橋地域84.6%、社家地域78.2%、国分地域75.4%となっている。

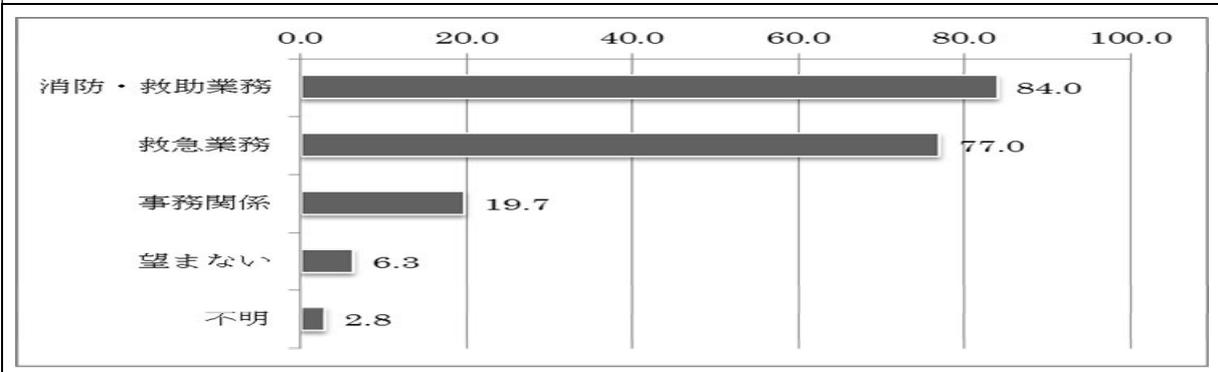


# 10「消防」

## (2) 三市で連携する業務について

「消防・救助業務」は8割、「救急業務」は7割

【問19-1】 今後、119番を受信する業務だけでなく、他の消防業務も三市で連携することを望みますか（複数選択）

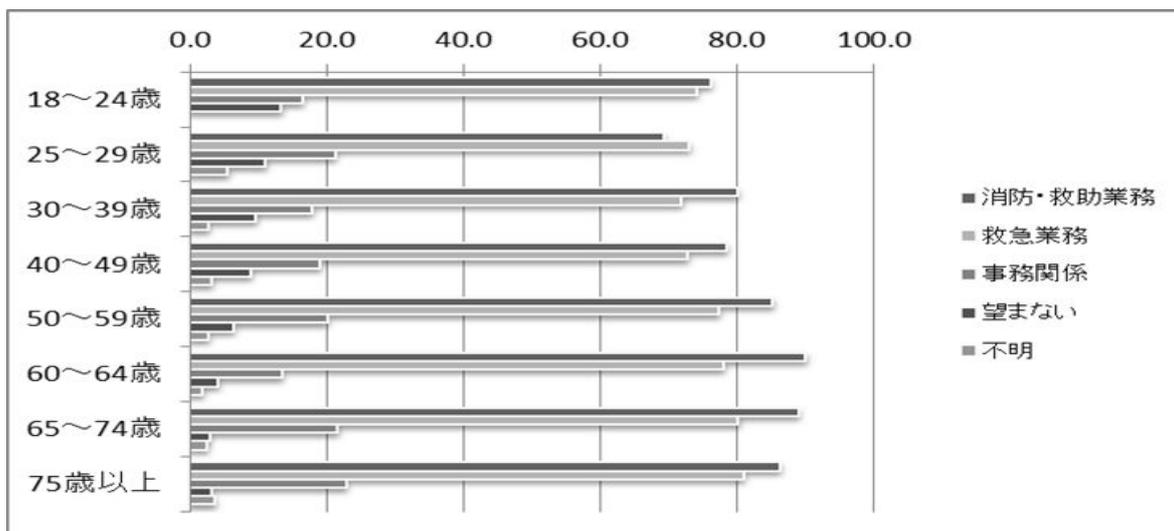


「今後、119番を受信する業務だけでなく、他の消防業務も三市で連携することを望みますか」という質問に対し、「消防・救助業務」は84.0%、「救急業務」は77.0%、「事務関係」は19.7%、「望まない」は6.3%となっている。

性別毎にみると、「消防・救助業務」は男性84.6%、女性83.4%、「救急業務」は男性75.4%、女性78.3%、「事務関係」は男性21.8%、女性17.8%、「望まない」は男性6.8%、女性5.8%となっている。

年代別にみると、「消防・救助業務」は60～64歳が90.2%、65～74歳が89.2%、75歳以上が86.4%、「救急業務」は75歳以上が81.1%、65～74歳が80.3%、60～64歳が78.1%、「事務関係」は75歳以上が22.9%、「65～74歳」が21.7%、25～29歳が21.3%、「望まない」は18～24歳が13.4%、25～29歳が11.1%、30歳代が9.7%とそれぞれ高い割合になっている。

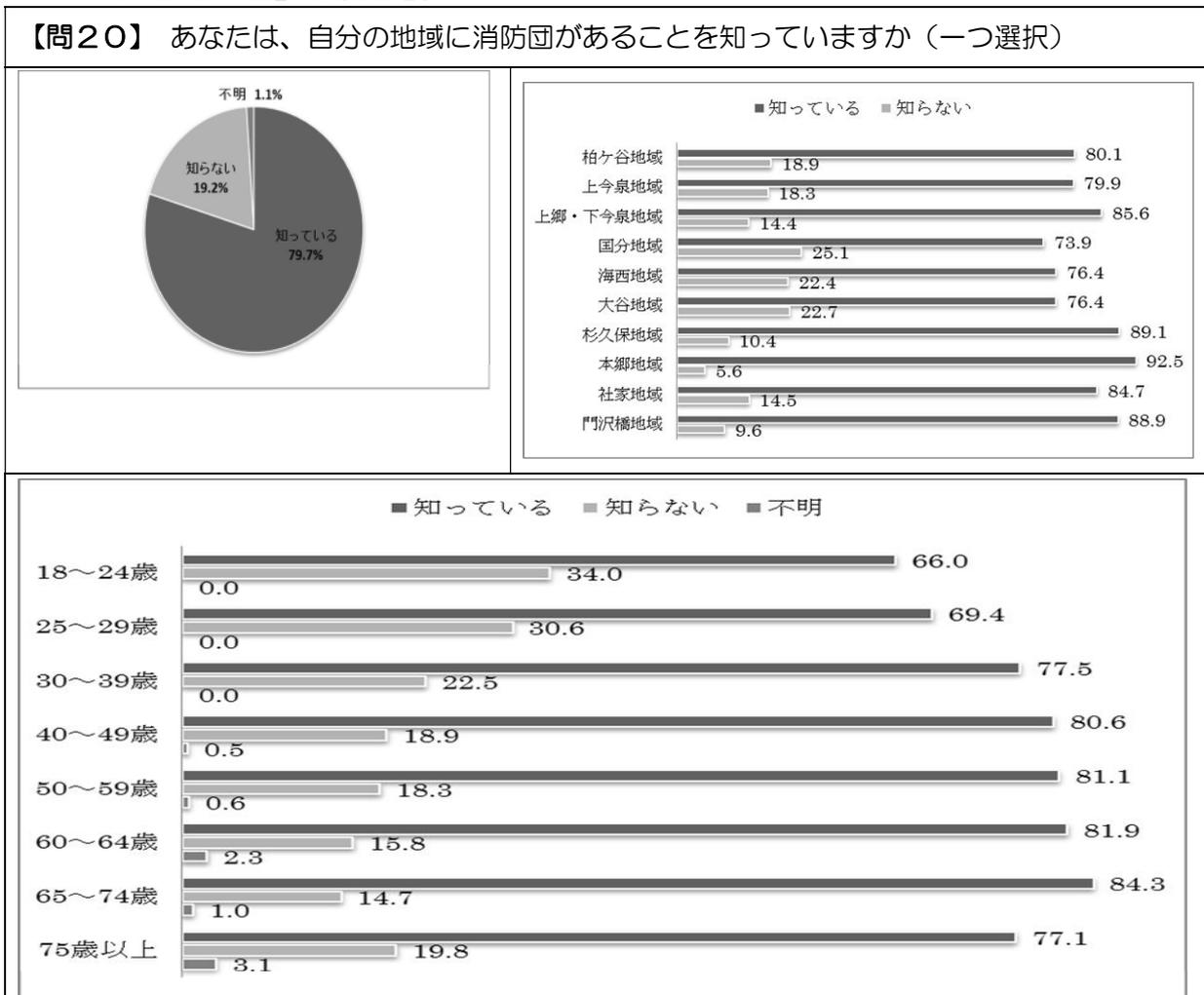
地域別にみると、「消防・救助業務」は柏ヶ谷地域87.8%、上今泉地域87.2%、杉久保地域86.3%と高い割合で、「救急業務」は柏ヶ谷地域81.8%、社家地域79.8%、上今泉地域78.4%、「事務関係」は柏ヶ谷地域26.1%、上郷・下今泉地域22.4%、国分地域20.5%、「望まない」は本郷地域13.0%、上郷・下今泉地域12.0%、門沢橋地域8.1%とそれぞれ高くなっている。



## 10「消防」

### (3) 消防団について

「知っている」は約8割



「市内には消防署のほかに、災害出動や火災予防運動を行っている、地域住民で組織された「消防団」があります。あなたは、自分の地域に消防団があることを知っていますか」という質問に対し、「知っている」は78.7%、「知らない」は19.2%となっている。

性別毎にみると、「知っている」は男性79.5%、女性79.9%、「知らない」は男性20.1%、女性18.4%になっている。

年代別でみると、「知っている」は65～74歳は84.3%、60～64歳は81.9%、50歳代は81.1%、「知らない」は18～24歳は34.0%、25～29歳は30.6%、30歳代は22.5%になっている。

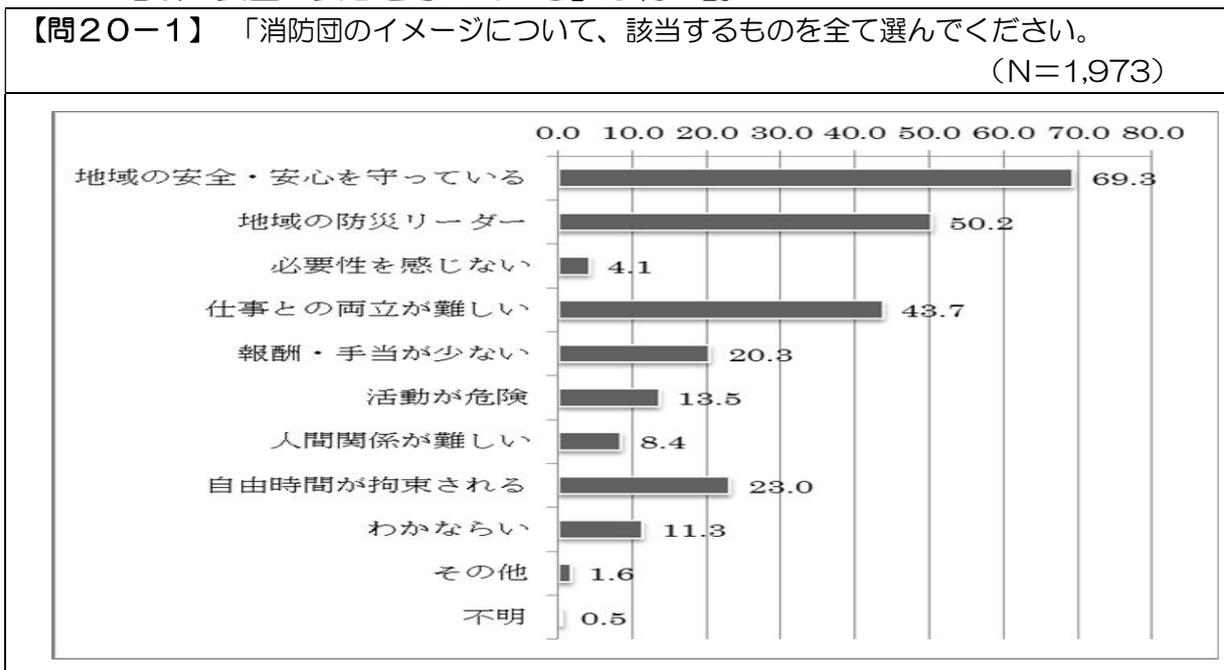
地域別でみると、「知っている」は本郷地域92.5%、杉久保地域89.1%、門沢橋地域88.9%、「知らない」は国分地域25.1%、大谷地域22.7%、海西地域22.4%とそれぞれ高い割合になっている。

居住年数別では、「知っている」は40年以上で87.0%、30年以上～40年未満は84.3%、20年以上30年未満で82.8%、「知らない」は1年未満で61.1%、1年以上5年未満で40.6%、5年以上10年未満で23.4%となっている。

# 10「消防」

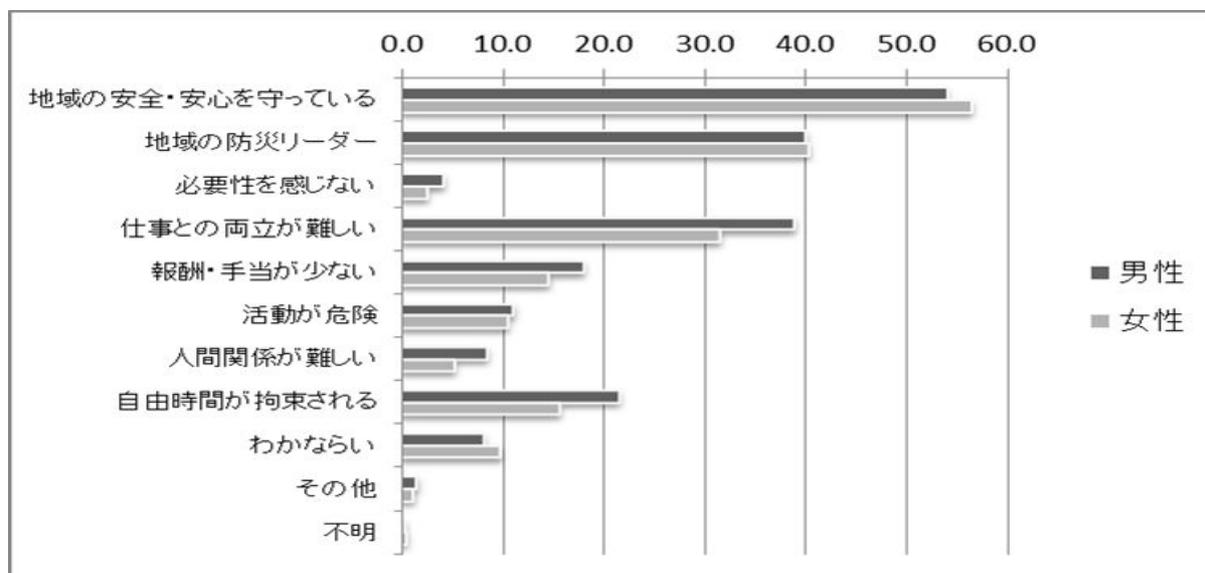
## (4) 消防団のイメージについて

「地域の安全・安心を守っている」は約7割



「問20で「知っている」と答えた方に、「あなたが感じる『消防団のイメージ』についてどのように感じているか」という質問をし、最も高かったのは「地域の安全・安心を守っている」で69.3%、続いて「地域の防災リーダー」が50.2%、「仕事との両立が難しい」が43.7%となっている。

年代別にみると、「地域の安全・安心を守っている」は、75歳以上が83.1%と最も高く、続いて65～74歳の78.7%、60～64歳の71.0%となっている。「地域の防災リーダー」については、65～74歳で55.7%と最も高く、続いて60～64歳の54.5%、40歳代の53.8%となっている。「仕事との両立が難しい」は、40歳代が56.1%と最も高く、続いて60～64歳の50.6%、30歳代の47.1%となっている。「自由時間が拘束される」については、30歳代が32.9%と最も高く、続いて25～29歳の32.0%、40歳代の26.8%となっている。

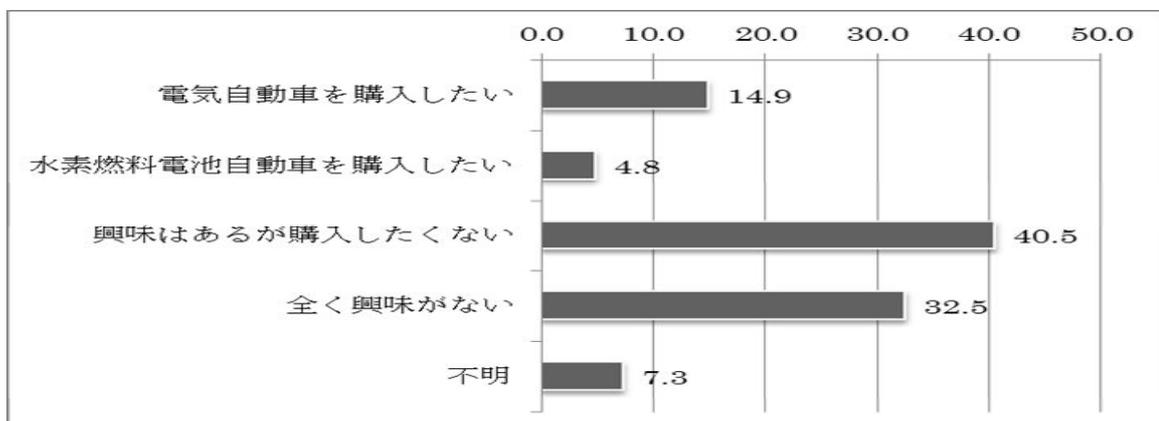


## 1.1 「環境対策」

### (1) 電気自動車等について

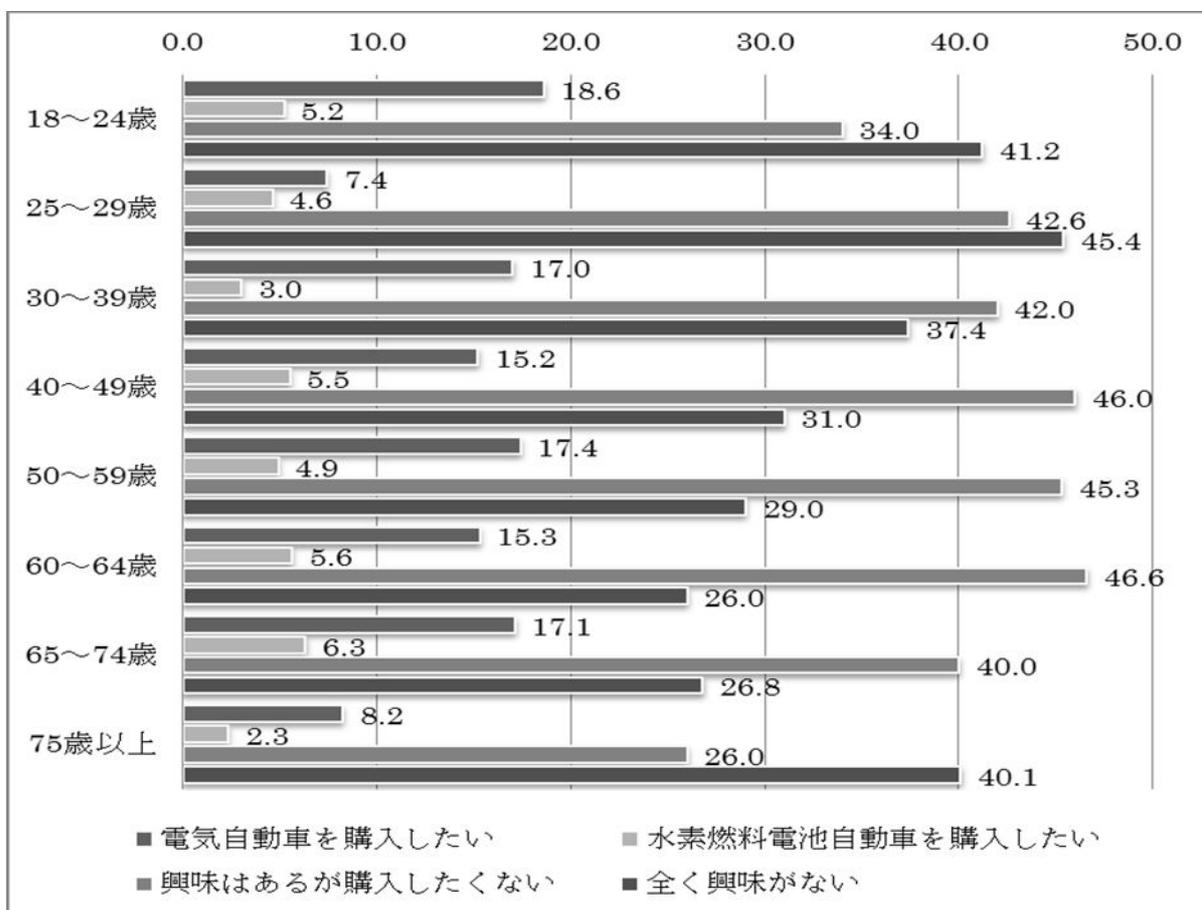
「興味はあるが購入したくない」は約4割

【問21】 自動車を新規に購入または買い替えることになった場合、電気自動車や水素燃料電池自動車を購入したいと思いますか。



「自動車を新規にまたは買い替えることになった場合、電気自動車や水素燃料電池自動車を購入したいと思いますか」との質問に対し、最も高かったのは「興味はあるが、購入したくない」が40.5%、続いて「全く興味がない」が32.5%となっている。

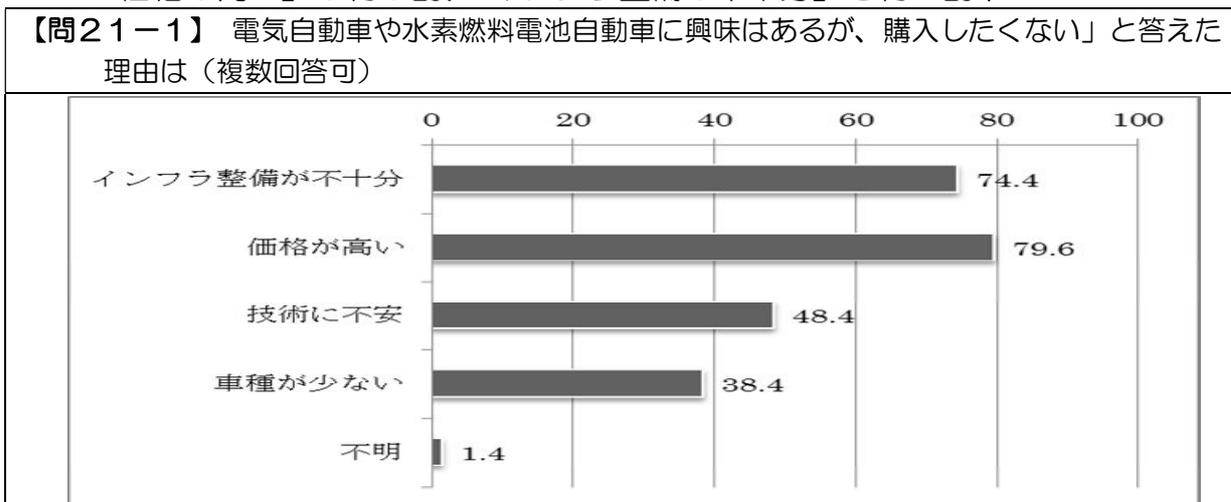
この順位は、性別毎にみても変わらないが、「全く興味がない」については、男性27.8%に対し、女性は36.6%と割合が高く、逆に「電気自動車を購入したい」は、女性12.8%に対し、男性は17.5%と男性の方が高くなっている。



## 1.1 「環境対策」

### (2) 電気自動車等の購入したくない理由

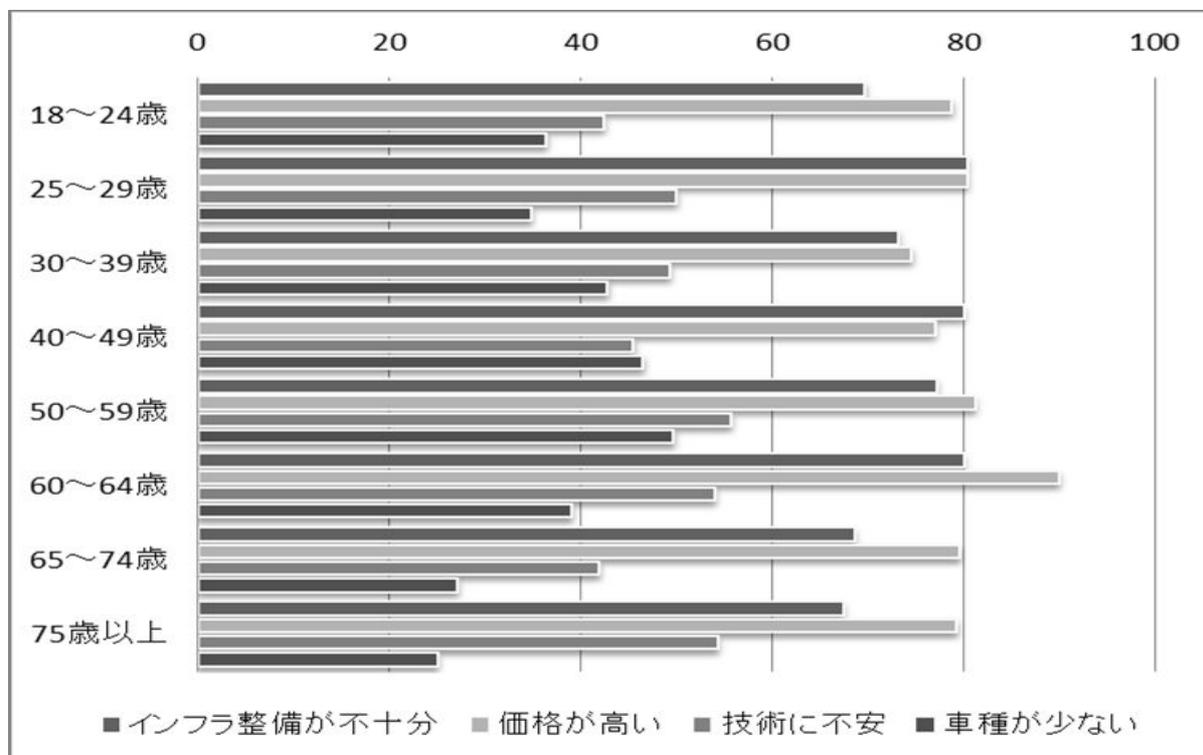
「価格が高い」が約8割、「インフラ整備が不十分」も約7割半



「電気自動車や水素燃料電池自動車に興味はあるが、購入したくない」と答えた理由について該当するところを選ぶ質問に対し、最も高いのは「価格が高いから」が79.6%、続いて「充電設備等インフラ整備が不十分だから」が74.4%、「技術に不安があるから（走行距離が短い等）」で48.4%、「車種が少ないから」が38.4%となっている。

年代別でみると、「価格が高いから」が最も高いのは60～64歳で90.0%、続いて50歳代の81.2%、25～29歳の80.4%となっている。

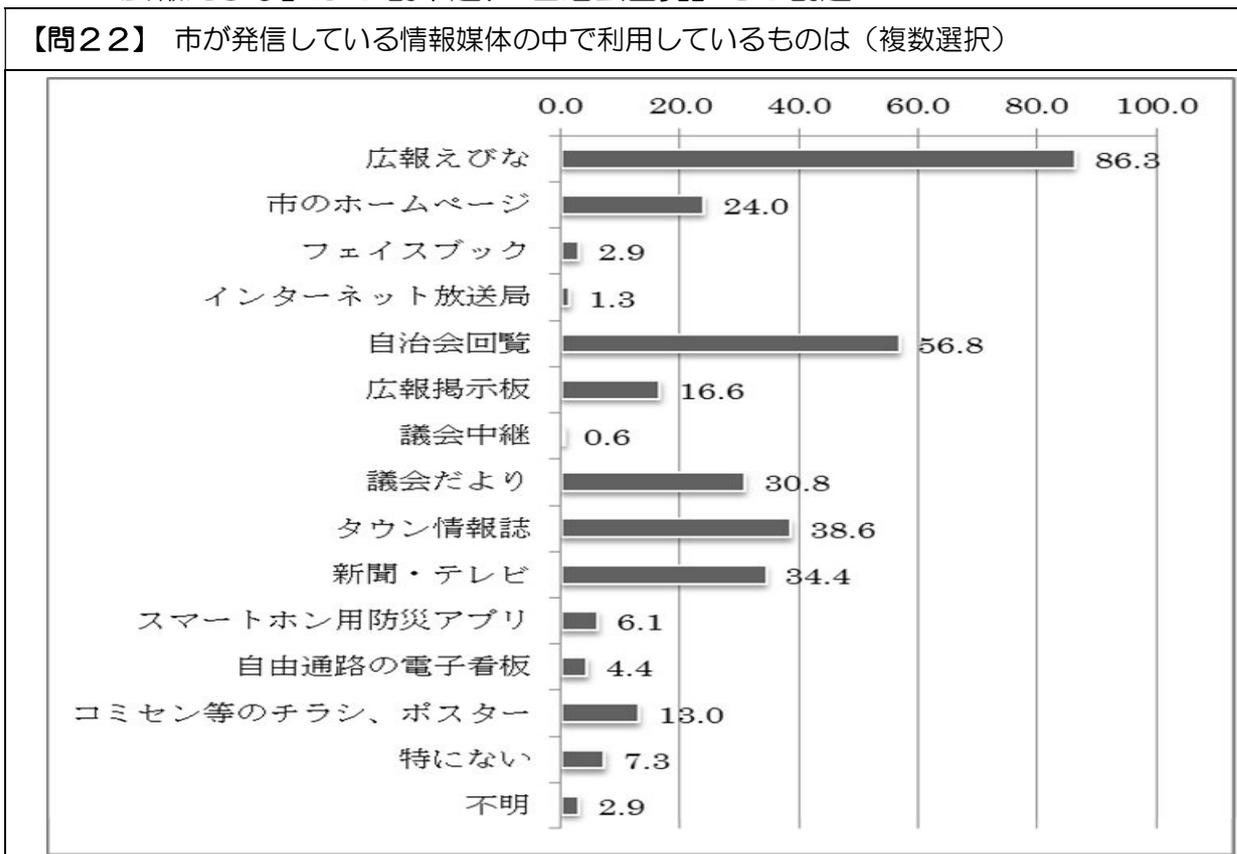
「充電設備等インフラ整備が不十分だから」が一番高いのは25～29歳で80.4%、続いて40歳代と、60～64歳の80.0%となっている。



## 12 「広報・情報」

### (1) 情報媒体について

「広報えびな」は8割半超、「自治会回覧」も5割超



「市が発信している情報媒体の中で、あなたが利用しているものはどれですか」と該当するところを選ぶ質問に対し、最も高いは「広報えびな」で86.3%（男性86.2%、女性86.5%）、続いて「自治会回覧板」が56.8%（男性56.6%、女性56.9%）、「タウン誌」38.6%（男性34.9%、女性41.9%）となっている。

前回と比較すると、「広報えびな」は92.1%から86.3%、「自治会回覧」は57.0%から56.8%と減少している。しかし、「タウン誌」は34.4%から38.6%、「市ホームページ」は18.9%から24.0%、「新聞・テレビ」は18.2%から34.4%と増えている。

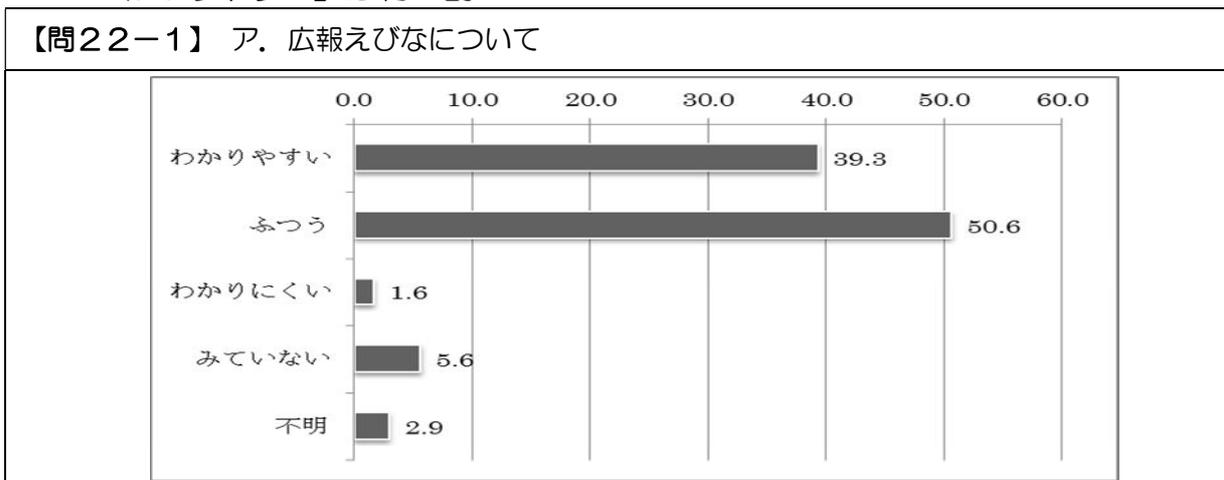
性別毎にみると、「広報えびな」は65～74歳の92.2%が一番高く、30歳代以上は全て80%を超えている。「自治会回覧」については、65歳以上で70%を超えているが、29歳以下は20%台となっている。「タウン情報誌」については、50歳以上で40%台であるが29歳以下は10%台となっている。「市ホームページ」は、18～24歳で9.3%と最も低く、60～64歳の16.7%を除けば、そのほかの年代は20%以上となっている。

地域別では、「広報えびな」は大谷地域で90.0%と最も高く、「自治会回覧」も大谷地域で67.0%、上今泉地域で63.0%と上位となっている。「市ホームページ」は国分地域の29.8%が最も高くなっている。

## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（広報えびな）

「わかりやすい」は約4割



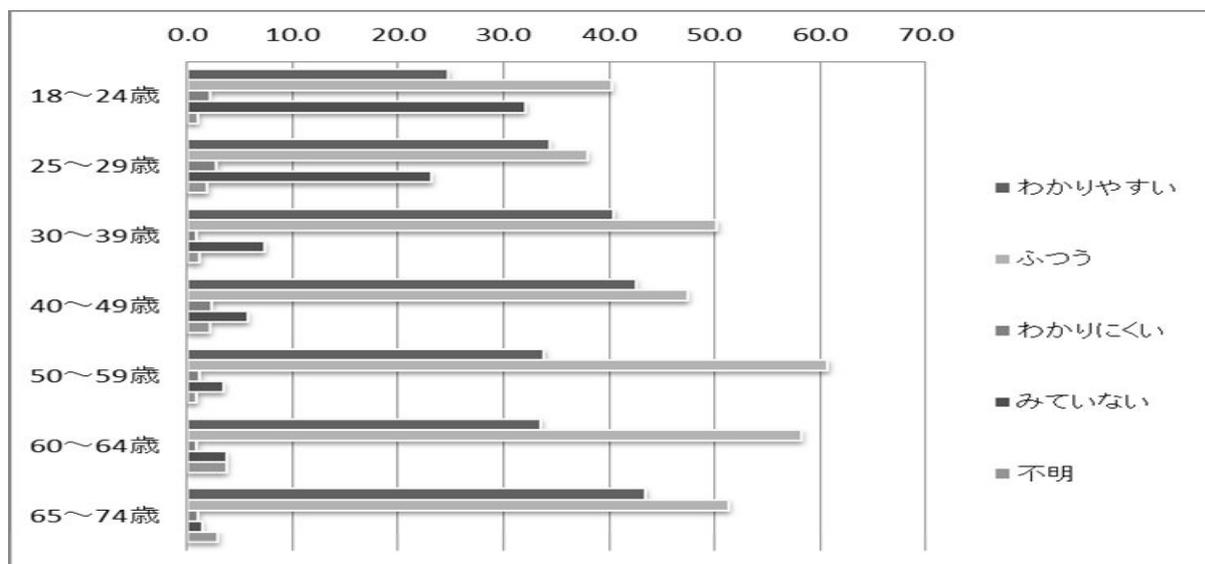
情報を発信している「広報えびな」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が39.3%、「ふつう」は50.6%、「わかりにくい」は1.6%、「みていない」は5.6%となっている。

性別でみると、「わかりやすい」は男性が35.7%、女性は42.6%、「ふつう」は男性54.7%、女性は47.0%、「わかりにくい」は男性1.1%、女性2.0%、「みていない」は男性6.9%、女性は4.5%となっている。

年代別でみると、「わかりやすい」は男性が75歳以上で40.3%、女性は65～74歳で47.9%、「わかりにくい」は男性が40歳代で2.4%、女性が25～29歳で3.5%、「みていない」は男性が18～24歳が28.9%、25～29歳が27.5%、女性は18～24歳が33.9%、25～29歳が19.3%とそれぞれ高い割合となっている。

地域別にみると、「わかりやすい」は海西地域が44.8%、本郷地域42.6%で高くなっており、「わかりにくい」は上郷・下今泉地域で2.4%、続いて杉久保地域の2.2%、「みていない」は社家地域の8.1%、本郷地域の7.4%とそれぞれ高い割合になっている。

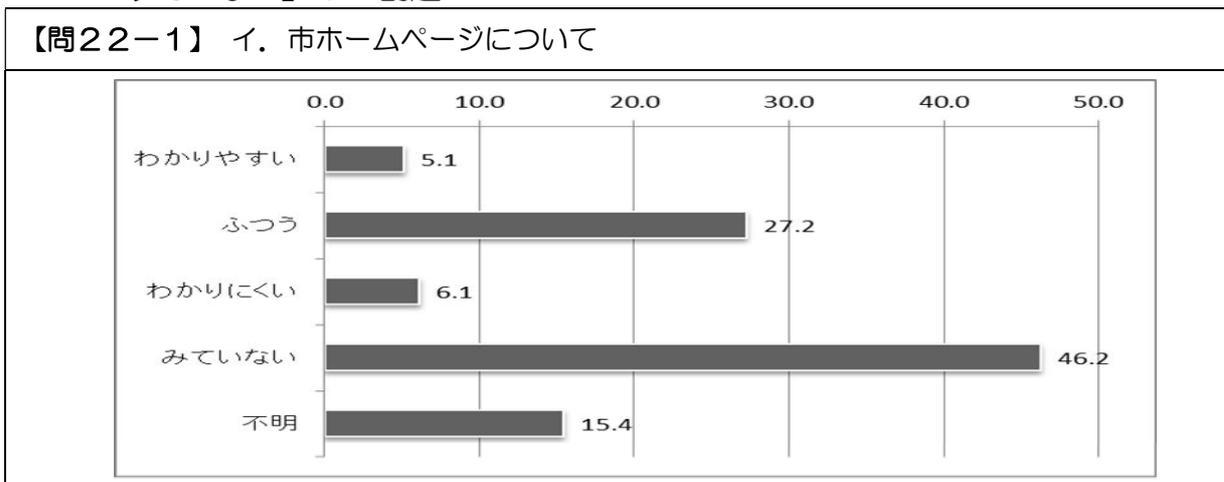
居住年数では、「わかりやすい」は5～10年未満で42.4%と最も高く、「わかりにくい」は10～20年未満で2.2%、「みていない」は1年未満で18.5%とそれぞれ高い割合になっている。



## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（市ホームページ）

「みていない」が7割超



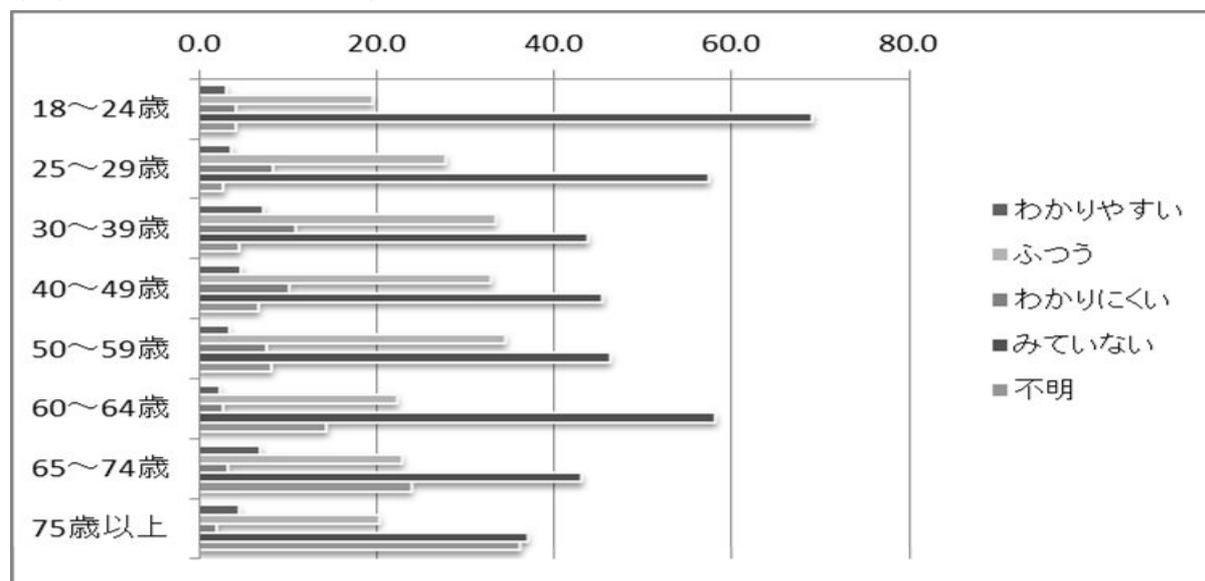
情報を発信している「市ホームページ」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が5.1%、「ふつう」は29.8%、「わかりにくい」は6.1%、「みていない」が最も高く46.2%となっている。

性別でみると、「わかりやすい」については男性が5.5%、女性は4.7%、「ふつう」は男性29.8%、女性は24.9%、「みていない」は男性45.1%、女性は47.4%となっている。

年代別でみると、「わかりやすい」は男性が65～74歳で9.3%、女性は30歳代で7.6%、「わかりにくい」は男性30歳代で11.5%、女性30歳代で10.6%、「みていない」は男性25～29歳が60.8%、18～24歳が60.5%、女性は18～24歳が74.5%、60～64歳が61.9%と高い割合となっている。

地域別にみると、「わかりやすい」は柏ヶ谷地域と国分地域で6.2%と高く、「わかりにくい」は上郷・下今泉地域で8.8%、柏ヶ谷地域の7.7%、「みていない」は大谷地域の52.3%、杉久保地域の51.9%とそれぞれ高い割合になっている。

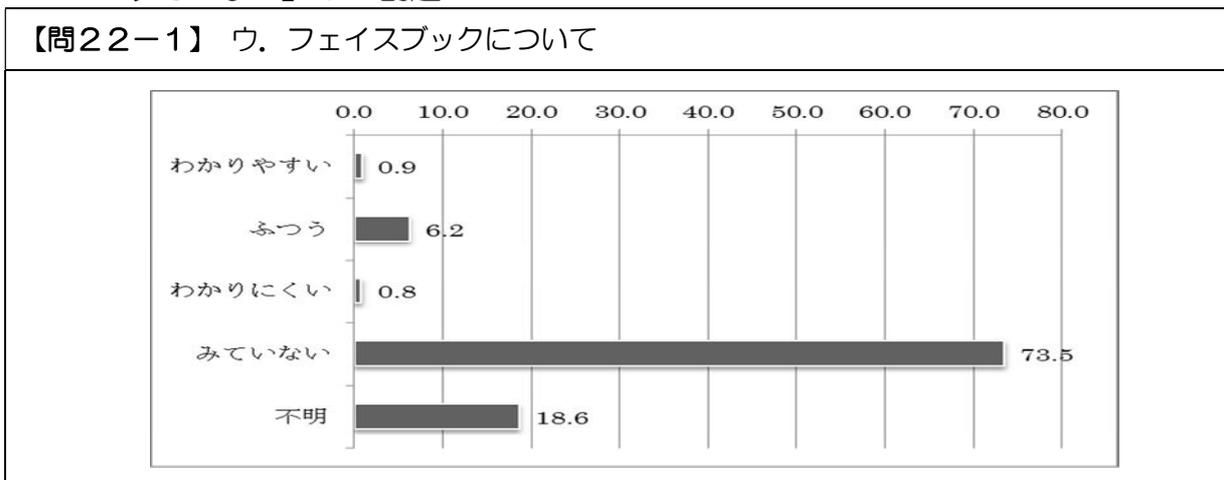
居住年数では、「わかりやすい」は1～5年未満で8.5%と最も高く、「わかりにくい」は5～10年未満で9.5%、1～5年未満で9.4%、「みていない」は1年未満で59.2%、20～30年未満で51.5%となっている。



## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（フェイスブック）

「みていない」が7割超



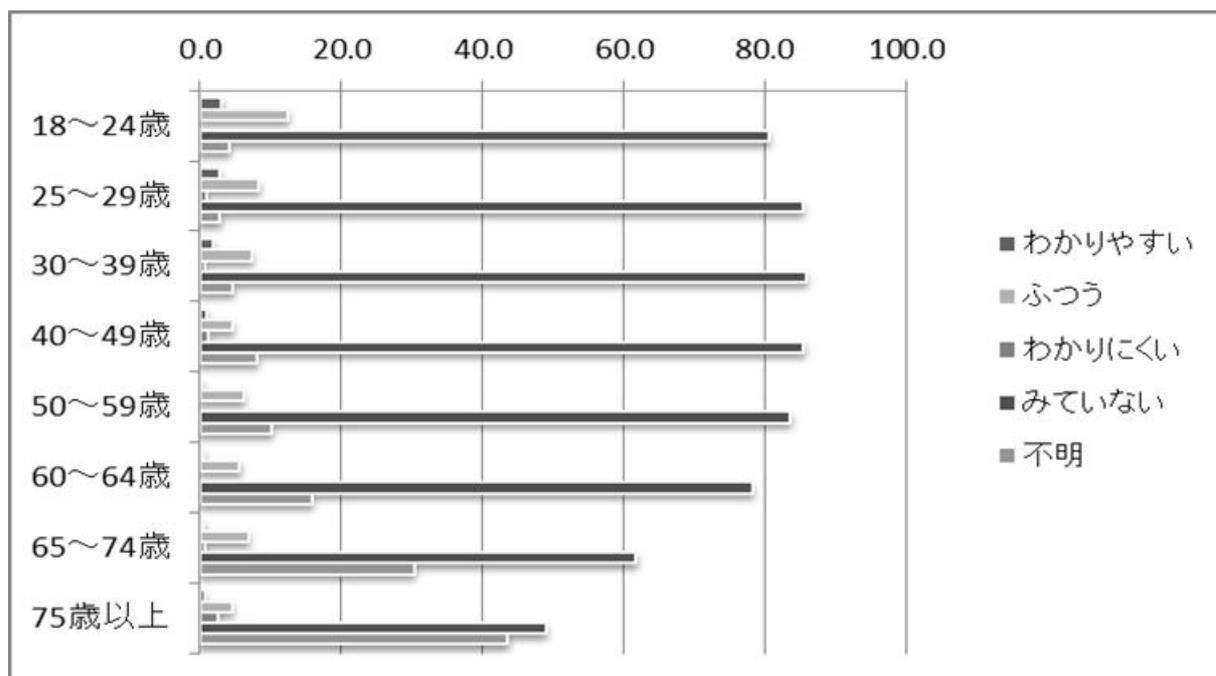
情報を発信している「フェイスブック」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が0.9%、「ふつう」は6.2%、「わかりにくい」は0.8%、「みていない」は73.5%となっている。

性別でみると、「わかりやすい」については男性が1.0%、女性は0.9%、「ふつう」は男性7.0%、女性は5.5%、「みていない」は男性73.7%、女性は73.3%となっている。

年代別でみると、「わかりやすい」は高い順に18～24歳が3.1%、25～29歳が2.8%、30歳代が1.8%で、「みていない」は30歳代が85.7%、40歳代が85.4%、25～29歳が85.2%と高い割合となっている。

「みていない」は、性別毎に年齢別でみると、男性は25～64歳までの間が80%を超える高い割合で、女性も18～59歳の間が80%を超えている。ただし、75歳以上については、半数近くの49.2%が不明となっている。

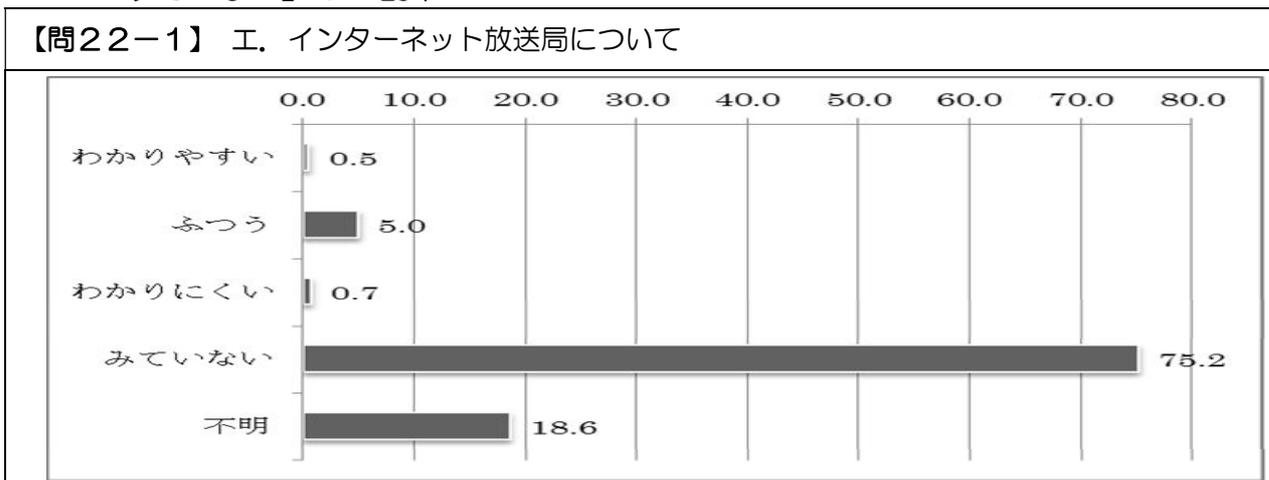
「みていない」を地域毎にみると、高い順に本郷地域77.8%、大谷地域76.4%で、居住年数毎にみると、1年未満～20年未満の間が80%を超えている。



## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（インターネット放送局）

「みていない」が7割半



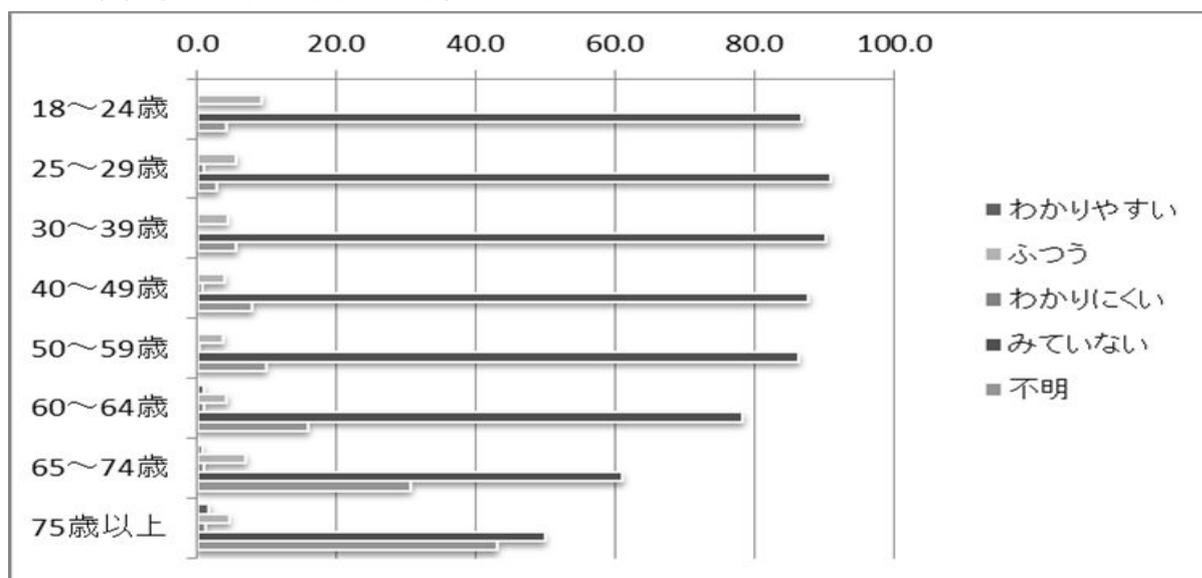
情報を発信している「インターネット放送局」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が0.5%、「ふつう」は5.0%、「わかりにくい」は0.7%、「みていない」は75.2%となっている。

性別でみると、「わかりやすい」は男性が0.4%、女性は0.5%、「ふつう」は男性6.4%、女性は3.8%、「みていない」は男性75.2%、女性は75.4%となっている。

年代別では、「わかりやすい」と「わかりにくい」が共に75歳以上がそれぞれ1.7%と1.1%で最も高く、「みていない」は25～29歳が90.7%、30歳代が90.2%、40歳代が87.6%と高い割合となっている。

「みていない」は、性別毎に年齢別でみると、男性は30歳代が90.1%、25～29歳が88.2%の高い順になっており、女性は、25～29歳が93.0%で、続いて40歳代が91.7%、30歳代が90.4%となっている。

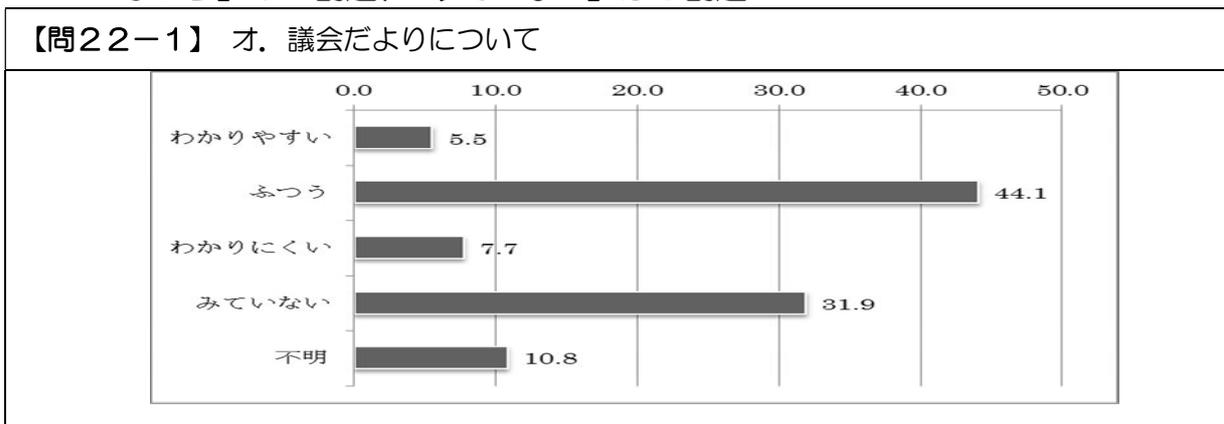
「みていない」を地域毎にみると、高い順に上郷・下今泉地域80.0%、国分地域78.5%、柏ヶ谷地域77.6%で、居住年数毎にみると、高い順に1年未満が90.7%、5～10年未満86.1%、1～5年未満85.3%となっている。



## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（議会だより）

「ふつう」が4割超、「みていない」は3割超

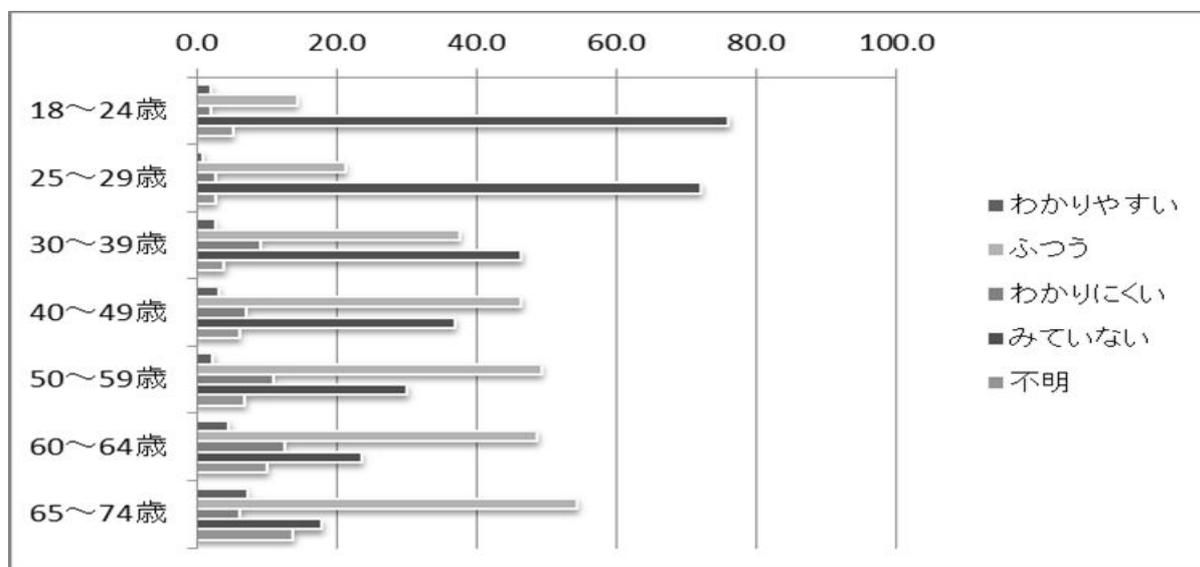


情報を発信している「議会だより」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が5.5%、「ふつう」は44.1%、「わかりにくい」は7.7%、「みていない」は31.9%となっている。

性別でみると、「わかりやすい」については男性が5.1%、女性は5.9%、「ふつう」は男性45.0%、女性は43.2%、「みていない」は男性33.2%、女性は30.8%となっている。

年代別でみると、「わかりやすい」は75歳以上が12.7%で最も高く、「わかりにくい」は60～64歳が12.6%、50歳代が11.0%と高い割合となっている。「みていない」については、高い順に18～24歳が76.2%、25～29歳が72.2%、30歳代が46.5%となった。

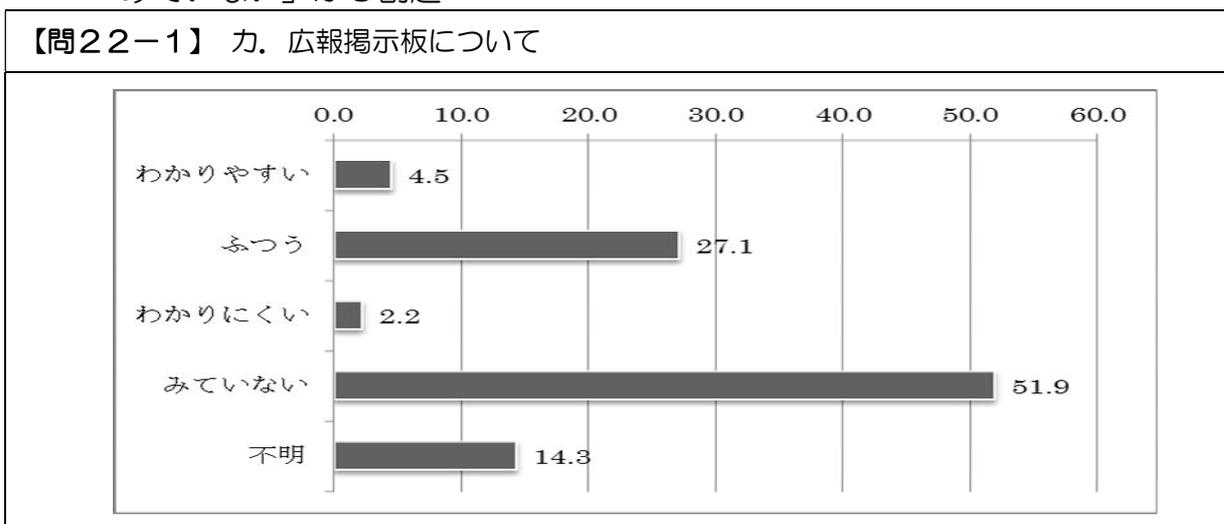
「みていない」について、性別毎に年齢別でみると、男性は18～24歳、25～29歳が68.5%で最も高く、また女性は、18～24歳が81.3%で、続いて25～29歳が75.5%となっている。



## 1 2 「広報・情報」

### (2) 市が発信する情報媒体のわかりやすさ（広報掲示板）

「みていない」が5割超



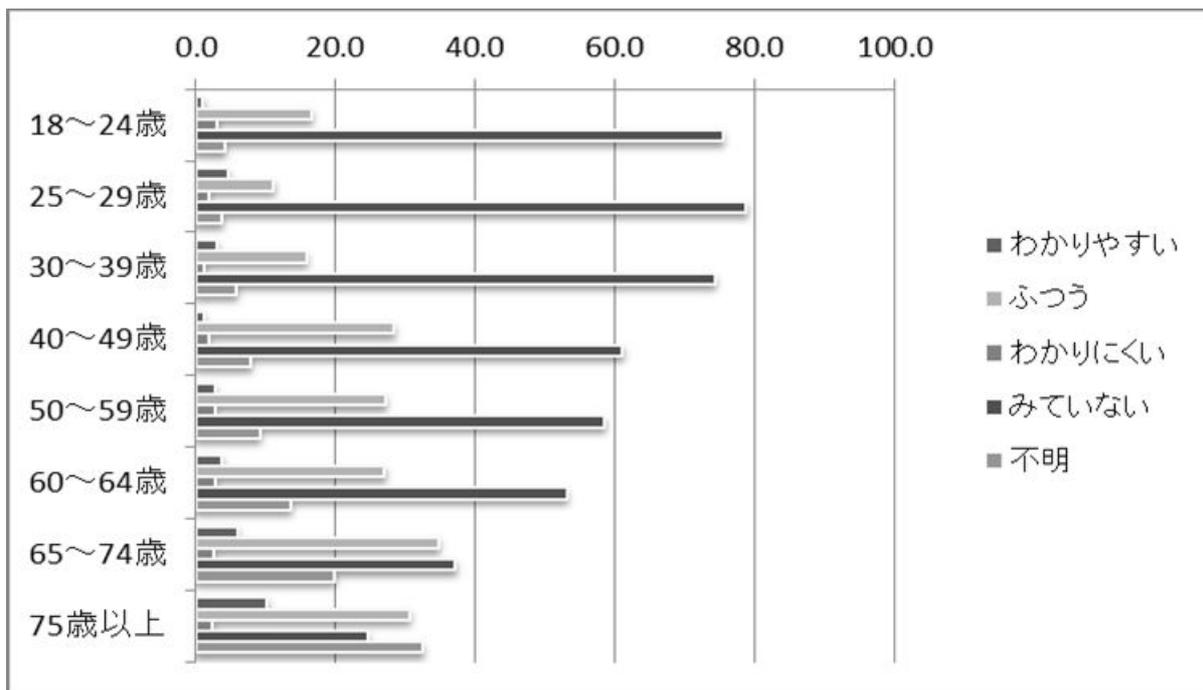
情報を発信している「広報掲示板」について該当するところを選ぶ質問に対し、「わかりやすい」が4.5%、「ふつう」は27.1%、「わかりにくい」は2.2%、「みていない」は51.9%となっている。

性別でみると、男性は「ふつう」が27.5%、「みていない」は52.6%に対し、女性の「ふつう」は26.7%、「みていない」は51.5%となっている。

年代別でみると、「わかりやすい」は75歳以上が10.2%で最も高く、「ふつう」は65～74歳で34.7%、「みていない」は25～29歳が78.7%で最も高く、続いて18～24歳の75.3%、30歳代の74.2%の順となっている。

地域別では、「みていない」は社家地域が65.3%で最も高く、続いて上郷・下今泉地域の60.0%、本郷地域の59.2%の順となっている。

さらに居住別でみると、「みていない」は1年未満が77.8%で最も高く、続いて5年～10年未満が65.0%、1年～5年未満で63.3%の順となっている。

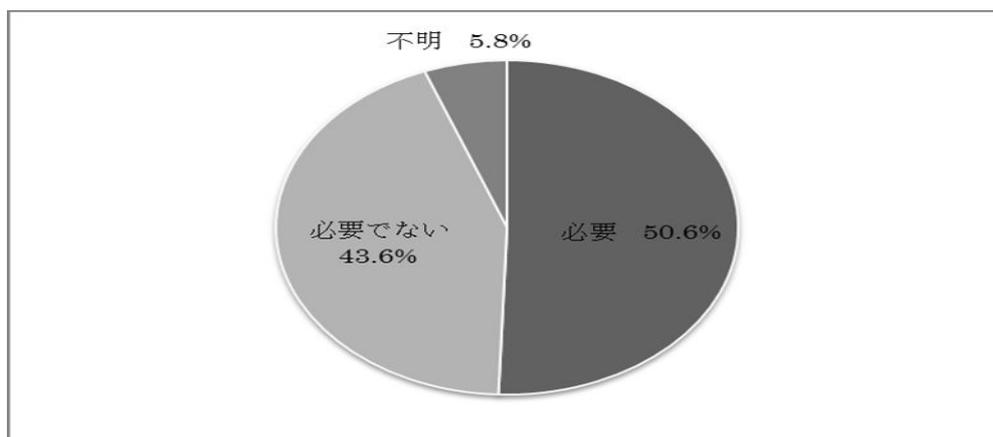


### 1.3 「広報掲示板」

#### (1) 必要性

「必要」が5割超

【問2.3】 情報を取得するために広報掲示板を必要だと思いますか。(1つ選択)



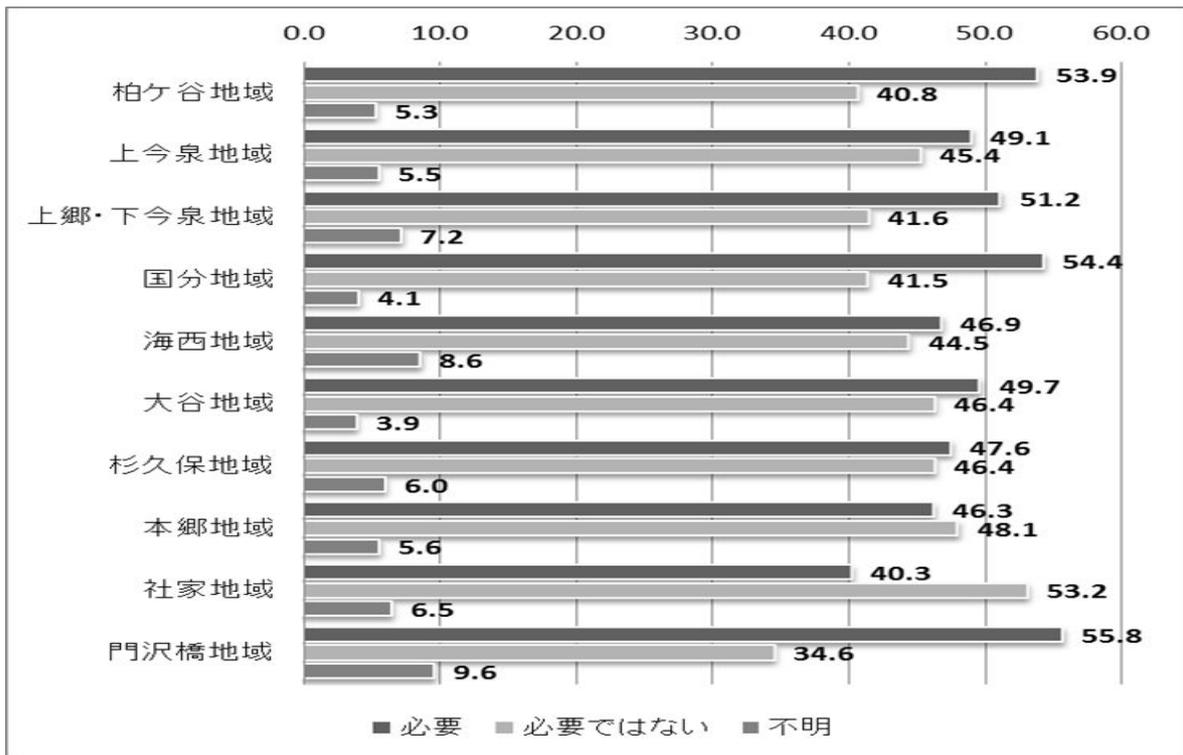
「情報を取得するために広報掲示板を必要だと思いますか。」の質問に対し、「必要」と答えたのは50.6%、「必要でない」は43.6%となっている。

性別でみると、「必要」と答えた男性は51.5%、女性は49.8%となっている。

「必要」と答えた割合を年代でみると、75歳以上が最も多く63.5%、続いて65~74歳が56.3%、60~64歳が47.5%の順となっている。

「必要」と答えた割合を地域別でみると、最も高いのは門沢橋地域で55.8%、続いて国分地域の54.4%、柏ヶ谷地域の53.9%の順で、「必要でない」が最も高いは社家地域の53.2%、続いて本郷地域の48.1%、大谷地域、杉久保地域の46.4%の順になっている。

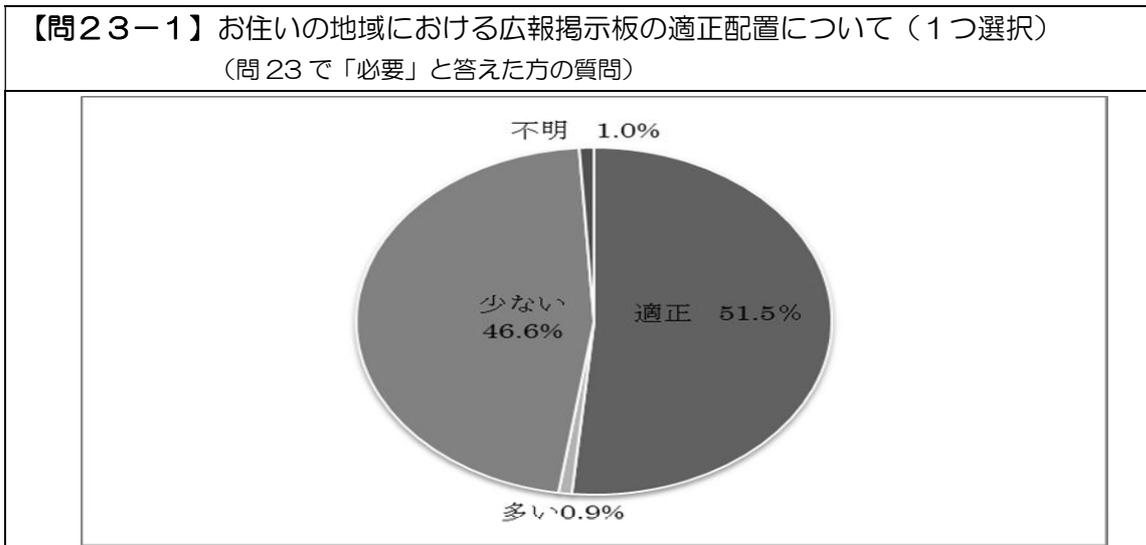
居住年数でみると、「必要」が高かったのは、40年以上で60.9%、続いて30年~40年未満で53.4%となっている。



### 1.3 「広報掲示板」

#### (2) 配置について

「必要」が5割超

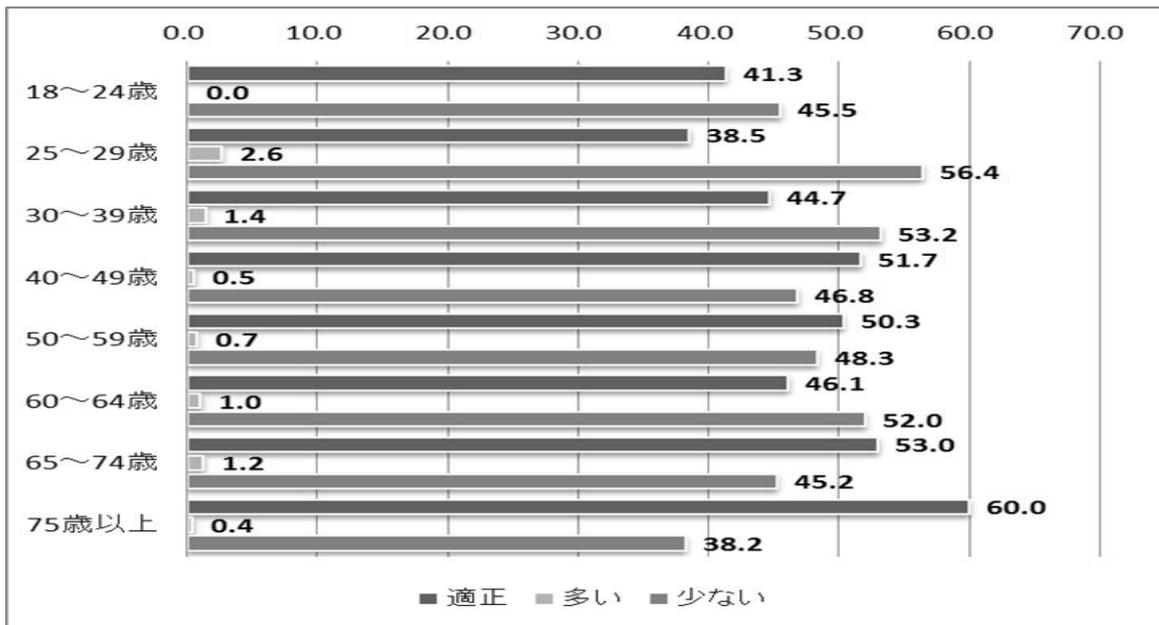


問23で「広報掲示板を必要だと思いますか。」の質問に対し、「必要」と答えた方に、「お住いの地域における広報掲示板は適正な配置がされていると思いますか。」との質問に、「適正」は51.5%、「多い」は0.9%、「少ない」は46.6%となっている。

性別でみると、適正と答えた男性は50.1%、女性は52.7%となっている。

年代でみると、75歳以上が最も多く60.0%、続いて65～74歳が53.0%、40歳代が51.7%の順となっている。

地域別で、最も高いのは上今泉地域で64.9%、続いて国分地域の57.4%、大谷地域の57.3%、柏ヶ谷地域の54.2%の順になり、最も低いのは本郷地域と社家地域で28.0%となっている。

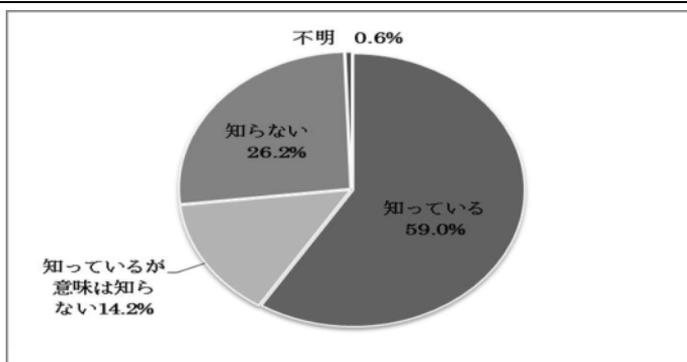


## 14 「男女共同参画」

### (1) 男女共同参画について

「知っている」は、男性が6割超、女性は5割超

【問24】「男女共同参画」という言葉を知っていますか。(1つ選択)



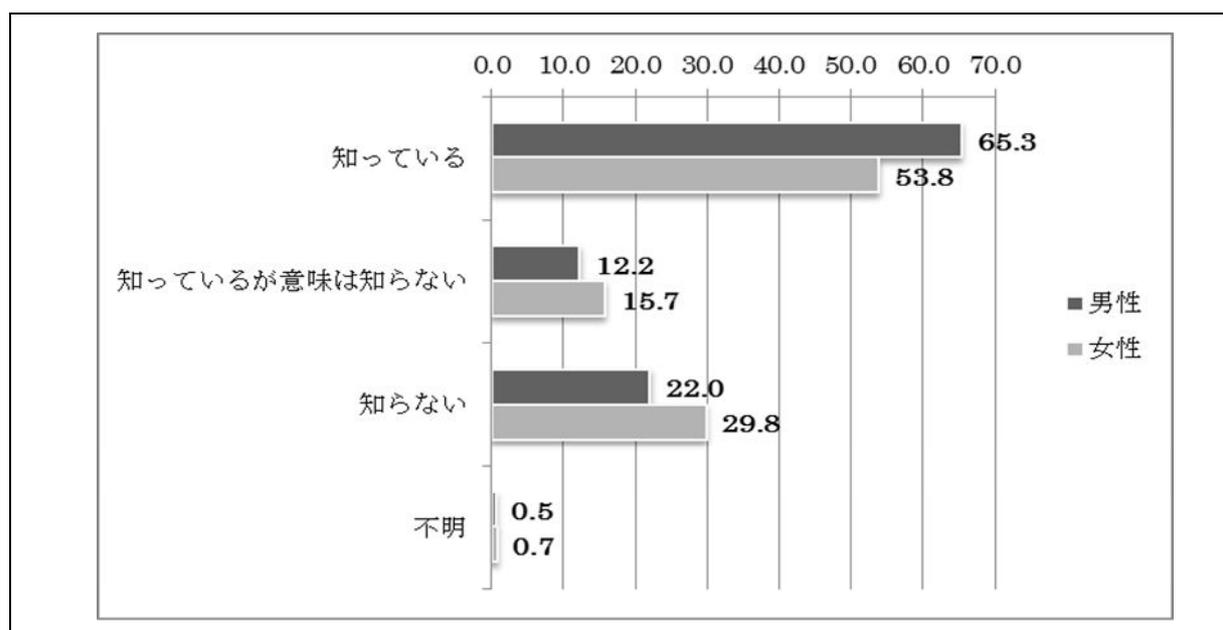
「『男女共同参画』という言葉を知っていますか。」という質問に対し、「知っている」は59.0%、「知っているが意味は知らない」は14.2%、「知らない」は26.2%となっている。

性別で見ると、「知っている」は男性65.3%、女性53.8%、反対に「知らない」は男性22.0%、女性29.8%となっている。

年代別で見ると、「知っている」は18～24歳が66.0%で最も高く、続いて65～74歳が65.1%、25～29歳が62.0%と続いている。低い順は、30歳代が53.8%、40歳代が52.4%と、どの年代も知っている割合が50%を超えている。

性別毎を年代別にみると、男性は18～24歳が76.3%、続いて65～74歳が72.5%、25～29歳が70.6%の順になっている。女性は、18～24歳が59.3%、続いて65～74歳が57.9%、25～29歳が54.4%となっている。

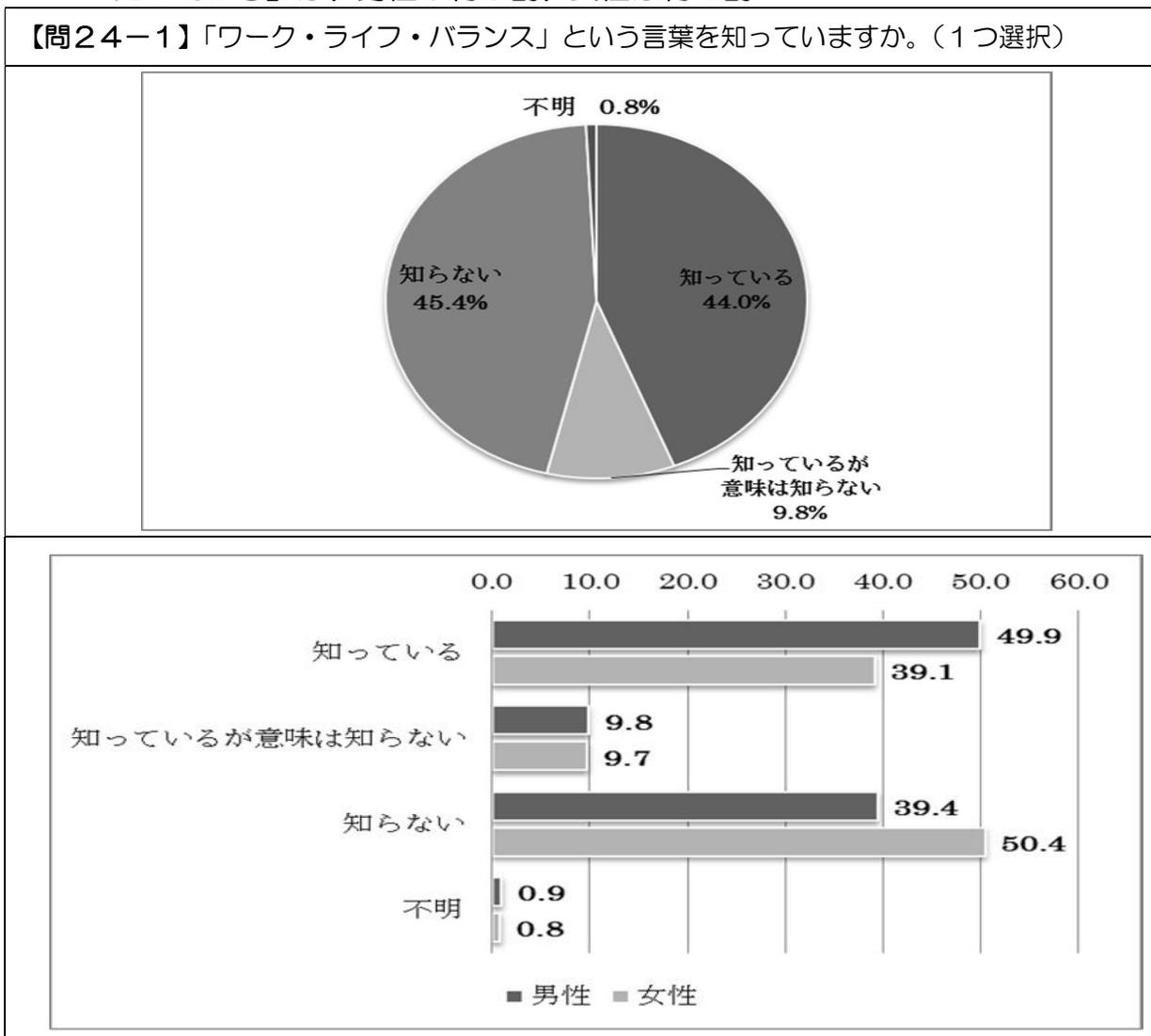
「知っている」を地域別にみると、高い順に大谷地域66.1%、国分地域64.7%、海西地域63.1%、低いのは、門沢橋地域50.0%、本郷地域49.9%、上郷・下今泉49.6%となっている。



## 14 「男女共同参画」

### (2) ワーク・ライフ・バランスについて

「知っている」は、男性が約5割、女性は約4割



「『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っていますか。」という質問に対し、「知っている」は44.0%、「知っているが意味は知らない」は9.8%、「知らない」は45.4%となっている。

性別で見ると、「知っている」は男性49.9%、女性39.1%、反対に「知らない」は男性39.4%、女性50.4%となっている。

年代別で見ると、「知っている」は30歳代が54.1%で最も高く、続いて25～29歳が53.7%、40歳代が48.7%と続いている。低い順は、65～74歳が39.5%、75歳以上が33.9%となっている。

性別を年代別にみると、男性は18～64歳までの間は50%を超える高い割合であるが、女性で50%を超えているのは30歳代で、52.0%になっている。

「知っている」を地域別にみると、高い順に国分地域53.0%、上今泉地域51.3%が50%を超えていて、次に大谷地域が45.8%、逆に低いのは、門沢橋地域35.3%、本郷地域35.2%、杉久保地域30.1%の順となっている。





---

---

## 海老名市政アンケート調査

〈平成27年度調査〉

平成28年7月発行

調査実施及び発行

海老名市役所 市民協働部地域づくり課市民相談室

〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1

Tel.046-235-4567

---

---